二　前條ニ揭ケタル權利ノ設定、移轉、變更又ハ消滅ノ請求權ヲ保全セントスルトキ

右ノ請求權カ始期附又ハ停止條件附ナルトキ其他將來ニ於テ確定スヘキモノナルトキ亦同シ

第三條　豫告登記ハ登記原因ノ無效又ハ取消ニ因ル登記ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタル場合ニ於テ之ヲ爲ス但登記原因ニ因ル訴ニ付テハ其取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル

第四條　詐欺又ハ强迫ニ因リテ登記ノ申請ヲ妨ケタル第三者ハ登記ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス

第五條　他人ノ爲メ登記ヲ申請スル義務アル者ハ其登記ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス但其登記ノ原因カ自己ノ登記ノ原因ノ後ニ發生シタルトキハ此限ニ在ラス

第六條　同一ノ不動產ニ關シテ登記シタル權利ノ順位ニ付キ法律ニ別段ノ定ナキトキハ其順位ハ登記ノ前後ニ依ル

登記ノ前後ハ登記用紙中同區ニ爲シタル登記ニ付テハ順位番號ニ依リ別區ニ爲シタル登記ニ付テハ受附番號ニ依ル

第七條　附記登記ノ順位ハ主登記ノ順位ニ依ル但附記登記間ノ順位ハ其前後ニ依ル

假登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ本登記ノ順位ハ假登記ノ順位ニ依ル

第二章　登記所及登記官吏

第八條　登記スヘキ權利ノ目的タル不動產ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

不動產カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カルトキハ其各登記所ヲ併セテ管轄スル直近上級ノ裁判所ニ於テ申請ニ因リ管轄登記ヲ指定ス

第八條ノ二　司法大臣ハ一ノ登記所ノ管轄ニ屬スル事務ヲ他ノ登記所ニ委任スルコトヲ得

第九條　町村其他登記簿ヲ分設シタル區畫カ甲登記所ノ管轄ヨリ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其區畫ニ關スル登記簿及ヒ其附屬書類ヲ乙登記所ニ移送スルコトヲ要ス

一箇又ハ數箇ノ不動產ノ所在地カ甲登記所ノ管轄ヨリ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其不動產ニ關スル登記簿ノ謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送スルコトヲ要ス但登記簿ノ謄本ニハ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫シ其不動產ノ登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第十條　登記所ニ於テ其事務ヲ停止セサルコトヲ得サル事故ノ生シタルトキハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得

第十一條　登記所ハ土地ニ付キ左ニ揭ケタル事項ノ登記ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ土地臺帳所管廳ニ通知スルコトヲ要ス

一　所有權ノ保存若クハ移轉

二　質權ノ設定及ヒ存續期間、存續期間ノ變更、移轉若クハ消滅

三　百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ設定、移轉若クハ消滅又ハ百年ヨリ長キ存續期間ヲ百年以下ニ變更シ若クハ百年以下ノ存續期間ヲ百年ヨリ長キ期間ニ變更シ又ハ存續期間ノ定ナキ地上權ニ百年ヨリ長キ期間ヲ定メ若クハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定ナキモノト爲シタルコト

四　所有權、質權又ハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ登記名義人ノ表示ノ變更

第十二條　登記官吏ハ自己、其妻又ハ四親等內ノ親族カ申請人ナルトキハ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル成年者ニシテ且登記官吏ノ妻又ハ四親等內ノ親族ニ非サル者二人以上ノ立會アルニ非サレハ登記ヲ爲スコトヲ得ス但親族ニ付テハ

親族關係カ止ミタル後亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ調書ヲ作リ立會人ト共ニ之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

第十三條 登記官吏カ其職務ノ執行ニ付キ申請人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ登記官吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限リ之ヲ賠償スル責ニ任ス

第三章　登記ニ關スル帳簿

第十四條 登記簿ハ土地登記簿及ヒ建物登記簿ノ二種トス

各種ノ登記簿ハ市ニ付テハ從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲シ町村ニ付テハ町村毎ニ別冊ト爲ス但登記事件夥多ナル町村ニ付テハ大字其他從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲スコトヲ得

第十五條 登記簿ハ一筆ノ土地又ハ一棟ノ建物ニ付キ一用紙ヲ備フ

同一ノ登記所ノ管轄ニ屬スル不動產カ登記簿ヲ分設シタル數箇ノ區畫ニ跨カルトキハ其一箇ノ區畫ノ登記簿ニノミ其不動產ニ關スル用紙ヲ備フ

第十六條 登記簿ハ其一用紙ヲ登記番號欄、表題部及ヒ甲乙ノ二區ニ分チ尙ホ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ク

登記番號欄ニハ各土地又ハ各建物ニ付キ登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ土地又ハ建物ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ所有權以外ノ權利ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第十七條 削除

第十八條 登記簿ニハ地方裁判所長其枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺印シ且每葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第十九條 土地登記簿及ヒ建物登記簿ニ付キ各其見出帳ヲ設ク

第二十條 登記簿、見出帳、共同人名簿及ヒ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス

申請書其他ノ附屬書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス

第二十一條 何人ト雖モ手數料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求シ又利害ノ關係アル部分ニ限リ登記簿又ハ其附屬書類ノ閲覽ヲ請求スルコトヲ得

手數料ノ外郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得

第二十一條ノ二 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者カ不動產ノ目錄ヲ提出シタルトキハ登記所ハ其書面ヲ用ヰテ謄本又ハ抄本ヲ作成スルコトヲ得

第二十二條 登記簿及ヒ其附屬書類ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外登記所外ニ持出スコトヲ得ス但第二十條第二項ニ揭ケタル書類ニ付テハ裁判所又ハ豫審判事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此限ニ在ラス

第二十三條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ三个月ヨリ少カラサル期間ヲ定メ其期間內ニ

登記ノ回復ヲ申請スル者ハ仍ホ其登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘキ旨ヲ告示スルコトヲ要ス

第二十四條　登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ司法大臣ハ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第四章　登記手續

第一節　通則

第二十五條　登記ハ法律ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請又ハ官廳若クハ公署ノ囑託アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

囑託ニ因ル登記ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外申請ニ因ル登記ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十六條　登記ハ登記權利者及ヒ登記義務者又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ申請スルコトヲ要ス

第二十七條　判決又ハ相續ニ因ル登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十八條　登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ登記名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於テハ債務者ノ表示ノ變更登記ハ債務者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十八條ノ二　滯納處分ニ因ル差押ノ登記ヲ囑託スル場合ニ於テ必要アルトキハ官廳又ハ公署ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ不動產ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル權利移轉ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第二十八條ノ三　第四十六條ノ二、第五十條第三項、第六十條ノ二及ヒ第六十三條ノ三ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十九條　官廳又ハ公署ノ公賣處分ニ因ル權利移轉ノ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ其官廳又ハ公署ヨリ遲滯ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十條　官有不動產又ハ府縣、郡、市、町村若クハ區ノ所有ニ係ル不動產ニ關スル權利ニ付キ爲スヘキ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳若クハ公署ヨリ遲滯ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十一條　官廳又ハ公署カ不動產ニ關スル權利ヲ取得シタルトキハ其權利ニ付キ爲スヘキ登記ハ其官廳又ハ公署ヨリ遲滯ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面及ヒ登記義務者ノ承諾書ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

官廳又ハ公署カ取得シタル不動產ニ關スル權利ノ變更又ハ處分ノ制限ニ付キ爲スヘキ登記ハ官廳又ハ公署カ登記權利者ナルトキハ職權ヲ以テ、登記義務者ナルトキハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳又ハ公署ヨリ遲滯ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス但官廳又ハ公署カ登記權利者ナルトキハ登記義務者ノ承諾書ヲモ添附スルコトヲ要ス

官廳又ハ公署カ取得シタル不動產ニ關スル權利ノ消滅ノ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳又ハ公署ヨリ遲滯ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十二條　假登記ハ次條ノ場合ヲ除ク外假登記權利者ノ申請ニ因リ其目的タル不動產ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヨリ遲滯ナク囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ假處分命令ハ假登記權利者カ假登記原因ヲ疏明シタルトキハ區裁判所之ヲ發スルコトヲ要ス

申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第三十三條　假登記ハ假登記義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其承諾書ヲ添附シテ假登記權利者ヨリ之ヲ登記所ニ申請スルコトヲ得

第三十四條　豫告登記ハ第三條ニ掲ケタル訴ヲ受理シタル裁判所ヨリ職權ヲ以テ遲滯ナク囑託書ニ訴狀ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ之ヲ假登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十五條　登記ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

一　申請書
二　登記原因ヲ證スル書面
三　登記義務者ノ權利ニ關スル登記濟證
四　登記原因ニ付キ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面
五　代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其權限ヲ證スル書面

登記原因ヲ證スル書面カ執行力アル判決ナルトキハ前項第三號及ヒ第四號ニ掲ケタル書面ヲ提出スルコトヲ要セス

第三十六條　申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

一　不動產所在ノ郡、市、區、町村、字及ヒ土地ノ番號
二　地目及ヒ段別又ハ坪數
三　申請人ノ氏名、住所若シ申請人カ法人ナルトキハ其名稱及ヒ事務所
四　代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其氏名、住所
五　登記原因及ヒ其日附
六　登記ノ目的
七　登記所ノ表示
八　年月日

第三十七條　登記スヘキ權利ノ目的カ建物ナル場合ニ於テハ申請書ニ其種類、構造及ヒ建坪ヲ記載シ若シ建物ノ番號アルトキハ其番號ヲ記載シ附屬建物アルトキハ其種類、構造及ヒ建坪ヲ記載スルコトヲ要ス

前條第二號ニ掲ケタル事項ハ前項ノ申請書ニハ之ヲ記載スルコトヲ要セス

第三十八條　登記原因ニ買戻ノ特約其他登記ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ其事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十九條　登記權利者カ多數ナル場合ニ於テ登記原因ニ其持分ノ定アルトキハ申請書ニ其持分ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十條　登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ノ副本ヲ提出スルコトヲ要ス

第四十一條　登記原因カ相續ナルトキハ申請書ニ相續ヲ證スル「戸籍吏」ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十二條　申請人カ登記權利者又ハ登記義務者ノ相續人ナルトキハ申請書ニ其身分ヲ證スル「戸籍吏」ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十三條　登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其表示ノ變更ヲ證スル「戸籍吏」ノ書面

又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依ル變更登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第四十四條 登記義務者ノ權利ニ關スル登記濟證カ滅失シタルトキハ申請書ニ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル成年者二人以上カ登記義務者ノ人違ナキコトヲ保證シタル書面二通ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十五條 申請書ニ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其第三者ヲシテ申請書ニ署名、捺印セシメテ其書面ニ代フルコトヲ得

第四十六條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數箇ノ不動産ニ關スル登記ヲ申請スル場合ニ於テハ登記原因及登記ノ目的カ同一ナルトキニ限リ同一ノ申請書ヲ以テ登記ヲ申請スルコトヲ得

第四十六條ノ二 債權者ヒ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ債權者及ヒ債務者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ事務所及ヒ代位原因ヲ記載シ且代位原因ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス但同一ノ不動産ニ關シテ同時ニ數箇ノ申請アリタルトキハ同一ノ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス

申請書其他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ之ヲ申請人ニ交付スルコトヲ要ス

第四十八條 登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十九條 登記官吏ハ左ノ場合ニ限リ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ申請ヲ却下スルコトヲ要ス但申請ノ欠缺カ補正スルコトヲ得ヘキモノナル場合ニ於テ申請人カ即日ニ之ヲ補正シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 事件カ其登記所ノ管轄ニ屬セサルトキ

二 事件ヲ登記スヘキモノニ非サルトキ

三 當事者カ出頭セサルトキ

四 申請書カ方式ニ適合セサルトキ

五 申請書ニ掲ケタル不動産又ハ登記ノ目的タル權利ノ表示カ登記簿ト抵觸スルトキ

六 第四十二條ニ掲ケタル書面ヲ提出シタル場合ヲ除ク外申請書ニ掲ケタル登記義務者ノ表示カ登記簿ト符合セサルトキ

七 申請書ニ掲ケタル事項カ登記原因ヲ證スル書面ト符合セサルトキ

八 申請書ニ必要ナル書面又ハ圖面ヲ添附セサルトキ

九 登錄稅ヲ納付セサルトキ

第五十條 表示欄ニ登記ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、登記ノ目的其他申請書ニ掲ケタル事項ニシテ不動産ノ表示ニ關スルモノヲ記載シテ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

事項欄ニ登記ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、登記權利者ノ氏名、住所、登記原因、其日附、登記ノ目的、其他申請書ニ掲ケタル事項ニシテ登記スヘキ權利ニ關スルモノヲ記載シテ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第四十六條ノ二ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲スニハ前項ノ規定ニ依ルノ外事項欄ニ債權者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ事務所及ヒ代位原因ヲ登記スルコトヲ要ス

第五十一條 登記權利者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名、住所及ヒ他ノ人員ヲ登記用紙ニ記載

シ其氏名、住所ヲ共同人名簿ニ記載スルコトヲ得登記義務者ノ氏名、住所ヲ登記用紙ニ記載スルコトヲ要スル場合ニ於テ登記義務者カ多數ナルトキ亦同シ

第五十二條　表示欄ニ登記ヲ爲ストキハ表示番號欄ニ番號ヲ記載シ事項欄ニ登記ヲ爲ストキハ順位番號欄ニ番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十三條　附記ニ依ル登記ノ順位番號ヲ記載スルニハ主登記ノ番號ヲ用ヰ其番號ノ左側ニ附記何號ト記載スルコトヲ要ス

第五十四條　假登記ハ登記用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲シ其左側ニ餘白ヲ存スルコトヲ要ス

第五十五條　假登記ヲ爲シタル後本登記ノ申請アリタルトキハ假登記ノ左側ノ餘白ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十六條　權利ノ變更ノ登記ニ付キ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限リ附記ニ依リテ其登記ヲ爲ス尙權利ノ變更ノ登記ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル抵當證券ノ所持人又ハ裏書人アルトキハ其者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲモ添附スルコトヲ要ス

抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於テハ其ノ抵當權ノ變更登記ノ申請書ニ抵當證券ヲ添附スルコトヲ要ス

第五十七條　權利ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ變更シタル登記事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第五十八條　登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ登記ヲ爲ストキハ前ノ表示ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第五十九條　行政區畫又ハ其名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス字ハ又其名稱ノ變更アリタルトキ亦同シ

第六十條　登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ登記原因ヲ證スル書面又ハ申請書ノ副本ニ登記番號、申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號及ヒ登記濟ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登記權利者ニ還付スルコトヲ要ス

申請書ニ添附シタル登記濟證又ハ第四十四條ニ揭ケタル書面ノ一通ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號、登記權利者ノ氏名、住所、登記原因、其日附、登記ノ目的及ヒ登記濟ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登記義務者ニ還付スルコトヲ要ス但登記名義人カ多數ナル場合ニ於テ其一部カ登記義務者ナルトキハ登記義務者ノ氏名、住所ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ揭ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名、住所及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第六十條ノ二　第四十六條ノ二ノ場合ニ於テ登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ前條第一項ニ揭ケタル書類ヲ債權者ニ還付シ且登記濟ノ旨ヲ登記權利者ニ通知スルコトヲ要ス

第六十一條　第四十四條ノ場合ニ於テ登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ不動產ノ表示、登記原因、其日附、登記權利者ノ氏名、住所、登記ノ目的及ヒ登記濟ノ旨ヲ登記義務者又ハ其一人ニ通知スルコトヲ要ス

第六十二條　官廳又ハ公署カ登記權利者ノ爲メニ登記ヲ囑託シタル場合ニ於テ登記所ヨリ登記濟證ノ還付ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ登記權利者ニ交付スルコトヲ要ス

第六十三條　登記官吏カ登記ヲ完了シタル後其登記ニ付キ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ登記權利者及ヒ登記義務者ニ通知スルコトヲ要ス但登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ニ通知スルヲ以

テ足ル

第六十三條ノ二　前條ノ場合ニ於テ登記ノ錯誤又ハ遺漏カ登記官吏ノ過誤ニ出テタルトキハ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ヲ除ク外登記官吏ハ遲滯ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲シ其旨ヲ登記權利者及ヒ登記義務者ニ通知スルコトヲ要ス

前條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條ノ三　前二條ノ通知ハ第四十六條ノ二ノ場合ニ於テハ債權者ニ亦之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十四條　第五十六條及ヒ第五十七條ノ規定ハ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　抹消シタル登記ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス尙登記ノ回復ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル抵當證券ノ所持人又ハ裏書人アルトキハ其者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第六十六條　登記回復ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ回復スルトキハ回復ノ登記ヲ爲シタル後更ニ抹消ニ係ル登記ト同一ノ登記ヲ爲シ若シ或登記事項ノミカ抹消ニ係ルトキハ附記ニ依リ更ニ其事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第六十七條　第九條第二項ノ場合ニ於テ乙登記所ハ移送ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ニ依リ相當登記區畫ノ登記簿ニ登記ヲ移スコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記區畫ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第六十八條　同一ノ登記所ノ管轄內ニ於テ一箇又ハ數箇ノ不動產ノ所在地カ甲登記區畫ヨリ乙登記區畫ニ轉屬シタルトキハ登記所ハ乙登記區畫ノ登記簿ニ其不動產ニ關スル登記ヲ移スコトヲ要ス

前條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ前登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第六十九條　第二十三條ノ場合ニ於テハ登記權利者ノミニテ登記ノ回復ヲ申請スルコトヲ得

第七十條　前條ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ前登記ノ順位番號、申請書受附ノ年月日、受附番號ヲ記載シ前登記ノ登記濟證ヲ添附スルコトヲ要ス

第七十一條　第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ不動產ノ表示ヲ爲シ相當區順位番號欄ニ前登記ノ番號ヲ記載シ事項欄ニ前登記ノ申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス

登記官吏ハ回復ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ前登記ニ付キ職權ヲ以テ記載シタル事項アリタルコトヲ發見シタルトキハ其事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條　第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間中新登記ノ申請アリタルトキハ假設登記簿ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ登記濟證ニ假設登記簿ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十三條　假設登記簿ニ爲シタル登記ハ第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間滿了ノ後遲滯ナク之ヲ登記簿ニ移ス

コトヲ要ス此場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ假設登記簿ニ於ケル登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十七條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ其不動產ニ關スル假設登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第七十四條　假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移ス場合ニ於テ回復シタル登記アルトキハ新登記ノ順位番號欄ニハ回復シタル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十五條　假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シタルトキハ當事者ニ對シ之ニ本登記濟證ヲ與フヘキ旨ヲ通知シ若シ回復シタル登記ト假設登記簿ヨリ移シタル登記ト牴觸スルトキハ同時ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

當事者カ登記濟證ヲ申請スル場合ニ於テハ假設登記簿ニ於ケル登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

前項ノ申請アリタルトキハ第六十條ノ規定ヲ準用ス

第七十六條　登記用紙中表題部又ハ或區カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號欄ニ前用紙ノ登記番號ヲ轉寫シ前用紙ノ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載シ且前用紙中登記番號欄ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載スルコトヲ要ス

前用紙中表題部又ハ他ノ區ニ餘白アルトキハ表題部又ハ其區ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七十七條　登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫明瞭ナルコトヲ要ス

金錢其他ノ物ノ數量、年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用ヰルコトヲ要ス

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スルコトヲ要ス

第二節　所有權ニ關スル登記手續

第七十八條　所有權ノ一部移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其部分ノ表示ヲ爲シ若シ登記原因ニ民法第二百五十六條第一項但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十九條　土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ增減又ハ地目若クハ番號ノ變更アリタルトキハ其土地ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滯ナク其登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第八十條　前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地ノ分合、滅失若クハ增減シタル段別若クハ坪數竝ニ現在ノ段別若クハ坪數又ハ新地目若クハ新番號ヲ記載シ且土地臺帳謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第八十一條　土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ減少又ハ地目ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ申請書ニ其登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス尙抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於テハ其所持人又ハ裏書人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲモ添附スルコトヲ要ス

第五十六條第二項ノ規定ハ抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於ケル前項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第八十二條　甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ト爲シタル場合ニ於テ分筆ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ分割ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ甲地ノ登記用紙中表示欄ニ殘餘部分ノ表示ヲ爲シ分割ニ因リテ他ノ部分ヲ登記何號ニ移

シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十三條　前條第一項ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權其他ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シ且所有權以外ノ權利ニ關スル登記中甲地ト共ニ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ヨリ乙地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ乙地ト共ニ其權利ノ目的タル旨ヲ附記スルコトヲ要ス

申請書ニ所有權以外ノ權利ノ登記名義人カ乙地ニ關シ其權利ノ消滅ヲ承諾シタルコトヲ證スル書面又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第八十四條　甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ト爲シタル場合ニ於テ乙地ノミカ所有權以外ノ權利ノ目的タルトキハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ關スル登記ヲ移シ申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ甲地ノ登記用紙中所有權以外ノ權利ニ關スル登記ニ乙地ノ表示ヲ爲シ分割ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ附記シ其登記ヲ朱抹スルコトヲ要ス

申請書ニ所有權以外ノ權利ノ登記名義人カ其權利ノ消滅ヲ承諾シタルコトヲ證スル書面又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ其旨ヲ附記シ其登記ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十五條　甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ニ合併シタル場合ニ於テ合併ノ登記ヲ爲ストキハ乙地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ轉寫シ其登記カ合併シタル部分ノミニ關スル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ヨリ乙地ノ登記用紙ニ所有權ニ關スル登記ヲ轉寫シ合併シタル部分ノミカ甲地ト共ニ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第八十二條第二項、第八十三條第二項、第三項及ヒ前條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條　甲地ヲ乙地ニ合併シタル場合ニ於テ合筆ノ登記ヲ爲ストキハ乙地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ甲地ノ表示、其番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第八十七條　前條ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ移シ其登記カ甲地タリシ部分ノミニ關スル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ移シ甲地タリシ部分ノミカ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第八十三條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十八條　土地ノ段別又ハ坪數ノ增減ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙表示欄ニ增減ノ原因ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十九條　地目又ハ土地ノ番號ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第九十條　削除

第九十一條　建物ノ分合、其番號若クハ構造ノ變更、其滅失、其建坪ノ增減又ハ附屬建物ノ新築アリタルトキハ其建物ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滯ナク登記ヲ申請スルコトヲ要ス

建物ノ敷地ノ番號ノ變更アリタルトキ亦同シ

第九十二條　前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ分合シタル建坪、新番號若クハ新構造又ハ滅失、增減若クハ新築シタル建坪竝ニ現在ノ建坪ヲ記載シ又ハ敷地ノ新番號ヲ記載シ且建物ノ分合、構造ノ變更又ハ建坪ノ增減ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其圖面ヲ添附スルコトヲ要ス

第九十三條　建物ノ分合、其構造ノ變更、其滅失又ハ其建坪ノ減少ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其建物ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ第八十一條ノ規定ヲ準用ス

第九十四條　甲建物又ハ其附屬建物ヲ分割又ハ區分シテ之ヲ乙建物ト爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ分割又ハ區分ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ甲建物ノ登記用紙中表示欄ニ殘餘部分ノ表示ヲ爲シ分割又ハ區分ニ因リテ他ノ部分ヲ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス但分割又ハ區分シタル附屬建物ノミニ關スル表示番號アルトキハ其番號ヲモ朱抹スルコトヲ要ス

第九十五條　甲建物又ハ其附屬建物ヲ分割又ハ區分シテ之ヲ乙建物ノ附屬建物ト爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲ストキハ乙建物ノ登記用紙表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十六條　第八十三條及ヒ第八十四條ノ規定ハ第九十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登記原因ノ記事ナキトキハ第八十三條ニ定メタル手續ヲ爲ス外乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ氏名、住所及ヒ分割又ハ區分ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十七條　第八十五條第二項乃至第四項ノ規定ハ第九十五條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登記原因ノ記事ナキトキハ第八十五條第二項乃至第四項ニ定メタル手續ヲ爲ス外乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ氏名、住所及ヒ合併ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十八條　甲建物ヲ乙建物又ハ其附屬建物ニ合併シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲スニ付テハ第八十六條及ヒ第八十七條ノ規定ヲ準用ス但甲建物ヲ乙建物ノ附屬建物ニ合併シタル場合ニ於テハ乙建物ノ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要セス

第九十九條　第八十八條ノ規定ハ建物又ハ附屬建物ノ建坪ノ增減ノ登記ニ之ヲ準用ス

附屬建物ノ新築ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登記用紙中表示欄ニ附屬建物ノ種類、構造及ヒ建坪ヲ記載スルコトヲ要ス

第百條　第八十九條ノ規定ハ建物ノ番號ノ變更、建物若クハ附屬建物ノ構造ノ變更又ハ敷地ノ番號ノ變更ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百條ノ二　行政區畫又ハ字ノ變更ニ伴ヒ土地ノ番號ノ變更アリタルトキハ土地臺帳所管廳ハ遲滯ナク其旨ヲ登記所ニ

通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滯ナク登記用紙中表示欄ニ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百一條 不動產ノ滅失ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ滅失ノ原因ヲ記載シ不動產ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第百二條 前條ノ場合ニ於テ滅失シタル不動產カ他ノ不動產ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タリシトキハ他ノ不動產ノ登記用紙中相當區事項欄ニ滅失シタル不動產ノ表示ヲ爲シ滅失ノ原因及ヒ其不動產ノ滅失シタルコトヲ附記シ其不動產ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨ヲ記載シタル登記中滅失シタル不動產ノ表示ヲ朱抹スルコトヲ要ス

他ノ不動產ノ所在地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滯ナク前項ノ登記ヲ其登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ遲滯ナク第一項ニ定メタル手續ヲ爲スコトヲ要ス

第百二條ノ二 既登記ノ不動產ヲ世傳御料ニ編入シタル場合ニ於テ其登記ノ抹消ノ囑託アリタルトキハ登記用紙中表示欄ニ世傳御料ニ編入シタル旨ヲ記載シ不動產ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第百二條ノ三 既登記ノ土地カ河川ノ敷地ト爲リタル場合ニ於テハ當該官廳ハ遲滯ナク其登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ當該官廳ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ土地ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ囑託スルコトヲ得

第一項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ登記用紙中表示欄ニ河川ノ敷地ト爲リタル旨ヲ記載シ土地ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ第百二條ノ規定ヲ準用ス

第百三條 土地ノ收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得其申請書ニハ補償金ノ受取證又ハ供託受領證ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ起業者ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ土地ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ申請スルコトヲ得

官廳又ハ公署カ起業者ナルトキハ其官廳又ハ公署ハ遲滯ナク前二項ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第百三條ノ二 第四十六條ノ二、第五十條第三項、第六十條ノ二及ヒ第六十三條ノ三ノ規定ハ第百二條ノ三第二項及ヒ前條第二項ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百三條ノ三 不動產ニ付遺留財產ノ設定又ハ增加ノ勅許アリタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク遺留財產ノ設定ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第百三條ノ四 前條ノ規定ハ王公家軌範ニ依ル世襲財產ノ設定又ハ增加ノ勅許アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第百四條 不動產ヲ華族世襲財產ト爲スコトヲ認可シタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク世襲財產ノ設定ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

華族世襲財產法第二十三條又ハ第二十八條ノ規定ニ依ル管理財產中不動產アルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク管理財產タル旨ノ登記ヲ登記所ニ囑託シ管理終了シタルトキハ其登記ノ抹消ヲ囑託スルコトヲ要ス

管理人カ其管理中取得シタル不動產ニ付テハ取得ノ登記ト共ニ管理財產タル旨ノ登記ヲ申請シ管理終了シタルトキハ其登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ要ス

第百四條ノ二　不動産ノ信託ノ登記ニ付テハ受託者ヲ登記權利者トシ委託者ヲ登記義務者トス

第百四條ノ三　信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財産ニ屬スル不動産ノ信託ノ登記ハ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ信託法第二十七條ノ規定ニ基ク信託財産ノ復舊ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四條ノ四　受益者又ハ委託者ハ受託者ニ代位シテ信託ノ登記ヲ申請スルコトヲ得

第四十六條ノ二ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル代位登記ノ申請ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ申請書ニ代位原因ヲ證スル書面ノ外登記ノ目的タル不動産ノ信託財産タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百四條ノ五　信託ノ登記ノ申請ハ信託ニ因ル不動産ノ所有權ノ移轉ノ登記ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財産ニ屬スル不動産ノ取得ノ登記ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第百四條ノ六　受託者更迭ノ場合ニ於テ所有權移轉ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其更迭ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ信託法第五十條第二項ノ場合ニ於テ爲スヘキ變更ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百四條ノ七　受託者ノ任務カ死亡、破産、禁治産、準禁治産又ハ裁判所若クハ主務官廳ノ解任命令ニ因リテ終了シタルトキハ前條ノ登記ハ新受託者又ハ他ノ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得受託者タル法人ノ任務カ解散ニ因リテ終了シタルトキ亦同シ

第百四條ノ八　信託ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ申請書ニ添附スルコトヲ要ス

一　委託者、受託者、受益者及ヒ信託管理人ノ氏名、住所法人ニ在リテハ其名稱及ヒ事務所

二　信託ノ目的

三　信託財産ノ管理方法

四　信託終了ノ事由

五　其他信託ノ條項

前項ノ書面ニハ申請人署名、捺印スルコトヲ要ス

第百四條ノ九　前條ノ規定ニ依リ申請書ニ添附シタル書面ハ之ヲ信託原簿トス信託原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第百四條ノ十　裁判所カ信託管理人ヲ選任シ又ハ解任シタルトキハ遲滯ナク信託原簿ノ記載ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス主務官廳カ信託管理人ヲ選任シタルトキ亦同シ

第百四條ノ十一　前條ノ規定ハ裁判所又ハ主務官廳カ受託者ヲ解任シタル場合ニ之ヲ準用ス

第百四條ノ十二　裁判所カ信託財産ノ管理方法ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク信託原簿ノ記載ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ主務官廳カ信託ノ條項ヲ變更シタル場合ニ之ヲ準用ス

第百四條ノ十三　前三條ノ場合ヲ除ク外第百四條ノ八第一項ニ掲クル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ受託者ハ遲滯ナク其變更ヲ證スル書面ヲ添ヘテ信託原簿ノ記載ヲ申請スルコトヲ要ス但第百四條ノ六又ハ第百四條ノ七ノ場合ニ於テ登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ信託原簿ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第百四條ノ十四　第百四條ノ十一ノ規定ニ依リテ信託原簿ノ記載ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ登記簿ニ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第百四條ノ十五　第百四條ノ二乃至前條ノ規定ハ擔保附社債信託法ニ依ル登記ニ之ヲ適用セス

第百五條　未登記ノ土地所有權ノ登記ハ左ニ揭ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

一　土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者

二　判決ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第百六條　未登記ノ建物所有權ノ登記ハ左ニ揭ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

一　建物ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者トシテ登記簿ニ登記セラレタル者

二　土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ敷地ノ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者

三　既登記ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者ノ證明書ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

四　判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第百七條　前二條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ第百五條第何號又ハ前條第何號ニ依リテ登記ヲ申請スル旨ヲ記載シ必要ナル證明書類ヲ添附シ前條ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ圖面ヲ添附スルコトヲ要ス但登記原因及ヒ其日附ヲ記載シ又ハ第三十五條第二號乃至第四號ニ揭ケタル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第百八條　未登記ノ不動產所有權ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第百九條　第百二十八條及ヒ第百二十九條ノ規定ハ未登記ノ不動產所有權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百十條　官廳又ハ公署カ未登記ノ不動產所有權ノ登記ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ第百五條又ハ第百六條ノ規定ニ依リテ證明ヲ爲スコトヲ要セス

第三節　所有權以外ノ權利ニ關スル登記手續

第百十一條　地上權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ地上權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間、地代又ハ其支拂時期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十二條　永小作權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ小作料ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間、小作料ノ支拂時期其他永小作人ノ權利若クハ義務ニ關スル特約又ハ民法第二百七十二條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十三條　地役權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ要役地ノ表示ヲ爲シ地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ民法第二百八十一條第一項但書、第二百八十五條第一項但書又ハ第二百八十六條ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十四條　地役權ノ設定ノ登記ヲ爲シタルトキハ要役地タル不動產ノ登記用紙中相當區事項欄ニ承役地タル不動產ノ表示ヲ爲シ其不動產カ地役權ノ目的タル旨、地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載スルコトヲ要ス

要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滯ナク其登記所ニ承役地、要役地、地役權設定ノ目的竝ニ範圍及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滯ナク要役地タル不動產ノ登記用紙中相當區事項欄ニ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十五條　先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルト

キハ之ヲ記載スルコトヲ要ス但不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ付テハ其工事費用ノ豫算額ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十六條　質權ノ設定又ハ轉質ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、違約金若クハ賠償額ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ、民法第三百四十六條但書ノ定アルトキ、第三百五十六條若クハ第三百五十七條ノ規定ニ異ナリタル定アルトキ又ハ第三百七十條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十七條　抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、其發生期若クハ支拂時期ノ定アルトキ、元本若クハ利息ノ支拂場所ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ、民法第三百七十條但書ノ定アルトキ又ハ抵當證券發行ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十八條　先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ權利ノ目的カ所有權以外ノ權利ナルトキハ申請書ニ其權利ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第百十九條　質權又ハ抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ設定者カ債務者ニ非サルトキハ申請書ニ債務者ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權又ハ抵當權カ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スルコトヲ要ス

第百十九條ノ二　抵當證券ノ發行アル抵當權ノ目的物ノ讓渡ニ因ル移轉ノ登記ヲ爲シタルトキ又ハ抵當權ノ目的物ノ讓渡ニ因ル移轉ノ登記ヲ爲シタル後抵當證券ノ發行アリタルトキハ抵當權設定者ハ其氏名、住所ノ登記ヲ申請スルコトヲ得但抵當權設定者カ債務者ニ非サルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ登記ハ抵當權設定ノ登記ニ附記シテ之ヲ爲ス

第百二十條　一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル先取權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其債權ノ價格ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十一條　官吏又ハ公吏ノ身元保證ヲ目的トスル抵當權ノ設定ノ登記ハ囑託書ニ其官吏又ハ公吏カ差出シタル登記請求書ヲ添附シテ當該官廳又ハ公署ヨリ遲滯ナク之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第百二十二條　數箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十二條ノ二　前條ノ場合ニ於テ不動産カ五箇以上ナルトキハ申請書ニ共同擔保目錄ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ目錄ニハ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

第百二十二條ノ三　一箇又ハ數箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ爲シタル後同一ノ債權ニ付キ他ノ一箇又ハ數箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前ノ登記ヲ表示スルニ足ルヘキ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十三條　債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル先取特權、質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十四條　第百二十二條ノ規定ニ從ヒテ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ其一箇ノ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲ストキハ其不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ他ノ不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其權利カ共ニ擔保ノ目的タル

旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十四條ノ二　申請書ニ共同擔保目錄ヲ添附シタル場合ニ於テ其一箇ノ不動產ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲ストキハ其不動產ノ登記用紙中相當區事項欄ニ共同擔保目錄ニ揭ケタル他ノ不動產ニ關スル權利ト共ニ擔保ノ目的タル旨ヲ記載スルヲ以テ足ル

第百二十四條ノ三　共同擔保目錄ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第百二十四條ノ四　第百二十二條ノ三ノ規定ニ依ル登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ其登記及ヒ前ノ登記ニ各不動產ニ關スル權利カ共ニ擔保ノ目的タルコトヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十四條及ヒ第百二十四條ノ二ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十五條　先取特權、質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

第百二十六條　數箇ノ不動產ニ關スル權利カ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其一箇ノ不動產ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ他ノ不動產ニ關スル權利ニ付キ第百二十四條ノ規定ニ從ヒテ爲シタル登記ニ其旨ヲ附記シ消滅ニ係ル事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス其一箇ノ不動產ニ關スル權利ノ表示ニ付キ變更ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

第百十四條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十六條ノ二　前條第一項ノ規定ニ從ヒテ爲スヘキ登記ハ共同擔保目錄アル場合ニ於テハ其目錄ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十六條ノ三　登記官吏カ抵當證券ヲ交付シタルトキハ職權ヲ以テ抵當權設定ノ登記ニ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第百二十六條ノ四　登記官吏カ抵當證券法第五條第二項ノ囑託ニ因リ抵當證券ヲ作成シタルトキハ職權ヲ以テ抵當權設定ノ登記ニ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

抵當證券法第一條第二項ノ申請アリタル場合ニ於テ登記官吏カ抵當證券ヲ交付シタルトキハ他ノ登記所ニ前條ノ登記ヲ囑託スルコトヲ要ス其申請ヲ却下シタルトキハ前項ノ規定ニ依ル登記ノ抹消ヲ囑託スルコトヲ要ス

第百二十六條ノ五　前條第一項ノ規定ニ依ル登記アリタル不動產ニ付キ同條第二項ノ囑託ニ因リ抵當證券交付ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ハ同條第一項ノ規定ニ依ル登記ノ時ニ遡リテ其效力ヲ生ス

第百二十七條　賃借權ノ設定又ハ賃借物ノ轉貸ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ借賃ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ借賃ノ支拂時期ノ定アルトキ又ハ賃借權ノ移轉若クハ賃借物ノ轉貸ヲ許シタルトキハ之ヲ記載シ賃貸借ヲ爲ス者カ處分ノ能力若クハ權限ヲ有セサル者ナルトキハ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス

賃借權ノ移轉又ハ賃借物ノ轉貸ヲ許シタル旨ノ登記アラサル場合ニ於テ賃借權ノ移轉又ハ賃借物ノ轉貸ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ賃貸人ノ承諾書ヲ添附スルコトヲ要ス

第百二十七條ノ二　第百三條及ヒ第百三條ノ二ノ規定ハ土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ收用ニ因ル權利移轉ノ登記ニ、第百四條ノ二乃至第百四條ノ十五ノ規定ハ不動產ニ關スル所有權以外ノ權利ノ信託ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百二十八條　未登記ノ不動產ノ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第百二十九條　前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ不動產ノ表示ヲ爲シ且甲區事項欄ニ所有者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記

載スルコトヲ要ス

第百三十條　未登記ノ不動產ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ因リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第百三十一條　前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ不動產ノ表示ヲ爲シ甲區事項欄ニ何權利ヲ目的トスル何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ且所有權以外ノ權利ヲ登記スベキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百三十二條　既登記ノ不動產ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ因リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第百三十三條　前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中所有權以外ノ權利ヲ登記スベキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百三十四條　前四條ノ規定ハ所有權以外ノ權利又ハ其權利ヲ目的トスル權利ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百三十五條　官廳又ハ公署カ未登記ノ不動產ニ付キ所有權以外ノ權利若クハ其權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記又ハ既登記ノ不動產ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ裁判ニ因リテ其權利ヲ證スルコトヲ要セス

第百三十六條　建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動產工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ設計書ニ定メタル其建物ノ種類、構造、建坪、建物ヲ新築スヘキ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號及ヒ工事費用ノ豫算額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載シ設計書及ヒ圖面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百三十七條　前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ新築スヘキ建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類、構造及ヒ建坪ハ設計書ニ依ル旨ヲ記載シ甲區事項欄ニ登記義務者ノ氏名、住所及ヒ不動產工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百三十八條　既登記ノ主タル建物ノ附屬建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動產工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登記用紙中表示欄ニ新築スヘキ附屬建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類、構造及ヒ建坪ハ設計書ニ依ル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百三十九條　建物ヲ新築スルニ付キ不動產工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築カ終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滯ナク所有權ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス但第百六條及ヒ第百七條ノ適用ヲ妨ケス

附屬建物ヲ新築スルニ付キ不動產工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築カ終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滯ナク新築ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第百四十條　前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ更ニ建物ノ表示ヲ爲シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス但前條第一項ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ不動產工事ノ先取特權ノ保存ニ關シテ甲區事項欄ニ爲シタル登記ヲモ朱抹スルコトヲ要ス

第四節　抹消ニ關スル登記手續

第百四十一條　登記シタル權利カ或人ノ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其死亡ヲ證スル戸籍吏ノ書面其他

ノ公正證書ヲ添附スルトキハ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第百四十二條　登記權利者カ登記義務者ノ行方ノ知レサルニ因リ之ト共ニ登記ノ抹消ヲ申請スルコト能ハサルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其謄本ヲ添附シ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書及ヒ債權竝ニ最後ノ二年分ノ定期金ノ受取證書ヲ添附シタルトキハ登記權利者ノミニテ先取特權、質權又ハ抵當權ニ關スル登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第百四十二條ノ二　遺留財產ノ廢止ノ勅許アリタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク遺留財產ノ設定ノ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス遺留財產ノ相續人ナキトキ亦同シ

第百四十二條ノ三　前條ノ規定ハ王公家軌範ニ依ル世襲財產ノ解除ノ勅許アリタル場合及ヒ世襲財產ノ失效アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第百四十三條　華族世襲財產ノ廢止又ハ失效アリタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク華族世襲財產ノ設定ノ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第百四十三條ノ二　信託財產タル不動產ニ關スル權利ノ移轉ニ因リ其權利カ信託財產ニ屬セサルニ至リタル場合ニ於テ爲スヘキ信託登記抹消ノ申請ハ移轉登記ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ信託終了ニ因リ信託財產タル不動產ニ關スル權利カ移轉シタル場合ニ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ擔保附社債信託法ニ依ル登記ニ之ヲ適用セス

第百四十四條　假登記ノ抹消ハ假登記名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

申請書ニ假登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ登記上ノ利害關係人ヨリ假登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第百四十五條　第三條ニ揭ケタル訴ヲ却下シタル裁判若クハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判カ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付キ和解アリタルトキハ第一審裁判所ハ遲滯ナク囑託書ニ裁判ノ謄本若クハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若クハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ豫告登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第百四十六條　登記ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其抹消ニ付キ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス尙登記ノ抹消ニ付利害ノ關係ヲ有スル抵當證券ノ所持人又ハ裏書人アルトキハ其者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲモ添附スルコトヲ要ス抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於テハ其抵當權ノ抹消ノ登記申請書ニ抵當證券ヲ添附スルコトヲ要ス

第百四十七條　登記ヲ抹消スルニハ抹消ノ登記ヲ爲シタル後抹消スヘキ登記ヲ朱抹スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ抹消ニ係ル權利ヲ目的トスル第三者ノ權利ニ關スル登記アルトキハ登記用紙中相當區事項欄ニ其第三者ノ權利ノ表示ヲ爲シ何權利ノ登記ヲ抹消シタルニ因リテ抹消ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百四十八條　第二十九條ノ規定ニ從ヒ官廳又ハ公署ヨリ公賣處分ニ因ル權利移轉ノ登記ノ囑託アリタル場合ニ於テハ、滯納處分ニ關スル差押ノ登記ヲ抹消シ若シ其權利ヲ目的トセル先取特權、質權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第百四十九條　第百三條ノ規定ニ從ヒ土地收用ニ因リ所有權移轉ノ登記ノ申請又ハ囑託アリタル場合ニ於テ其不動產ノ登記用紙中所有權又ハ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス但其不動產ノ爲メニ存スル地役權ノ登記ハ此限ニ在ラス

第百四十九條ノ二　登記官吏ハ登記ヲ完了シタル後其登記カ第四十九條第一號又ハ第二號ニ該當スルモノナルコトヲ發見シタルトキハ登記權利者、登記義務者及ヒ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者ニ對シ一个月ヲ超エサル期間ヲ定メ其期間內ニ異議ノ申立ナキトキハ登記ヲ抹消スヘキ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

通知ヲ受クヘキ者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ前項ノ通知ニ代ヘ商業登記ニ付キ定メタル公告ト同一ノ方法ヲ以テ公告スルコトヲ要ス

登記官吏ハ前項ノ外相當ト認ムル新聞紙ニ同一ノ公告ヲ揭載セシムルコトヲ得

第百四十九條ノ三　異議ノ申立アリタルトキハ登記官吏ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ裁判ニ對シテハ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第百四十九條ノ四　前條第二項ノ卽時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第百四十九條ノ五　異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下スル裁判カ確定シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第五章　抗告

第百五十條　登記官吏ノ決定又ハ處分ヲ不當トスル者ハ管轄地方裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第百五十一條　抗告ハ登記所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

第百五十二條　抗告ハ新ナル事實及ヒ證據方法ヲ以テ其憑據ト爲スコトヲ得ス

第百五十三條　登記官吏カ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ三日內ニ意見ヲ附シテ事件ヲ抗告裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

登記官吏カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス若シ登記完了ノ後ナルトキハ其登記ニ付キ異議アル旨ノ附記ヲ爲シ之ヲ登記上ノ利害關係人ニ通知シ且前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第百五十四條　抗告ハ執行ヲ停止スル效力ヲ有セス

抗告裁判所ハ抗告ニ付キ決定ヲ爲ス前登記官吏ニ假登記ヲ命スルコトヲ得

第百五十五條　抗告裁判所カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ決定ヲ以テ登記官吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告裁判所ハ登記上ノ利害關係人ニ決定ノ謄本ヲ送達スルコトヲ要ス

第百五十六條　抗告裁判所ノ決定ニハ理由ヲ附スルコトヲ要ス

第百五十七條　登記官吏カ抗告裁判所ノ命令ニ依リテ登記ヲ爲ストキハ命令ヲ爲シタル裁判所、命令ノ年月日、命令ニ依リテ登記ヲ爲ス旨及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第百五十八條　抗告裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル決定ナルコトヲ理由トスルトキニ限リ抗告ヲ爲スコトヲ得

第百五十四條乃至第百五十七條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第百五十九條　送達ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用シ抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

附則

不動產登記法

第百六十條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム　（明治三二年六月一六日ヨリ施行）

第百六十一條　明治十九年法律第一號登記法中地所及ヒ建物ノ登記ニ關スル規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第百六十二條　明治六年第十八號布告地所質入書入規則又ハ同八年第百四十八號布告建物書入質規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ一年內ニ債權者ヨリ其登記ヲ申請セサルトキハ其權利ハ公證ノ效力ヲ失フ

前項ノ規定ニ從ヒテ登記シタル權利ノ順位ハ公證ノ順位ニ依ル

第一項ニ定メタル登記ニ關スル手續ハ司法大臣之ヲ定ム

第百六十三條　本法施行前ニ登記シタル不動產ニ付キ本法施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動產ノ表示ヲ移シ相當區順位番號欄及ヒ事項欄ニ舊登記簿ノ用紙中抹消ニ係ラサル番號及ヒ事項ヲ移シ舊登記簿ノ用紙中新登記簿ノ用紙ニ移シタル番號及ヒ事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第百六十四條　本法ノ施行ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

附　則　（大正二年四月法律第一八號）

第一條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム　（大正二年六月一日ヨリ施行）

第二條　本法施行前ニ登記所ノ受附タル事件ハ從前ノ規定ニ依リ完結ス

第三條　本法施行前ニ調製シタル登記簿ハ當分ノ內之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ登記簿ニ關スル從前ノ規定ハ仍ホ其效力ヲ有ス

第四條　本法ニ依ル登記簿ニ始メテ登記ヲ爲ス場合ニ於ケル登記番號ハ從來ノ番號ヲ追ヒテ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第五條　從前ノ規定ニ依ル登記用紙中表題部又ハ或區カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ本法ニ依ル登記簿ニ繼續用紙ヲ設クルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ乙區事項欄ニ登記ヲ爲ストキハ新ナル順位番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第六條　所有權以外ノ權利ニ關スル登記ノ前後ハ從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ爲シタルモノト本法ニ依ル登記簿ニ爲シタルモノトノ間ニ在リテハ受附番號ニ依ル

第七條　從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ爲シタル所有權以外ノ權利ニ關スル登記ニ付キ本法ニ依ル登記簿ニ附記登記ヲ爲ス場合ニ於テハ主登記ヲ爲シタル區ノ名稱ヲ記載スルコトヲ要ス

第八條　從前ノ規定ニ依ル登記簿ヨリ本法ニ依ル登記簿ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ヲ移シ又ハ轉寫スルトキハ受附番號ノ順序ヲ追ヒテ新ナル順位番號ヲ記載シ其左側ニ從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ於ケル區ノ名稱及ヒ順位番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第九條　不動產登記法施行前ニ登記シタル不動產ニ付キ本法施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ於テ本法ニ依ル登記簿ニ登記ヲ爲ストキハ第百六十三條ノ規定ヲ準用ス

第十條　明治三十九年法律第五十五號ハ之ヲ廢止ス

附　則　（昭和二年三月法律第三四號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム　（昭和二年四月二〇日ヨリ施行）

參照法令

附　則（昭和六年三月法律第二〇號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和六年八月一日ヨリ施行）

道府縣手數料令（拔萃）

明治四十三年五月五日
勅令第二百十九號

第一條　道府縣ハ左ノ手數料ヲ徵收スルコトヲ得但シ東京府下伊豆七島及小笠原島ニ於テハ國ニ於テ之ヲ徵收スルコトヲ得

（前　略）

一　自動車運轉免許試驗手數料、自動車運轉免許證交付手數料及自動車運轉免許證再交付手數料

一　自動車檢査證交付手數料及自動車檢査證再交付手數料

（以下略）

賣藥部外品等ノ免許手數料額及手數料免除ニ關スル件（拔萃）

明治四十三年五月十三日
內務省令第十九號

第一條　明治四十三年五月勅令第二百十九號ニ依リ道府縣ニ於テ徵收スル手數料ハ左記金額ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス

（前　略）

一　自動車運轉免許試驗手數料　金貳圓

一　自動車運轉免許證交付手數料　金五拾錢

一　自動車運轉免許證再交付手數料　金五拾錢

一　自動車檢査證交付手數料　普通自動車及特殊自動車　一臺ニ付　金壹圓

一　自動車檢査證再交付手數料　小型自動車　一臺ニ付　金五拾錢

（以下略）

第三編　成例通牒

第一款　成例

自動車運送事業組合定款例

第一章　總則

第一條　本組合ハ自動車運送事業ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲其ノ統制指導ヲ圖リ且之ガ爲ニスル經營ヲ行ヒ併而自動車運送事業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ以テ目的トス

第二條　本組合ハ○○縣（都、府）○○自動車運送事業組合ト稱ス

第三條　本組合ノ地區ハ○○縣（都、府）ノ區域トス

第四條　本組合ハ主タル事務所（以下本部ト稱ス）ヲ○○市ニ置ク

理事長必要アリト認ムルトキハ總會ニ諮リ從タル事務所（以下支部ト稱ス）ヲ設クルコトヲ得

理事長ハ統制其ノ他組合事業ノ實施ノ徹底ヲ期スル爲必要アルトキハ前項ノ支部ノ出張所又ハ本部直轄ノ出張所ヲ設クルコトヲ得

理事長前項ノ出張所ヲ設ケントスルトキハ理事會及關係支部長ノ意見ヲ徵スベシ

支部及出張所ノ地區ハ理事會ニ諮リ理事長之ヲ定ム

第五條　本組合ハ○○自動車○○事業者及○○自動車運送事業者ニシテ地區內ニ營業所ヲ有スル者ヲ以テ之ヲ組織

第六條　本組合ノ公告ハ自動車運送事業組合令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本部ノ掲示場ニ掲示シテ之ヲ爲スモノトス

第二章　組合員

第七條　組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ資格ヲ取得シタル時ニ於テ本組合ノ組合員ト爲ルモノトス

第八條　組合員タル資格ヲ有スル者前條ノ規定ニ依リ組合員ト爲リタルトキハ遲滯ナク本籍又ハ住所、氏名、商號又ハ名稱、事業種別、本組合ノ地區内ニ於ケル車種別認可車輛數及車種別實働車輛數竝ニ主タル事務所及本組合ノ地區内ニ於ケル營業所ヲ本組合ニ屆出ヅルコトヲ要ス

本組合前項ノ屆出ヲ受附ケタルトキハ直ニ其ノ本籍又ハ住所及氏名、商號又ハ名稱ヲ組合員名簿ニ登錄ス

第九條　組合員ハ本組合ニ對シ左ノ義務ヲ負フ

一　定款、統制規程及理事長ノ指揮ニ服シ之ヲ嚴守スルコト

二　前條第一項ノ規定ニ依リ屆出デタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ本組合ニ屆出ヅルコト

三　賦課金徵收規程ノ定ムル所ニ從ヒ本組合ノ賦課金ヲ納付スルコト

四　本組合ノ施設ヲ利用シタルトキハ使用料徵收規程及手數料徵收規程ノ定ムル所ニ從ヒ使用料及手數料ヲ納付スルコト

五　業務若ハ財産ノ狀況又ハ帳簿、書類、設備其ノ他ノ物件ニ對スル本組合ノ行フ檢査ニ應ズルコト

六　本組合ノ出頭ノ求ニ應ジ又ハ照會若ハ質問ニ對シ回答ヲ爲スコト

七　本組合ヨリ事業ニ關スル調査資料ノ提出ヲ求メラレタルトキハ之ニ應ズルコト

八　新ニ本組合ニ加入シタル者ハ加入前ニ生ジタル本組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負フコト

九　本組合解散ノ場合ニ於テ組合財産ヲ以テ債務ヲ完濟スルコト能ハザルトキハ自動車運送事業組合令ニ依リ賦課金ヲ納付スルコト

第十條　組合員ハ本組合ニ對シ左ノ權利ヲ有ス

一　總會ニ出席シテ意見ヲ述ブルコト

二　定款ノ定ムル所ニ從ヒ監事ヲ選擧スルコト

三　定款ノ定ムル所ニ從ヒ本組合ノ施設ヲ利用スルコト

四　本組合ノ業務及財産ノ狀況ニ付理事長及理事ノ說明ヲ求メ竝ニ本組合ノ書類及帳簿ノ閱覽ヲ爲スコト

五　本組合ノ業務ニ關シ意見ヲ述ブルコト

六　本組合解散ノ場合ニ於テ殘餘財産アルトキハ其ノ分配ヲ受クルコト

第十一條　組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脫退ス

一　組合員タル資格ノ喪失

二　死亡

組合員組合員タル資格ヲ喪失シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ本組合ニ屆出ヅルコトヲ要ス

第十二條　自動車運送事業ヲ營ム者ニ非ズシテ自動車ヲ使用スル者ノ申出アリタル場合ニ於テ理事長自動車運送事業ニ關スル連絡又ハ統制ノ爲必要アリト認ムルトキハ總會ニ諮リ之ヲ準組合員トシテ本組合ニ加入セシムルコトヲ得

前項ノ準組合員ハ本組合ノ地區内ニ營業所ヲ有スル者ニ限ルモノトス

第十三條　準組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脫退ス

一　準組合員タル資格ノ喪失

二　死亡

三　破産

四　禁治産

五　除名

準組合員準組合員タル資格ヲ喪失シ又ハ破産若ハ禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ遅滞ナク其ノ旨ヲ本組合ニ屆出ヅルコトヲ要ス

第十四條　準組合員ハ前條ニ規定スル場合ノ外事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得脱退ノ申出ハ少クトモ事業年度末六月前ニ理由ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十五條　準組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ理事長ハ總會ニ諮リ之ヲ除名スルコトヲ得

一　賦課金其ノ他本組合ニ支拂フベキ金錢ノ支拂ヲ怠リ催告ヲ受ケタル後二月以内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ

二　本組合ノ統制ニ違反シ又ハ理事長ノ指揮ニ從ハザルトキ

三　本組合ニ損害ヲ加ヘ又ハ本組合ノ事業ヲ妨ゲタルトキ

四　犯罪其ノ他ノ行爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第十六條　第八條、第九條（第八號及第九號ヲ除ク）、第十條（第二號及第六號ヲ除ク）、第二十條及第二十一條ノ規定ハ準組合員ニ之ヲ準用ス

第三章　事業及其ノ執行

第十七條　本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一　運賃、運輸其ノ他組合員ノ事業ニ關スル統制

二　組合員ノ事業ノ整備確立

三　組合員ノ事業ニ關スル指導、調査及研究

四　組合員ノ事業ニ關スル檢査

五　組合員ノ事業ニ必要ナル物ノ購入、共同設備ノ設置其ノ他組合員ノ事業ニ關スル共同施設

六　組合員ノ事業ニ必要ナル資金ノ貸付

七　前各號ニ掲グルモノノ外本組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第十八條　本組合ハ組合員ノ事業ニ關スル統制規程ヲ定ム

前項ノ統制規程ハ理事長總會ニ諮リ之ヲ決ス

第十九條　本組合ハ組合員ノ事業ニ關スル統制事項ヲ審議スル爲統制委員〇名ヲ置ク

第二十條　理事長組合員ノ事業ノ統制ヲ確保スル爲必要アリト認ムルトキハ役員又ハ使用人ヲシテ組合員ノ業務若ハ財産ノ狀況又ハ帳簿、書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

理事長前項ノ規定ニ依リ役員又ハ使用人ヲシテ檢査シセムル場合ニ於テハ自動車交通事業法施行規則第百三十四條ノ二ノ規定ニ依ル檢査員證ヲ携帶セシムベシ

第二十一條　理事長組合員ノ事業ニ關スル調査ヲ爲ス必要アリト認ムルトキハ組合員ニ對シ自動車運送事業ニ關シ其ノ必要トスル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ資料ノ提出ヲ求メラレタル者ハ遲滯ナク之ヲ提出スベシ

第一項ノ規定ニ依リ資料ノ提出ヲ求メラレタル組合員ニシテ之ニ從ハザルトキハ理事長ハ前條ノ規定ニ準ジ之ガ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十二條　本組合ハ組合員ノ信用ヲ評定スル爲信用評定委員〇名ヲ置ク

第二十三條　本組合ノ施設ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限リ準組合員ヲシテ之ヲ利用セシムルコトヲ得

第二十四條　前各號ニ規定スルモノノ外事業ノ執行ニ關スル規程ハ理事會ニ諮リ理事長之ヲ定ム

第四章　役員及職員

第二十五條　本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

理事長　一人
理事　〇人
監事　〇人

理事長ハ豫メ其ノ事故アルトキ又ハ理事長缺ケタルトキニ於テ其ノ職務ヲ代理シ又ハ理事長ノ職務ヲ行フベキ理事ノ順位ヲ定ム

第二十六條　理事長ハ自動車運送事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ運輸通信大臣ノ認可ヲ受ケ地方長官之ヲ命ズ

理事長ハ他ノ職業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ監督官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條　理事ハ自動車運送事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長之ヲ命ズ

第二十八條　監事ハ總會ニ於テ之ヲ選任ス

前項ノ規定ニ依ル選任ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十九條　役員ニ任命又ハ選任セラレタル組合員又ハ組合員タル法人ノ業務ヲ執行スル役員ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ辭スルヨトヲ得ズ

第三十條　役員ノ任期ハ左ノ通トス

理事長　三年
理事　三年
監事　二年

役員ハ任期滿了後ト雖其ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ其ノ決定スル迄ハ仍從前ノ職務ヲフ行コトヲ要ス

第三十一條　理事長ハ組合ヲ代表シ組合事務ヲ總理ス

第三十二條　理事ハ理事長ヲ輔佐シ組合事務ヲ分掌シ豫メ理事長ノ定ムル順位ニ依リ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

第三十三條　監事ノ職務左ノ如シ

一　組合ノ業務及財産ノ狀況ヲ監査スルコト
二　組合ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ監督官廳ニ報告スルコト

第三十四條　本組合ニ顧問若干人ヲ置クコトヲ得

顧問ハ理事會ニ於テ推薦シ理事長之ヲ委囑ス

第三十五條　顧問ハ理事長ノ諮問ニ應ジ且理事長ニ意見ヲ述ブルコトヲ得

第三十六條　統制委員ハ左ニ掲グル者トス

一　理事長、理事及支部長
二　自動車運送事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ理事長ニ於テ委囑シタル者

第三十七條　信用評定委員ハ組合員中ヨリ理事長之ヲ命ズ

第三十八條　第三十六條第二號ノ統制委員及信用評定委員ノ任期ハ一年トス

前項ノ委員本組合ニ對シ不正ノ行爲アリ又ハ不適任ト認メラルルトキハ理事會ニ諮リ理事長之ヲ解囑スルコトヲ得

第三十九條　支部ニハ支部長ヲ置キ出張所ニハ出張所長ヲ置ク

支部長及出張所長ハ理事又ハ職員ノ中ヨリ理事會ニ諮リ理事長之ヲ命ズ

支部長ハ理事長及理事ノ、出張所長ハ理事長、理事及所屬ノ支部長ノ指揮ヲ受ケ組合事務ヲ分掌シ所屬ノ職員ヲ指揮監督ス

第四十條　非常勤ノ理事、監事、顧問及各種委員ハ名譽職トス但シ理事長ハ總會ニ諮リ報酬、手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

第四十一條　本組合ニ左ノ有給職員ヲ置ク

參事　若干人
主事　若干人
書記　若干人
雇　若干人
傭　若干人

參事及主事ハ理事會ニ諮リ理事長之ヲ任免シ書記、雇及傭ハ理事長之ヲ任免ス

第四十二條　本組合ノ事務分掌ニ關スル事項ニ付テハ理事會ニ諮リ理事長之ヲ定ム

第五章　會議

第四十三條　會議ヲ分チテ總會、理事會及委員會トス

第四十四條　總會ハ理事長、理事及組合員ヲ以テ之ヲ組織シ理事長其ノ議長ト爲ル

總會ハ自動車運送事業組合令ニ別段ノ定アル場合ノ外理事長之ヲ招集ス

第四十五條　總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年四月ニ之ヲ開ク

理事長必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第四十六條　理事長ノ總會ニ諮ルベキ事項左ノ如シ

一　定款ノ變更
二　統制規程ノ制定及變更
三　收支豫算竝ニ賦課金ノ額及徴收方法
四　當該事業年度ニ於ケル組合ノ資金ノ借入限度
五　支部ノ設置
六　準組合員ノ加入ノ許可及除名
七　名譽職タル役員、顧問及各種委員ニ對スル報酬、手當又ハ賞與ノ支給
八　合併契約ノ内容タルベキ事項
九　前各號ニ掲グルモノノ外理事長ニ於テ必要ト認ムル事項

第四十七條　總會ノ招集ハ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ記載シタル書面ヲ以テ組合員ニ通知シテ之ヲ爲ス但シ緊急ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十八條　本組合ノ總會ニ於ケル議決及監事ノ選任ハ出席シタル組合員ノ過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス但シ議長必要アリト認ムルトキハ各事業種別ニ其ノ意思ヲ決定シタル後各事業○對○ノ割合ヲ以テ之ヲ爲スモノトスルコトヲ得此ノ場合ニ於テ可否同數ノトキハ理事長ノ決スル所ニ依ル

第四十九條　組合員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲシテ自己ニ代リテ總會ニ出席セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ本人ノ出席ト看做ス

一　組合員

二　組合員タル法人ノ業務ヲ執行スル役員

三　代理セラルベキ組合員ノ業務ニ從事スル職員

前項ノ規定ニ依リ出席スル者ハ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ本組合ニ提出スベシ

第五十條　總會ノ議事錄ニハ少クトモ左ノ事項ヲ記載シ議長竝ニ出席シタル理事一名以上及監事之ニ署名スルコトヲ要ス

一　總會開會ノ日時及場所

二　組合員數及組合員出席者數

三　議案竝ニ議事ノ經過ノ要領及其ノ結果

第五十一條　理事會ハ理事長及理事ヲ以テ之ヲ組織シ理事長其ノ議長ト爲ル

理事會ハ理事長之ヲ招集ス

第五十二條　理事長ノ理事會ニ諮ルベキ事項左ノ如シ

一　總會ニ諮ルベキ事項

二　出張所ノ設置

三　支部及出張所ノ地區ノ決定

四　事業ノ執行及事務分掌ニ關スル規程ノ制定及變更

五　各種委員ノ解任

六　支部長、參事及主事ノ任命及解任

七　組合員ニ對スル資金ノ貸付限度

八　準備金ノ利用保管ノ方法

九　前各號ニ掲グルモノノ外理事長ニ於テ必要ト認ムル事項

理事會ニ諮ルベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ理事長ハ書面ニ依リ理事ノ意見ヲ求メ理事會ニ對スル諮問ニ代フルコトヲ得

第五十條ノ規定ハ理事會ノ議事錄ニ之ヲ準用ス

第五十三條　統制委員會ハ第三十六條ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ組織シ理事長其ノ委員長ト爲ル

統制委員會ハ組合ノ統制事業ニ關シ理事長ノ諮問ニ答申シ且理事長ニ對シ意見ヲ具申ス

統制委員會ハ理事長之ヲ招集ス

第五十四條　信用評定委員會ハ理事長ノ命ヲ受ケ組合員ノ信用ヲ評定ス

第六章　賦課金及過怠金

第五十五條　組合員ハ賦課金徴收規程ノ定ムル所ニ依リ本組合ニ對シテ賦課金ヲ納付スルコトヲ要ス

本組合ハ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ組合員ノ全部又ハ一部ニ對シ前項ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第五十六條　組合員賦課金ヲ期日迄ニ納付セザルトキハ期日後一日ニ付其ノ納付スベキ金額ニ付日歩四錢ニ相當スル金額ヲ過怠金トシテ徴收ス

第五十七條　組合員統制規程、統制規程ノ施行規則又ハ此等ノ規程ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ本組合ノ統制ヲ紊リタルトキハ〇〇圓以下ノ過怠金ヲ課ス

前項ノ規定ニ依ル過怠金ノ賦課ニ關スル決定ハ統制委員會ニ諮リテ理事長之ヲ決シ其ノ事實ヲ明記シタル處分書ヲ作成シテ違反者ニ之ヲ送達ス

前項ノ處分ニ不服アル者ハ處分書ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ二週間以内ニ理事長ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ統制委員會ニ諮リテ理事長之ヲ裁決ス此ノ裁決ニ對シテハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第五十八條　第五十條ノ過怠金ノ徵收ノ通知及前條ノ處分書ノ送達ヲ受ケタル者ハ通知書又ハ處分書ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ二週間以内ニ過怠金ヲ納スベシ但シ前條ノ規定ニ依リ異議ノ申立ヲ爲シタル者ハ前條第四項ノ裁決ノ送達アリタル日ヨリ一週間以内ニ納付スベシ

第五十九條　第五十五條ノ賦課金又ハ第五十六條若ハ第五十七條ノ過怠金ヲ滯納スル者アルトキハ本組合ハ市町村（町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ町村ニ準ズベキモノ以下之ニ同ジ）ニ對シ市町村税ノ例ニ依リ其ノ徵收ヲ爲スベキコトヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スルモノトス

第七　會計

第六十條　本組合ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第六十一條　理事長ハ毎事業年度ノ終ニ於テ左ニ掲グル書類ヲ調製シ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フベシ

一　財産目錄
二　貸借對照表
三　收支決算書
四　事業報告書

組合員及本組合ノ債權者ハ前項ニ掲グル書類ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得

第六十二條　監事前條第一項ニ掲グル書類ヲ受理シタルトキハ遲滯ナク之ヲ監査シ意見書ヲ附シテ之ヲ理事長ニ送付スベシ

理事長ハ前條第一項ニ掲グル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出スベシ

第六十三條　本組合ノ出費ハ賦課金、使用料、手數料、政府補助金、利子及過怠金其ノ他ノ雜收入ヲ以テ之ニ充ツ

第八章　定款ノ變更及解散

第六十四條　本定款ノ變更ハ理事長總會ニ諮リテ之ヲ爲ス

前項ノ規定ニ依ル定款ノ變更ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ効力ヲ生ゼズ

第六十五條　本組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一　合併
二　解散命令

第六十六條　本組合解散ノ場合ニ於ケル清算人ハ裁判所ノ選任スル所ニ依ル

第九章　雜則

第六十七條　理事長ハ定款及總會ノ議事錄ヲ各事務所ニ、組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備置クベシ

第六十一條第二項ノ規定ハ之ヲ前項ノ議事錄及組合員名簿ニ準用ス

第六十八條　本組合ニ納付スベキ賦課金、過怠金、使用料及手數料ハ總テ金錢ヲ以テ納付スルコトヲ要ス

第六十九條　組合員ハ本組合ニ納付スベキ賦課金、過怠金、使用料及手數料ニ付相殺ヲ以テ本組合ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十章　附則

第七十條　創立總會ニ於テ選任セラレタル監事ノ任期ハ第三年度ノ四月ニ開催セラルベキ通常總會迄トス

第七十一條　本組合ノ創立費ハ〇〇〇圓以下トシ本組合ノ負擔トス

第七十二條　本組合ニ於テ使用スル印章ノ雛形左ノ如シ

組合印　　理事長印

徑〇糎　　方〇糎

「註」

一　本定款例ハ自動車運送事業組合ノ機構及事業ノ全國的統一ヲ期シ組合統制ノ滲透徹底ヲ圖リ併而定款制定ノ便ニ供セントセルモノナルモ基本事項ニ關スルモノヲ除キ地方事情等ヲ斟酌スルヲ適當トスルモノニ在リテハ適宜別段ノ規定ヲ設クルヲ得ルモノトス

二　本定款例ハ二種以上ノ業種ヲ以テ設立セラルベキ復合組合ニ其ノ例ヲ採レルヲ以テ貨物組合等單純組合ニ於テハ第五條ノ組合員ノ資格及第四十八條ノ總會ニ於ケル特別決議ニ關シテハ當然別段ノ考慮ヲ要セザルコト

三　組合ノ事業ハ其ノ義務ニ屬スルモノノ外ハ具體的計畫ヲ有セザル限リ定款中之ガ記載ヲ爲サザルコト（第十七條）

自動車運送事業組合統制規程例

第一條　本組合ノ事業統制ハ法令及定款ノ規定並ニ監督官廳ノ命令ニ依ルノ外本規程ノ定ムル所ニ依ル

第二條　理事長事業ノ統制運營上必要アリト認ムルトキハ組合員ニ對シ運送ノ共同引受及割當、配車割當、運賃及運輸ニ關スル料金ノ統制其ノ他自動車ノ輸送統制ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三條　理事長自動車輸送力ノ確保ヲ期スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ組合員ニ對シ他ノ事業者ニ對シ燃料、油脂、タイヤ、チューブ其ノ他自動車ノ運行ニ必要ナル物資ノ融通ヲ命ズルコトヲ得

第四條　理事長事業ノ統制運營上必要アリト認ムルトキハ組合員ニ對シ事業ニ關スル技術ノ研究、公開又ハ利用ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

理事長前項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ統制委員會ニ諮リ當該組合員ニ對シ補償金、補助金又ハ奬勵金ヲ交付スルコトヲ得

第五條　組合員ハ第三條及前條ノ事項ニ關シ協議ヲ爲スコト能ハズ又ハ協議調ハザル場合ニ於テハ理事長ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

第六條　理事長事業ノ統制運營上特ニ必要アリト認ムルトキハ組合員ニ對シ其ノ事業及設備ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第七條　理事長事業ノ統制運營上必要アリト認ムルトキハ組合員ニ對シ從事員ノ配置又ハ其ノ能率ノ增進ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第八條　組合員ハ理事長ノ指揮又ハ裁定ニ從フベシ此ノ場合ニ於テ監督官廳ノ許可又ハ認可ヲ要スルトキハ遲滯ナク之ガ申請ヲ爲スコトヲ要ス

第九號　組合員ハ自動車交通事業法施行規則第百三十二條第一項ノ規定ニ依リ營業報告書及統計報告書又ハ事業概況報告書ヲ提出スルトキハ同時ニ其ノ副本ヲ本組合ニ提出スベシ

前項ノ外組合員ハ別表ノ樣式ニ依リ定期ニ事業ニ關スル資料ヲ提出スベシ

第十條　組合員ハ本規程ニ依ル理事長ノ命令ヲ受ケタル事項ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク之ヲ本組合ニ屆出ヅベシ

第十一條　第二條乃至第八條、第九條第二項及前條ノ規定ハ準組合員ニ之ヲ準用ス

第十二條　本規程ニ規定スルモノノ外本組合ノ統制事業ノ實施ニ關シ必要ナル事項ハ理事會ニ諮リ理事長之ヲ定ム

「註」

一　輸送統制ノ實施方法ノ細目ニ付テハ現行ノ統制規程ヲ斟酌ノ上統制規程ノ施行規則トシテ定ムルコトトシ其ノ統制樣式ニ付テハ聯合會ノ承認ヲ受クルコト

二　第九條第二項ノ規定ニ依ル提出書ノ樣式ニ付テハ追而聯合會ヲシテ之ガ統一ヲ圖ラシムルモノトス

三　貨物又ハ旅客ノ單純組合ニ在リテハ第九條第一項中「營業報告書及統計報告書」ニ關スル字句ヲ削除スルコト

賦課金徵收規程例

第一條　本組合ノ組合員ニ對スル賦課金ノ徵收ニ關シテハ定款ノ定ムル所ニ依ルノ外本規程ノ定ムル所ニ依ルモノトス

第二條　組合員ハ毎事業年度左ノ各號ニ依リ平等割賦課金及車輛割賦課金ヲ本組合ニ納付スベシ

一　平等割　年〇〇圓ノ割

二　車輛割

(1)　貨物自動車運送事業者ニ在リテハ實働車（認可車）一輛ニ付年〇〇圓ノ割

(2)　旅客自動車運輸事業者ニ在リテハ實働車（認可車）一輛ニ付年〇〇圓ノ割

(3)　旅客自動車運送事業者ニ在リテハ實働車（認可車）一輛ニ付年〇〇圓ノ割

第三條　前條ノ賦課金ハ毎事業年度開始ノ日ニ於ケル實働車輛數（認可車輛數）ニ依リ理事長之ヲ決シ賦課金徵收通知書ヲ作成シテ之ガ徵收ヲ行フモノトス

前項ノ規定ニ依ル實働車輛數（認可車輛數）ノ決定ニ不服アル組合員ハ前項ノ賦課金徵收通知書受領ノ日ヨリ二週間内ニ理事長ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

定款第五十七條第四項ノ規定ハ前項ノ異議ノ申立ニ付之ヲ準用ス

第四條　賦課金ノ納付期日ハ賦課金徵收通知書受領ノ日ヨリ二週間トス

第五條　組合員定款第十一條第一項ノ規定ニ依リ事業年度ノ中間ニ於テ脫退シタル場合ニ於テ既納ノ賦課金ニ付未經過部分存スルトキハ

月割ニ依リ之ヲ返納ス

第六條　第一條乃至前條ノ規定ハ之ヲ準組合員ニ準用ス但シ第二條第二號中貨物自動車運送事業者、旅客自動車運輸事業者又ハ旅客自動車運送事業者トアルハ夫々貨物自動車ヲ使用スル者、大型旅客自動車（バス）ヲ使用スル者又ハ小型旅客自動車（タクシー）ヲ使用スル者トシ準組合員ノ本組合ニ納付スベキ賦課金ハ第二條ニ定ムル金額ノ半額トス

第二款　通　牒

改正自動車交通事業法施行要領

（昭和一八、九、三―一四改正自交法説明會ニ於ケル監理局指示）

第一節　自動車交通事業法關係

本年三月十二日法律第五十五號自動車交通事業法中改正法律ハ去月十五日ヲ以テ實施セラレタル處之ガ施行ニ當リテハ去月十三日鐵道省訓令第一號ニ依ルノ外左記ノ諸點ニ關シ注意スルコト

一、貨物自動車運送事業ニ關スル件

(1)　事業種別（施四九(1)）

事業種別ハ從來區間事業及區域事業ニ區別セラレタル處今般運送事情ニ卽シ之ヲ普通事業（一般ノ需用ニ應ズルモノ）及特定事業（特定人ノ需要ニ應ズルモノ）ニ改メ爾今區間事業ハ普通事業ノ一形態トシテ區域事業ト兼營セシムルコトトシ之ガ獨立經營ハ認メザル方針ヲ採レルコト

(2)　主タル事業區域（施四九(2)）

（イ）　區域事業ノ主タル事業區域ハ原則トシテ府縣ノ區域ヲ單位トスルモ必要ニ依リテハ數府縣ニ亘ルガ如キ事業區域ヲ認メ得ルコ

ト但シ右ハ他迄事業經營上必要ノ最低限度ニ依ラムルコトトシ案ニ之ガ膨脹ヲ來サザル樣指導スルコト

(ロ) 主タル事業區域ガ數府縣ニ亘ル場合ト雖モ當該府縣ガ隣接スル限リ之ヲ一免許トシ各獨立セル地域ニ於テ經營スルモノニ在リテハ之ヲ別免許トシテ處理スル方針ナルコト

(3) 特定事業（施四九(1)(2)）

特定事業ハ特定少數ノ荷主ノ需用ニ應ズルモノニシテ常時計畫輸送ヲ樹ツルノ必要アリト被認ルモノニ限ルコトトシ荷主ガ特定スルモ多數ニ亘ルガ如キハ之ヲ普通事業トシテ處理スル方針ナルコト

(4) 車輛數ノ配置概要（施四九(4)、六九ノ三、職權委任三Ⅰ(1)）

車輛數ノ配置概要ハ新ニ事業計畫トシテ地方長官ノ認可ヲ要スルコトトナリタル處右ハ特定地域ニ對スル車輛ノ集注偏在ヲ防止セントスルモノナルヲ以テ之ガ認可ニ當リテハ當該地域ノ運送需給ヲ勘案シ車輛ノ適正分布ヲ期スルコト但シ貨物ノ移動事情ヲ考慮シ臨時ノ必要ニ依リ車輛數ノ配置概要ヲ變更スル場合ハ一月以内ニ限リ認可ヲ要セズ屆出ヲ以テ足ルコトトセルヲ以テ之ガ取扱ニ關シテハ右ノ趣旨ヲ體シ其ノ適正ヲ期スルコト

(5) 小運送業者タル貨物自動車運送事業者（施四九(9)、六九ノ二、五四(4)、五三Ⅱ、六八Ⅰ、六九Ⅰ、一三五Ⅱ、一三七Ⅲ、職權委任一三Ⅱ）

(イ) 小運送業ト貨物自動車運送事業トノ調整ヲ期シ貨物自動車ノ綜合輸送力ノ最高度發揮ヲ圖ル爲小運送業經營ノ爲自動車ヲ使用スル場合ニ於テハ別ニ貨物自動車運送事業ノ免許ヲ要スルコトトシ小運送業法關係ヨリ自動車ニ關スル規定ヲ削除シタルヲ以テ地方長官ハ小運送、地場運送ヲ通ジ輸送ノ圓滑適正ヲ圖ル樣努力スルコト

(ロ) 小運送業ノ爲ニ使用スル「トラック」ノ運賃料金ハ其ノ事業目的ヨリシテ小運送業ノ運賃料金ニ依ラシムルコトトシ之ヲ變更シタルトキハ其ノ事實ヲ屆出シムルコト（施四九(9)、六九ノ二、五四(4)）

(ハ) 小運送業者タル貨物自動車運送事業者ニ在リテハ小運送業ノ爲ノ取扱驛ハ貨物自動車運送事業ノ主タル事業區域ト密接ナル關係ヲ有スルヲ以テ主タル事業區域内ニ於ケル右取扱驛ノ新設、變更ハ事業計畫トシテ處理スルコトトシ之ヲ變更シタルトキハ其ノ事實ヲ屆出シムルコト（施四九(9)、五四(4)）

(ニ) 前掲(ハ)ノ事業者ニ於テ小運送業ヲ讓渡シ廢止シ又ハ休止シタルトキハ前掲(ロ)又ハ(ハ)ニ關シ重大ナル變更ヲ生ズルヲ以テ右ノ事實ヲ生ジタルトキハ之ヲ屆出シムルコト（施五四(4)）

(ホ) 前掲(ハ)ノ事業者ニ對シ地方長官ニ於テ改善命令若ハ運送命令ヲ發セントスルトキ（施六八Ⅰ、法一六ノ六Ⅰ、施六九Ⅰ、法一六ノ六Ⅲ）又ハ事業ノ休止若ハ停止（樺太ニ在リテハ右ノ外主タル事業區域ノ變更、事業區間ノ新設變更、事業ノ讓渡、會社ノ合併ニ因ル事業ノ承繼、事業ノ管理ノ受委託等ノ場合ヲ含ム）ノ處分ヲ爲サントスルトキ（職權委任一三Ⅱ）ハ關係鐵道局長ト充分商議ヲ盡スコト

(ヘ) 尙前掲(ハ)ノ事業者（小運送業ヲ營マントスル者ヲ含ム）ニ關シ貨物自動車運送事業經營ノ免許申請書其ノ他ノ申請書ヲ鐵道大臣ニ進達セントスルトキハ關係鐵道局長ト商議シ其ノ意見書ヲ添附スルコト（施一三五Ⅱ）

(6) 運送命令（法一六ノ六Ⅲ、一六ノ七、施六九、施行令九ノ三、事業者補助規則三）

(イ) 現下ノ輸送情況ニ鑑ミ輸送ノ隘路打開ニ關シテハ事業者ヲ督勵シ或ハ組合ノ協力ヲ求ムル等指導輸送ヲ本旨トスベキモノニシテ運送命令ハ命令ニ依ルニ非ザレバ所要物資ノ輸送ヲ確保シ得ズト被認ル特段ノ場合ニ限リ發スベキモノニシテ案ニ發スベキモノニ非ザルモノナルコト

(ロ) 運送命令ヲ發スルニ當リテハ運送物品ヲ指定スルノ外運賃其ノ他運送條件ヲ決定指示スベキモノナルヲ以テ地方長官ニ於テ事業計畫ノ變更ヲ伴フガ如キ運送命令ヲ發セントスルニ當リテハ事前鐵道大臣ニ對シ充分連絡ヲ執リ其ノ承認ヲ受クルコト（法一六ノ六Ⅲ）

（ハ）地方長官ノ發スル運送命令ハ其ノ管轄區域内ニ於テ發著スル物品ノ運送ニシテ小運送業者ノ行フ小運送ニ該當セザルモノニ限ルコトトシ右ノ命令ヲ爲シタルトキハ自動車運送事業組合ヲシテ之ガ協力態勢ヲ執ラシムル爲地方長官ハ關係組合ニ對シ直ニ其ノ旨ヲ通知スルコト（施六九）

（ニ）尙運送命令ニ從事シタル爲益金ヲ減ジタル者アルトキハ之ニ對シ補助金ヲ交付スルコトトシタルモ右ハ全ク異常ノ場合ニ限ル方針ナルヲ以テ運送補助ハ鐵道大臣ノ命令ニ因ル場合ニ限ルコトトシ補助ノ必要アリト認ムルトキハ豫メ事件ヲ鐵道大臣ニ移管スルコト

二、自動車事業組合ニ關スル件

(1) 無出資組合（法一六ノ一六、一六ノ二三Ⅱ）

組合ニ於ケル從來ノ出資制度ヲ廢メ組合所用ノ費用ハ一切賦課金ヲ以テ賄ハシムルコトトシタルヲ以テ新組合ニ於テハ持分及配當等ノ觀念ヲ存セザルニ至リタルコト

(2) 事理長（法一六ノ一七Ⅲ、一六ノ一八Ⅰ、一六ノ一九、一六ノ二一、一六ノ二八、一六ノ二九）

（イ）組合ノ統制力ヲ强化スル爲組合ノ意思決定ハ理事長ノ責任ニ於テ之ヲ爲サシムル（法一六ノ二一）ト共ニ理事ノ任命權ヲ附與シテ組合機關ノ連繫ヲ强化シ（法一六ノ一八Ⅱ）又組合代表權ヲ一身ニ掌握セシメテ組合事務ノ迅速處理ヲ圖ル（法一六ノ一七Ⅲ）等理事長ノ權限强化ヲ圖リタルヲ以テ一面之ガ監督指導ニ付テハ特段ノ注意ヲ拂フコト（法一六ノ二八）

（ロ）理事長ノ地位ノ重要性ニ鑑ミ其ノ人選ニ付テハ特ニ愼重ヲ期スルコトトシ任命ヲ爲スニ當リテハ事前ニ鐵道大臣ノ認可ヲ受クルコト（法一六ノ一八Ⅰ）

（ハ）法律ガ理事長ノ兼職ヲ禁止シタルハ組合ノ重要事務增加ノ趨勢ニ對處セシメントスルト事務執行ノ公正ヲ期センガ爲ナルコト尙玆ニ兼職ト稱スルハ常勤職タル他ノ職務ト解スベキモノタルコト（法一六ノ一九）

(3) 總會（法一六ノ二一Ⅰ、組合令一〇、一一Ⅱ）

（イ）組合性格ノ改變ニ伴ヒ監事ノ選任ニ關スル場合ノ外總會ハ理事長ノ諮問機關トシテ組合ノ最高意思決定機關タル從來ノ機能ヲ停止シタルコト（法一六ノ二一Ⅰ）

（ロ）理事長ノ諮問ニ對スル總會ノ答申其ノ他總會意思ノ決定ニ付テハ議決ノ方法ニ依ルコト（組合令一〇）

（ハ）總會ノ議長ハ總會運營ノ圓滑ヲ期スル爲事故ノ存セザル限リ理事長ヲシテ之ニ當ラシムルコト

（ニ）總會ニ於ケル組合員ノ議決權行使ノ便宜ヲ考慮シ從來ニ比シ代理出席者ノ資格ヲ擴張シ組合員ノ職員ニ及ボシタルモ右ハ尙他ノ組合員ノ代理人トハナリ得ザルモノナルコト（組合令一一Ⅱ）

(4) 組合豫算及賦課金（法一六ノ二一、職權委任六）

組合豫算及賦課金ハ組合員ノ利害ニ影響スル所大ナルヲ以テ之ガ認可ニ當リテハ組合員ノ負擔ヲ考慮シ其ノ適正ヲ期スルト共ニ組合ノ使命ニ鑑ミ組合事業ノ重點的合理化ヲ圖リ事業遂行ノ萬全ヲ期スルコト

尙往々ニシテ機構ノ徒ラナル膨脹ヲ來シ豫算過大ノ結果ヲ招來セルモノアリタル處右ハ又組合補助トモ密接ナル關係ヲ有スルヲ以テ努メテ豫算膨脹ノ弊ヲ抑止スル樣指導スルコト

(5) 組合ノ任意事業ノ認可（法一六ノ一二Ⅱ(3)Ⅲ、職權委任六）

組合ノ任意事業ノ實施ヲ認可ニカカラシメタルハ可及的ニ異種ノ事業ヲ抑制シ組合本來ノ事業遂行ニ主力ヲ注ガシムル法意ナルヲ以テ特ニ法律ニ列擧セル事業以外ノ事業ノ實施ハ特段ノ事由存セザル限リ之ガ認可ヲ爲サザルベキコト

(6) 鐵道局長ノ組合ニ對スル輸送統制命令（職權委任一一、一四Ⅱ）

物資輸送ノ圓滑ナル遂行ヲ目途トシ大運送、小運送一體化ノ實ヲ擧グル爲組合ノ行フ輸送統制ニ關シテハ鐵道局長ニ於テモ必要ナル命令ヲ發シ得ルコトトシタルコト尙此場合ニ於テハ鐵道局長ハ關係地方長官ト充分商議ヲ盡スコト

(7) 組合ノ設立、新舊組合財産ノ引繼及輸送統制ニ關シテハ追テ別段ノ指示ヲ致スベキコト

三、共通事項

(1) 施行規則中公共團體ノ議會ノ決議書ニ關スル規定ヲ削除シタルハ從來公共團體ニ於テ其ノ費用ヲ以テ支辨スベキ事業ノ取得其ノ他ニ關シ議會ノ決議ヲ要シタル處今般府縣制（四一條、六八條）、市制（四二條）及町村制（四〇條）等ノ改正ヲ看ルニ至リ其ノ必要ナキニ至リタル爲ナルコト

(2) 施行規則中會社ノ株主總會若ハ社員總會ノ決議書又ハ無限責任社員若ハ總社員ノ同意書ニ關スル規定ヲ緩和シタルハ手續ノ簡易化ヲ圖リ商法及有限會社法ト同一歩調ヲ採リタルニ依ルモノナルコト

(3) 施行規則中屆書ノ提出先ニ關スル行政官廳名ヲ整理シタルハ第百三十八條ノ二ヲ以テ其ノ提出先ヲ明ニシタル爲ニシテ同條中旅客自動車運送事業ニ關シ別段ノ規定ヲ設ケザルハ同事業ニ關スル主管官廳ガ單一ニシテ改メテ説明ヲ要セザル爲ニ依ル

(4) 自動車交通事業ニ關スル書類ニシテ主務大臣ノ處分ヲ要スルモノヲ進達セントスルトキハ施行規則中各本條ノ規定ニ依リ參考トナルベキ貴見ヲ附スルコト

四、經過規定

(1) 貨物自動車運送事業（施附二、三、職權委任附Ⅱ）

（イ） 貨物自動車運送事業ニ於ケル事業計畫變更セラレ新規定ニ依ル事業計畫ヲ必要トスルニ至リタルヲ以テ事業者ニ對シ來ル十一月十四日迄ニ從前ノ事業計畫ヲ添附シ施行規則第四十九條ノ事業計畫ヲ鐵道大臣ニ提出スル樣之ガ周知方ニ關シ徹底ヲ期スルコト（施附二）

（ロ） 改正法施行前ニ於テ受附ケタル申請書ニ付テハ便宜上職權ノ移動ニ拘ラズ從前ノ權限官廳ニ於テ從前ノ規定ニ依リ之ヲ處理スルコトヲ得ルコトトセラレタルヲ以テ斯ル事業者ニ對シテモ亦前揭（イ）ニ準ジ遲滯ナク鐵道大臣ニ對シ屆出ヲ爲サシムルコト尤モ此ノ場合ニ於ケル屆出ト前揭（イ）ニ於ケル屆出ト併合シテ之ヲ爲シ得ルトキハ便宜ノ方法ニ依ラシムルコトヲ得ルコト（施附三、職權委任附Ⅱ）

右ハ全ク便宜ノ措置ナルヲ以テ右ニ依ル處理期間ハ之ヲ十月限トシ當該期間内ニ於テ處理困難ナルモノハ可及的速ニ之ヲ申請者ニ返附スルコト

(2) 小運送業ノ爲ニ貨物自動車ヲ使用中ノ小運送業者（施附四、六）

（イ） 改正法施行ノ際現ニ小運送業ノ爲貨物自動車ヲ使用中ノ小運送業者ハ爾今新法ニ依ル貨物自動車運送事業者ト看做サレタルコト（施附四Ⅰ）

（ロ） 右ノ事業者ニ對スル新事業計畫ノ屆出及經過的便宜處分ニ付テハ前揭(1)(イ)及(ロ)ト同樣ノ取扱ヲ受ケタルコト

(3) 自動車運送事業組合（法附四、組合令附二、施附七）

改正法施行ノ際現ニ存スル組合ハ從前ノ規定ニ依リ處理セラルルモ組合財産ノ引繼其ノ他手續ノ圓滑ナル進捗ヲ期シ當該組合ノ清算人ハ地區ヲ同ジクスル新組合ノ理事長ヲシテ之ニ當ラシムルモノトシタルコト

自動車交通事業法中改正法律施行ニ關スル件

（昭和一六、三、二二、監陸第五〇九號各地方長官宛監督局長、國土局長、警保局長依命通牒）

今般自動車交通事業法中改正法律實施セラレ同法施行ニ關シ客月一日鐵道省訓令第一號發セラレ候處尙左記事項留意相成度

追テ本法改正法律實施前ニ於ケル同法施行ニ關スル通牒中昭和八年十月三日監雜第六九八號（施行ニ關スル件）、昭和八年十一月二十二日監雜第八二八號ノ一（登錄ニ關スル件）、昭和九年四月十二日監陸第二二三〇號（業態整理ノ件）、昭和十年十月八日監陸第一〇八通牒

六六號（大型事業取扱方ノ件）ハ自然消滅ノ儀ト承知相成度

記

一、旅客自動車運輸事業ニ關スル件

（一）路線變更ニ關シテハ從來事業計畫ノ變更トシテ處理シタルモ今後新設セラルル路線ニ付テハ凡テ事業經營ノ免許ヲ要スルコトトナリタルヲ以テ路線變更ノ取扱ニ付テハ新設セラルル路線ノ事業經營ノ免許後運輸開始認可ニ當リ一部事業ノ廢止許可ヲ同時處分スルコト尙本法第三十五條ノ規定ニ依ル職權委任ニ關スル省令第二條第一號ハ國道、指定府縣道以外ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路ノ新設改築アリタル場合ニ於テ舊道部分ニ依ル事業ノ一部廢止ニ代ル新道部分ニ依ル事業經營ノ免許ノ場合ニ限リ委任スルモノナルヲ以テ右以外ノ場合ニ於ケル路線變更ニ付テハ當該事業經營ノ免許申請書ヲ鐵道省ニ提出スルト同時ニ其ノ副本ヲ內務省ニ提出スベキモノナルコト

（二）事業計畫中車輛ノ車體ノ變更ニ關シテハ旅客自動車運輸事業設備規程ニ適合セザル場合ヲ除キ本法施行規則第九條ニ依リ屆出ヲ以テ足ルコトトナリタルガ車輛幅ニ變更ヲ來シ昭和十一年一月十四日內務省發土第二號土木局長、警保局長依命通牒ニ依ル道路規格ニ適合セザルニ至ル場合ハ之ヲ含マザルモノナルヲ以テ取扱上留意スルコト

（三）旅客自動車運輸事業設備規程第三條ノ規定ニ依ル車輛ノ稱呼記號中數字ハ旅客定員ヲ表シ居ルモ車室內ニ荷物積載設備ヲ設クル場合ハ旅客定員ヲ示サザルコトアルヲ以テ取扱上留意スルコト

（四）直通運轉ニ關スル事業計畫變更ニ付テハ已ムヲ得ザル特別ノ事情アル場合ニ限リ便宜之ヲ認ムル方針ナルヲ以テ篤ト留意スルコト

（五）事業ノ管理ヲ委託シタル場合ハ委託者ノ名義ヲ用ヒ且委託者ノ損益計算ニ於テ當該事業ヲ管理スルモノト解釋スルコト

（六）會社解散ノ認可申請ニ當リテハ事業ノ廢止申請ヲ同時ニ爲サシムル如ク取扱フコト

二、旅客自動車運送事業及特定旅客自動車運送業ニ關スル件

（一）旅客自動車運送事業ニ於ケル事業種別ノ變更ハ事業計畫ノ變更トナルモ已ムヲ得ザル場合ノ外事業種別ノ變更ハ之ヲ認メザル方針トスルコト

（二）旅客自動車運送事業經營ノ新規免許ハ原則トシテ之ヲ爲サザルコトトシ事業ノ統制方針ニ反セズ且交通需給ノ關係ヨリ公益上眞ニ必要已ムヲ得ザル場合ニ限リ詮議ヲ爲スコト

（三）特定旅客自動車運送業ニ關シテハ無償ノ場合ニ於テモ許可ヲ要スルコトトナリタルガ有償無償ヲ問ハズ之ガ申請ニ對シテハ其ノ必要ノ有無及他ノ旅客自動車運輸事業又ハ旅客自動車運送事業ニ及ボス影響ノ有無等ヲ嚴重審査ノ上愼重ニ取扱フコト

（四）從前ノ規定ニ依リ免許ヲ要セズシテ經營シタル自己ノ專用ニ供スルモノニシテ特定ノ學校、工場等ガ無償ニテ其ノ學生、生徒、職工其ノ他ノ特定人ヲ運送スルモノ（所謂無償特定事業）ハ特定旅客自動車運送業規則ニ依リ許可ヲ要スルコトトナリタルヲ以テ同規則附則ニ基キ關係者ヲシテ必要ナル手續ヲトラシムルコト

（五）右ノ外本事業ノ取扱方ニ關シテハ地方的交通事情ニ依リ已ムヲ得ザル場合ノ外道府縣間ノ取扱方ヲ異ニスルガ如キコトヲ避クルタメ事業ノ免許、許可、認可等ノ方針竝ニ取扱方ニ關シ重要ナル事項ヲ定メ又ハ指示セントスルトキハ豫メ當省ニ打合又ハ報告スルコト

三、貨物自動車運送事業ニ關スル件

（一）事業ノ新規免許ハ原則トシテ之ヲ爲サザルコトトシ事業ノ統制方針ニ反セズ且運送需給ノ關係ヨリ公益上眞ニ必要已ムヲ得ザル場合ニ限リ詮議ヲ爲スコト

（二）法人格ヲ有セザル組合ハ事業ノ主體タラシメザル方針ヲ採ルコト

（三）區間貨物自動車運送事業ト其ノ本據地ヲ含ム府縣ノ區域ヲ主タル事業區域トスル區域貨物自動車運送事業トハ一免許事業トシテ

取扱フコト

(四) 區間貨物自動車運送事業者ガ其ノ營業所ニ於テ運送品ノ集貨配達ノミニ使用スル車輛ハ之ヲ其ノ區間貨物自動車運送事業ニ屬スルモノトシテ處理スルコト

(五) 靈柩自動車ヲ以テ爲ス事業ハ區域貨物自動車運送事業トシテ取扱フコト

(六) 本法施行規則第五十條第二項ノ規定ニ依リ區間貨物自動車運送事業經營免許ノ申請書類ノ副本ヲ内務大臣ニ提出スル場合ニ於テハ車輛運行經路中主トシテ使用スル道路ニ付昭和十一年一月二十二日内務省發第一四號土木局長通牒ノ樣式ニ依ル道路現況調書（道路ヲ示ス略圖ヲ含ム）ヲ添附スルコト

(七) 本法第十六條ノ二ノ「一般ノ需用ニ應ジ」ハ廣義ニ之ヲ解釋シ或ル期間トシテ特定ノ荷主ノ物品ヲ運送シ又ハ特殊ノ物品ニ限リ運送スル場合ノ如キモ之ヲ一般ノ需用ニ應ズルモノトスルコト

(八) 區間貨物自動車運送事業ハ常時事業區間ヲ定メ二口以上ノ物品ヲ同一車輛ニ依リ混載輸送ヲ爲スコトヲ目的トスル事業ト解スベキコト此ノ場合一口ノ物品トハ發荷主、著荷主及運送條件ヲ等シクシ同時ニ託送セラルル一車未滿ノ物品ト解スベキコト

(九) 區域貨物自動車運送事業ハ貸切輸送ヲ爲スヲ原則トスルコト（例外ハ貨物自動車運送事業運輸設備會計規程第十條但書ノ場合ニ限ルモ停車場、市場、倉庫等ノ所在スル市町村外ニ在ル營業所、荷捌所等ヲ介シテ此等ノ場所ニ搬入又ハ搬出スルモノハ此ノ範圍ヲ逸脱スルモノト解スルコト）同一市町村内ノミニ於ケル多數荷主ノ物品ノ混載輸送（集貨配達）ハ區域貨物自動車運送事業ニ於テモ行ヒ得ルコト

(十) 自動車交通事業法施行規則第四十九條第一項第二號ノ事業區間又ハ事業區域ノ記載方ハ左記ニ依ルコト

(1) 事業區間ノ兩端ノ地及主ナル營業地ハ最小行政區畫（市町村等）ノ名稱ヲ以テ表スコト

(2) 區域貨物自動車運送事業ノ主タル事業區域ハ府縣ノ範圍ヲ超エシメザルコト

(十一) 事業經營ノ免許ノ際指定スル事業開始ノ期間ハ六月ヲ標準トスルコト事業計畫變更ノ認可ヲ爲シ車輛ノ最大積載量別輛數ヲ增加スル場合モ亦右ニ準ジ適當ニ其ノ實施期間ヲ定ムルコト

(十二) 車輛ノ代替ハ之ニ依リ最大積載量別輛數ニ變更ヲ生ズルモノ又ハ新車ヲ以テスルモノハ事業計畫ノ變更トシテ認可ヲ要シ新車ニ依ラズ單ニ車名又ハ年式ノミニ變更アルモノハ事業計畫ノ變更トシテ屆出ヲ要スルモノナルモ被代替車ト同一ノ車名、年式及最大積載量ノ車輛ヲ以テスルモノハ認可モ屆出モ要セザルコト

(十三) 區間貨物自動車運送事業ノ事業計畫變更認可ヲ爲シ又ハ屆出アリタルトキハ其ノ要旨ヲ鐵道大臣及關係鐵道局長ニ報告スルコト

(十四) 貨物自動車運送事業種別ノ變更ハ事業計畫ノ變更トナルヲ以テ從來貸切事業ノ免許ヲ受ケ常時事業區間ヲ定メ小口貨物ノ混載輸送ヲ爲シ居リタル者ニシテ今後尙當該行爲ヲ繼續セントスルモノニ付テハ(1)區域貨物自動車運送事業ニ該當スル行爲ヲ爲サザルモノナルトキハ區間貨物自動車運送事業ノミノ事業ニ、(2)區域貨物自動車運送事業ニ該當スル行爲ヲモ爲スモノナルトキハ區間貨物自動車運送事業及區域貨物自動車運送事業ノ事業ニ夫々事業計畫中事業種別變更ノ認可申請手續ヲ爲サシムルコト右申請ハ來ル六月末日迄ニ爲サシメ當該申請ニ對スル拒否ノ處分ノ日迄ハ當該申請者ガ從來爲シタル程度ニ於テ區間貨物自動車運送事業ニ該當スル行爲ヲ爲スモ差支ナキコトトスルコト

右申請書ニ記載スベキ區間貨物自動車運送事業ノ運賃及運輸ニ關スル料金（集配料ハ凡ソ四粁以内ノ普通ノ集配ニ對シテハ之ヲ收受セザルモノトス從ツテ特別集配料ノミ必要ニ應ジ記載スルコト）ハ當該地方ニ於テ標準ト爲スベキ公定ノモノアル場合ハ其レヲ記載セシメ然ラザル場合ハ實施中ノモノヲ記載セシムルコト

(十五) 貨物自動車運送事業ノ讓渡ハ事業ノ統制ヲ考慮シ原則トシテ既存事業者以外ヘノ讓渡ハ許可セザルコト但シ個人ノ事業者ヲ會

社組織ニ改ムル場合及二以上ノ事業者ガ統合シテ新會社ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト

（十六）貨物自動車運送事業ノ讓渡ハ事業ノ廢止及免許トシテ之ヲ處理セズ本法施行規則第五十六條所定ノ手續ニ依ルコト

（十七）地方長官ニ於テ自動車交通事業法第十六條ノ八ニ於テ準用セル同法第十四條ノ規定ニ依リ區間貨物自動車運送事業ノ免許ヲ取消シ又ハ事業ヲ停止セシムル場合ハ豫メ鐵道大臣ニ稟伺スルコト

（十八）自動車交通事業法施行規則第六十八條第一項ノ事業者ガ一般ノ區域貨物自動車運送事業ヲ讓受ケタルトキハ其ノ事業全體ガ一般ノ區域貨物自動車運送事業トナルモノト解釋スルコト一般ノ區域貨物自動車運送事業者ガ同條同項ノ制限アル事業ヲ地方長官ノ認可ヲ受ケ讓受ケタル場合亦同ジキコト

（十九）貨物自動車運送事業運輸設備會計規程第四條、第五條、第六條、第七條、及第十二條ニ規定スル事項ハ既ニ他ノ法令ニ依リ實施中ノモノヲ除キ來ル六月末日迄ニ適合セシムル樣適當ニ指導スルコト

（二十）前記第一號（五、六）ニ關シテハ貨物自動車運送事業ニ付テモ同樣ニ取扱フコト區間貨物自動車運送事業ノ管理ノ委託及受託ニ關シ自動車交通事業法施行規則第六十二條第四項ノ規定ニ依ル認可ヲ爲シタルトキハ其ノ要旨ヲ鐵道大臣及關係鐵道局長ニ報告スルコト

四、自動車道事業ニ關スル件

（一）本法施行規則第百十四條ノ規定ニ依リ一般自動車道ノ供用開始ノ認可申請書ヲ受附ケタルトキハ工事ヲ檢査シ支障ナシト認メタル場合ニ限リ供用開始ヲ認可スルコト

（二）本法施行規則第百三十二條ノ規定ニ依リ毎營業年度ノ經過後二ケ月以內ニ事業概況報告書ノ提出ヲ要スルコトトナリタルヲ以テ遲延等ノコトナキ樣注意セシムルコト

臨時資金調整法施行ニ關シ陸運事業ノ取扱方ニ關スル件

（昭和一二、一〇、一三、監雜第七六〇號各地方長官宛）
（監督局長、土木局長依命通牒）

今般臨時資金調整法施行セラレ候ニ付テハ貴管下陸運業者（地方鐵道ニ對シテハ別途通牒ズミ）ニ對シ關係法規ヲ參照スルト共ニ左記事項ニ留意シ、遺憾ナキヲ期セシメラレ度依命及通牒候

追テ貴官限リ處分可相成事項ニ付テモ臨時資金調整法規ノ規定ニ依リ大藏、商工兩大臣ニ協議ヲ要スル事項ニ付テハ所轄主務大臣ヨリ協議スベキニ付主務大臣ニ稟伺ノ上處分相成樣致度

尙別紙「臨時資金調整法に就て」ノ趣旨周知方適宜御取計相成度

記

一、緊急已ムヲ得ザル場合ノ外、新設、擴張ノ工事ヲ爲サザルコト

二、不急ナル改良ノ工事又ハ施設ヲ爲サザルコト

三、軍需資材竝ニ輸入品又ハ輸入品ヲ原料トスル國內製品ノ消費ヲ極力節約スルコト

四、前記事項ニ背反セザル限リ徒ニ萎靡沈滯スルコトナク、サービスノ確保ニ意ヲ用フルコト

五、從來往々ニシテ車輛新製等ノ場合相當程度竣工シタル後、認可ノ申請ヲ爲スガ如キコトアリタルモ今後ハカカルコトナキ樣嚴重注意スルコト

別紙（第四五三頁「鐵道大臣ニ稟伺スルヲ要スル場合」參照）

臨時資金調整法施行ニ關スル自動車交通事業、小運送業及其ノ他ノ陸運事業取扱方ニ關スル件

（昭和一四、一二、一二、監雜第一五三四號各地方長官宛監督局長依命通牒）

標記ノ件ニ關シテハ既ニ昭和十二年十月十三日附監雜第七六〇號鐵道省監督局長、内務省土木局長連名依命通牒ヲ以テ指示相成候處尚本件ニ關シ疑義アル向モ有之哉ニ被認候條右取扱ニ際シテハ左記事項承知相成度爲念及通牒候尚曩ノ連名依命通牒同文寫及「鐵道大臣ニ稟伺スルヲ要スル場合」各一部御參考迄送附致候

記

一、事業ノ申請ニ對スル免許、許可、認可等ノ處分ニシテ貴官ニ對シ法令ニ基キ職權ヲ委任セラレタル事項ト雖臨時資金調整法ノ規定ニ該當スルモノハ直接鐵道大臣ヨリ同法上ノ主務大臣ニ協議スベキモノナルニ付同法施行細則ニ定ムル必要書類ニ準ズル説明書及添附書類各三通添附ノ上稟伺セラレ度キコト又貴官ニ於テ事業者ニ對シ改善命令ヲ發シ又ハ處分ニ際シ條件ヲ附シタル結果事業設備ノ新設、擴張若ハ改良等ニ關シ免許、許可、認可等ノ處分ヲ爲スベキトキモ右手續ヲ要スルコト

二、自動車交通事業法ニ基ク會社合併ニ因ル事業ノ承繼ノ許可ハ臨時資金調整法上特ニ會社合併ノ許可ト看做シ處理セラレ度キコト

三、事業者ガ兼業トシテ地方鐵道、軌道、自動車交通事業及小運送業竝ニ其ノ他ノ陸運事業以外ノ事業ヲ營ム場合ニ於テ其ノ兼業ニ付別ニ主務官廳アルトキハ之ニ關シテハ當該主務大臣ニ於テ協議手續ヲ爲スベキモノニシテ又別ニ主務官廳ナキ場合ニハ其ノ兼業ニ關シテハ事業者ヨリ直接臨時資金調整法ニ基ク申請爲ヲスベキモノナルニ付兼業ノ有無ニ付テハ充分調査ノ上處理相成度キコト

四、公共團體ハ國家ノ特別ノ監督ニ服スルモノナルニ依リ臨時資金調整法ノ適用ニ付除外セラレタルモ右團體ニ對スル處分ニ際シテハ猶曩ノ兩省連名通牒ノ趣旨ヲ充分斟酌處理相成度キコト

五、會社設立ニ際シ創立總會ニ於テ曩ニ提出セル定款ヲ變更シタルトキ又ハ事業ノ免許ヲ受ケタル日ヨリ六ケ月以内ニ創立總會ノ終結ヲ爲シ得ザルトキハ發起人ヲシテ創立總會後更メテ前手續ニ準ジ申請セシムルコト合併ニ因リ會社ヲ設立セントスル場合モ右ニ依リ處理セシムルコト

六、事業者事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲スニ當リ其ノ資金ノ調達ニ付前記第一號ノ法定手續ヲ了エタル後其ノ調達方法ヲ變更スルノ已ムナキニ至リタルトキハ直接臨時資金調整法上ノ主務大臣ノ處分ヲ受ケシメテ支障ナキコト

七、事業者事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲スニ當リ其ノ資金ノ調達方法ニ付自己資金（手持金及金融機關以外ヨリノ借入金）ト金融機關ヨリノ借入金トヲ併用スル場合ニ於テハ鐵道大臣ヨリ臨時資金調整法上ノ主務大臣ニ協議ノ際右金融機關ヨリノ借入金ニ關シテモ併合審議スベキニ付協議手續ニ必要ナル書類ノ他金融業者ニ提出スベキ書類ヲモ併セ添附セラレ度キコト

「鐵道大臣ニ稟伺スルヲ要スル場合」

(1) 資本金貳拾萬圓以上ノ會社ノ設立ヲ伴フ事業ノ免許若ハ許可ヲ爲スベキ場合（法第四條、令第三條第二項、則第五條）

(2) 資本金貳拾萬圓以上ノ會社ノ合併又ハ合併ニ因リ資本金貳拾萬圓以上トナル會社ノ合併ノ許可ヲ爲スベキ場合（法第四條、令第五條第二項、則第七條）

附　合併シテ新會社ヲツクルトキ、甲會社ガ乙會社ヲ合併シテ甲會社ノミヲ存續スルトキヲ含ム

(3) 資金五萬圓以上ヲ要スベキ事業設備ノ新設、擴張若ハ改良ニ關シ免許、許可、認可等ノ處分ヲ爲サントスル場合（法第四條ノ二、令第六條ノ三第二項、則第十一條）

附　(1)及(2)ニ該當セザル會社ト雖モ本項ニ該當スルコトアルベシ但シ左ノ場合ニ於テハ既ニ本法ニ定ムル別ノ手續ヲ經タルモノナルニ付重ネテ手續スルヲ要セズ

通牒

（イ）(1)及(2)ニ於テ既ニ協議ノ内容トナリタル場合

（ロ）金融機關ヨリノ借入金ヲ以テスル場合（法第四條ノ二第一號）

（ハ）資本金貳拾萬圓以上ノ會社ニアリテハ

（A）直接募集ニ因リ得タル社債收入金ヲ以テスル場合（法第四條第二項第二號、第四條ノ二第四號、令第六條第一項但書、第六條ノ三第一項第四號）

（B）他人ヲシテ引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲サシメタル社債ノ收入金ヲ以テスル場合（法第四條ノ二第二號）

（C）設立又ハ增資後ノ第一回拂込株金又ハ出資金ニ依ル場合（法第四條ノ二第三號、令第四條第一項第三號、第六條ノ三第一項第三號）

（D）第二回以後ノ拂込株金ニ依ル場合（法第四條第二項第一號、第四條ノ二第四號、令第六條ノ三第一項第四號）

從ツテ本項ハ金融機關以外ヨリノ借入金並ニ自己資金ヲ以テスル場合及資本金貳拾萬圓未滿ノ會社ニ在リテハ尙拂込株金若ハ社債收入金ヲ以テスル場合ニ限ラレルコトトナル

註　法トハ臨時資金調整法、令トハ臨時資金調整法施行令、則トハ臨時資金調整法施行細則ヲ謂フ

（昭和一二年一〇月一三日、監雜第七六〇號鐵道省監督局長、內務省土木局長連名通牒ニ付テハ四五一頁參照）

臨時租稅措置法施行規則第一條ノ四十二、第一條ノ四十五及第二十五條ノ規定ニ基ク證明書交付方ノ件

（昭和一七、五、九、監經第一五九七號各地方長官宛監督局長通牒）

臨時租稅措置法施行規則第一條ノ四十一ノ規定ニ依リ本日大藏省告示第二三三號ヲ以テ運輸業ガ指定相成候處標記ノ件ニ關シテハ左記ニ依リ證明書ヲ交付スルコトニ決定候條右ニ依リ御處理相成度

追而證明書ハ行政官廳ノ指導又ハ斡旋ニ依リ解散又ハ合併シタル場合ハ別表雛形ニ依ルコトニ大藏省ト打合致候條御承知相成度

記

種別	證明書交付主務官廳
地方鐵道業、軌道業又ハ旅客自動車運輸事業ヲ營ム法人	鐵道省監督局長
旅客自動車運送事業又ハ貨物自動車運送事業ヲ營ム法人	地方長官（東京府ハ警視總監）
小運送業ヲ營ム法人	鐵道局長

雛型ノ一

證明願

會社ノ本店ノ所在場所

商號

代表者氏名　印

右ハ御廳ノ指導又ハ斡旋ニ依リ事業統制ノ必要上解散シタルモノナルコトヲ證明相成度

昭和　年　月　日

鐵道省監督局長　殿

右相違ナキコトヲ證明ス

通牒

成例通牒

昭和　年　月　日

鐵道省監督局長

雛型ノ二

證明願

被合併會社

本店ノ所在場所

商　號

合併會社

本店ノ所在場所

商　號

代表者氏名

印

右ハ御廳ノ指導又ハ斡旋ニ依リ事業統制ノ必要上合併シタルモノナルコトヲ證明相成度

昭和　年　月　日

何々鐵道局長　殿

右相違ナキコトヲ證明ス

昭和　年　月　日

何々鐵道局長　印

旅客自動車運輸事業統合ニ關スル件

（昭和一七、八、二一、監陸第一二九〇號
各地方長官宛　監督局長依命通牒）

今般時局ノ要請ニ鑑ミ左記ニヨリ旅客自動車運輸事業ノ統合ヲ實施致スコトト相成候條其ノ具體的措置ニ付テハ豫メ當省ト充分連絡相成以テ之ガ迅速圓滑ナル完成ヲ期スル樣特ニ御配意相煩度此段依命及通牒候也

記

第一　統合ノ目標

現下ノ激增セル交通需要ニ對處スルニハ輸送力、輸送施設ノ最高度活用ヲ圖リ刻下ノ事業難ヲ打開シ適切ニシテ重點的ナル運營ヲ實行スルヲ要ス之ガ爲メ右要請ニ即應セル形態ヲ急速ニ確立スルコト

第二　統合地區

一、地方交通事情ニ即應スル如ク各道府縣ヲ一乃至數箇ノ交通圏ニ分チ當該交通圏毎ニ事業ノ統合ヲナスコト但シ地方事情ニ依リ二以上ノ府縣ニ跨ル交通圏ノ設置ヲ妨ゲザルコト

二、交通系絡上必要アルトキハ路線ノ一部ガ他圏内ノ路線ト競合スルモ妨ゲナキコト

第三　統合ノ方法

各交通圏ニ於テ事業ノ基礎、運營ノ規模等ヨリ見テ最モ適當ナル事業ヲ選定シ之ヲ主體トシテ事業ノ讓渡又ハ會社ノ合併ヲ爲サシムルコト

尙各交通圏ニ於ケル統合主體ノ選定及統合ニ方リテハ左ノ諸點ニ留意スルコト

通牒

一、公共團體ノ經營ニ係ル事業ニシテ基礎、運營ノ規模等完備セルモノアルトキハ右公共團體ヲ主體トシテ統合スルコトヲ得ルコト

二、地方鐵道、軌道ノ經營ニ係ル事業（兼營又ハ傍系ヲ含ム）ニシテ基礎、運營ノ規模等完備セルモノアルトキハ右地方鐵道、軌道ヲ主體トシテ統合スルコトヲ得ルコト

三、適當ナル主體ヲ選定スルコト困難ナルトキハ關係業者ヲ包括シテ新會社ヲ設立スルモ妨ゲナキコト

四、事業ノ評價ハ別紙（基準要綱）ヲ基礎トシテ實情ニ即シタル決定ヲナスコト

五、交通圏ノ設定及統合主體ノ選定ハ右ノ外別紙當省ノ指示ヲ參考トシテ地方廳之ガ實行案ヲ樹立スルコト

六、實行案ノ樹立及其ノ具體的措置ノ決定ニ際シテハ豫メ當省ト緊密ナル連絡ヲ保ツト共ニ事業者ノ意向ヲ反映セシムル如ク措置スルコト

七、實行案樹立ノ際從來事業經營ヲ爲シ居ラザル公共團體ニシテ統合ノ主體タラシムルヲ適當ト認ムルモノアルトキハ右ヲシテ統合セシムルモ一方法ナルニ付豫メ當省ト緊密ナル連絡ヲ採リ其ノ措置ヲ進ムルコト

第四　新統合體ノ運營方針

統合ノ目標ニ鑑ミ左ノ諸點ニ留意シテ新統合體ノ運營方針ヲ樹立スルコト

一、運轉系統、運轉回數、運轉時刻等ヲ再檢討シ交通需要ノ充足ヲ期シ併セテ車輛、燃料、勞力其ノ他ノ需給難ヲ克服シ得ル如キ事業計畫ヲ樹立スルコト

二、從來ノ雜多ナル運賃制度ヲ改正シ統一的ナル適正賃率ニヨル運賃ヲ設定スルコト

三、新統合體ノ事業計畫決定ニ當リテハ地方事情、鐵道、軌道トノ關係ヲ充分考慮スベキコト

四、新統合體ノ人的構成ニ付テハ努メテ事業者ノ經驗ヲ尊重スル樣措置スルコト

第五　本統合ハ昭和十八年三月末日迄ニ完了スルヲ目途トスルコト

旅客自動車運輸事業統合ニ關スル評價基準其ノ他要綱

一、事業ノ評價基準

有形財産ノ時價評價額ト營業權トノ合計額ヲ以テ事業評價額トス但シ承繼營業權及道路改良分擔金ニシテ十年均等償却ヲ爲シ殘額アルトキハ其ノ殘額ノ査定額ヲ限度トシテ之ニ加算スルコトヲ得ルコト

（イ）有形財産ノ評價ハ左記ニ依ルコト

（A）車輛ニ付テハ當該地方協定價格ニ依ル若シ當該地方ニ協定價格ナキ場合ハ東京府ノ協定價格ニ依ルコト

（B）其ノ他ノ財産ニ付テハ公定價格又ハ協定價格アルモノハ之ニ依リ、然ラザルモノハ時價ヲ參酌シテ決定スルコト

（ロ）營業權ノ價格ハ左記算式ニ依リ興業費ト利益八分還元額トノ平均額ヨリ興業費ヲ控除シタル殘額ヲ限度トスルコト

$$\frac{\text{利益金}}{0.80} + \text{興業費} - \text{興業費} = \text{營業權ノ價格}$$

2

註　一、興業費ハ自動車運輸事業開始ニ必要ナル自動車等ノ取得又ハ建設ノ爲支出シタル實費決算額ヨリ減價償却額ヲ控除シタル金額トスルコト

註　二、利益金ノ計算ハ左記ニ依ルコト

（A）利益金ハ運輸收入ヨリ營業費（含減價償却額）ヲ控除シタル殘額トス但シ其ノ殘額ガ運輸收入ノ百分ノ五ニ達セザルトキハ當該收入ノ百分ノ五ニ相當スル金額トスルコト

（B）前項ノ運輸收入及營業費ハ最近ノ事業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル實績ヲ基礎トシ常態ト認メラルル年額ニ依ルコト

（C）個人經營等ニシテ運輸收入及營業費ノ不明確ナル場合ハ諸般ノ事情ヲ綜合シ推定計算スルコト

註　三、減價償却額ノ計算ハ左記ニ依ルコト但シ註二、（A）ノ減價償却額ニハ（C）ノ計算ヲ算入セザルコト

（A）車輛ハ一車軒二錢五厘トシテ計算スルコト

（B）其ノ他ノ有形財産ハ大藏省所定ノ固定資産耐久年數表ニ依リ計算スルコト

（C）承繼營業權及道路改良分擔金ハ十年均等ノ割合ニ依リ計算スルコト

二、會社ノ新設

（一）新設會社ノ形態ハ可成株式會社トスルコト

（二）資本金ハ原則トシテ全額拂込濟トシ未拂込株金ヲ存セザルコト

（三）資本金ヲ以テ支辨スル營業權ハ資本金額ノ二割額ヲ限度トスルコト但シ特別ノ事情アル場合ハ三割額迄之ヲ認ムルコトヲ得

（四）收支目論見ニ於テ營業權ハ十年均等償却トシテ計上スルコト

（五）定款ノ目的事項ハ現實ニ營ムモノニ限リ記載スルコト但シ投資及融資ニ關スル條項ハ其ノ必要ナキヲ以テ記載セザルコト

三、合併

（一）合併ヲ爲ス會社ハ原則トシテ資本金五萬圓以上ノモノニ限リ其ノ他ハ買收又ハ出資ノ方法ニ依ルコト

（二）合併會社ノ資本金額ハ合併ヲ爲ス會社ノ資本金額ノ合計額ヲ超エザルコト

（三）抱合株ハ償却シ資本ヲ增加セザルコト

（四）合併ノ形式ハ新設合併、吸收合併何レニテモ可ナルコト

（五）營業成績、資産狀態ノ異ル會社ノ合併ニ於テ資本ノ切捨困難ナル場合ハ後配株發行ノ方法ニ依ルモ可ナルコト

（六）合併比率ハ左ノ各項ヲ參酌シテ決定スルコト

（イ）收益率（純益金ノ平均拂込資本金額ニ對スル割合）ノ比

（ロ）評價純資産額（評價ハ前揭ノ方法ニ依ル）ノ一株當リ平均額ノ比

（ハ）市場價値ヨリ見タル株價ノ比

（七）合併比率ノ關係上株式交付金ヲ附スル必要アル場合ハ其ノ限度ハ交付株式ノ時價換算額ヲ超エザルコト

（八）事業年度ノ中途ニ於テ合併スル場合配當金ニ代ハル配當交付金ハ從前ノ配當率ニ依ルコト

（九）合併契約ニハ左ニ揭グル條項ヲ必ズ記載スルコト

（イ）抱合株ニ付テハ株式ノ割當ヲ爲サザルコト

（ロ）株式交付金ヲ附スル場合ハ其ノ割合及金額

（ハ）配當金ニ代ハル交付金ヲ附スル場合ハ其ノ割合及支拂ノ時期

重複免許又ハ許可シタル營業權ニ關スル件

（昭和八、九、八、保安、交通課長會議ニ於ケル監督局長指示）

同一人ニ對シ同一區間ニ付重複シテ免許又ハ許可シタル場合ニ於ケル所謂免許權ハ歸一シテ單一トナルモノトシテ處理シ來レルニ付本法實施後モ右ノ趣旨ニ基キ處理スルコト

臨時事業ノ免許ニ關スル件

（昭和九、六、二、監陸第二八六二號ノ一）
（栃木縣知事宛　監督局長回答）

本年四月二十日附保發第八〇三四號ヲ以テ臨時自動車運輸事業ニ關スル疑義照會有之候處每年季節的ニ反覆シテ臨時事業ノ申請ヲ爲ス場合ヲ除キテハ自動車交通事業法施行規則第七條ニ依ル臨時ノ必要ニ因ルモノトシテ取扱支障無之被認候得共本事業ノ免許ニ際シテハ左記ノ點ヲ充分留意ノ上處理相成度

記

一、臨時事業申請路線ニ重複又ハ近接若ハ竝行シテ他ノ既設鐵道、軌道及乘合自動車路線等アル場合ニ於テハ可成既設ノ關係事業者ニ對シ運轉回數及使用車輛等ヲ增加セシムルカ又ハ之等ノ既設事業者ヲシテ臨時事業ヲ經營セシムルヲ適當ト認メ他ノ既設交通機關ニ對シ影響ヲ與フル虞アル臨時事業ハ之ヲ認メザルコト

二、每年反覆シ臨時事業トシテ經營セントスル如キ申請ハ寧ロ運輸期間ノ定メアル運輸事業ノ免許申請ヲ爲サシムベキモノナルコト

臨時自動車運輸事業ニ關スル件

（栃木縣知事照會（昭和九、四、二〇、保發第八〇三四號））

櫻花等ノ花見時季ニ於テ公園等一定ノ場所ニ往復スル遊覽客ノ輸送ヲ目的トシ期間ヲ限リ臨時旅客自動車運輸事業トシテ免許申請有之候處右ハ施行規則第七條ニ所謂臨時ノ必要ニ因ルモノト認メ免許支障ナキヤ尙同一區間ニ對シ同一人ヨリ臨時事業ノ免許申請ト同時ニ自動車運輸事業ノ免許申請モ有之之ガ免許セラルルマデ臨時トシテ申請セルモノト認メラルル事情モアリ若シ臨時トシテ免許スルニ於テハ年々反覆セラルルモノト豫想セラルルモ右ノ場合ニ於テモ臨時ノ必要ニ因ルモノトシテ取扱相成可然哉何分ノ御回示相煩度此段及稟申候也

配置車輛ニ關スル件

（昭和九、四、一六、監雜第一八八號ノ一）
（香川縣知事宛　監督局長回答）

（イ）設問ノ如キ事業計畫ヲ新規ニ設定スル場合ニ在リテハ各運轉系統ニ付運輸數量及粁程ニ應ジ相當數ノ車輛ヲ配置セシメ得ル限リ支障ナシ既認可ノ事業計畫ヲ設問ノ如ク變更スル場合ニ付テハ昭和八年十月三日監雜第六九八號監督局長通牒第四項參照ノコト

（ロ）貸切用車輛ヲ運輸事業ノ豫備車トシテ兼用スルコトハ經濟上已ムヲ得ザルモ當該車輛ガ運輸事業規準規程ニ適合スルコトヲ必要トシ且常時運輸事業用ノ豫備車トシテノ效用ヲ發揮スルコトヲ要スルモノナルニ付相當多數ノ貸切用車輛ヲ有スル場合ニ限リ支障ナキモノナルコト尙前示通牒參照ノコト

（ハ）同一事業者ノ豫備車ヲ數運轉系統ノ豫備車ニ兼用スルコトハ豫備車トシテノ效用ヲ充分ニ發揮シ得ル程度ノ車輛ヲ準備シアル限リ支障ナシ尙前示通牒參照ノコト

香川縣知事照會（昭和九、二、二七、九發保第六四號）

自動車交通事業法施行規則ニ所謂事業計畫中車輛ノ配置ニ就テ

（イ）同一事業者ノ甲運轉系統ニ屬スル配置自動車ヲ乙運轉系統ニ共用セシメ可ナリヤ

註　甲運轉系統ノ運轉ハ一日三回等極メテ閑散ナル運轉ニ充當セル車輛ヲ其ノ運轉間隔ヲ利用シテ甲運轉系統ニ支障ナキ限リ乙運轉系統ニ共用セシムルノ可否

（ロ）同一事業者ノ自動車運輸事業以外ノ自動車ニ依ル運送事業規則ニ所謂貸切事業用ノ自動車ヲ運輸事業用ノ豫備車輛ニ兼用セシメ可ナリヤ

註　事業者ノ都合ニ依リ前記ノ如キ兼用ヲ願出デントス如何

（八）同一事業者ノ豫備車輛ヲ甲乙等數運轉系統ノ豫備車ニ兼用セシメ可ナリヤ

定期運行解釋ノ件

（昭和九、一一、五、監陸第一〇六九九號ノ一茨城縣知事宛　監督局長回答）

本年十月二十五日附保發第一二二號ヲ以テ貨物自動車運輸事業免許申請ニ關スル疑義照會有之候處右ハ貴官御意見ノ如ク第一號及第三號ハ定期、第二號ハ不定期ト解シ支障無之候

茨城縣知事照會（昭和九、一〇、二五、保第一二二號）

四月十二日附監陸第二二三〇號ノ御通牒ニ依レバ從來ノ貨物自動車營業免許ヲ得タルモノニシテ事實ハ一定路線ヲ定メ不定期ニ營業中ノ者ニ對シテハ稟議ノ手續ヲ省略シ事業種別ノ變更認可ヲ爲シ貨物自動車ノ業態整理ヲ爲スベキ樣指示有之候ヘ共右不定期ノ字句ニ關シ聊カ疑義相生ジ候間左記ニ依リ何分ノ御回示相成度及稟伺候也

左　記

一、現在此ノ種營業者ハ旅客自動車運輸事業ト全然事業ノ內容ヲ異ニシ且ハ營業地域關係上例ヘバ實際ニ於テ其ノ區間ヲ決定スルモ其ノ發着時刻ヲ劃然ト決定運行シ得ザル狀況ニ有リ其ノ多クハ毎日午前一回午後一回或ハ一日一回ト定メ荷物ヲ集拾運行スル者ニシテ之等ハ所謂定期ト解スルヲ妥當ト認ムルモ如何

二、不定期ト解スルハ前項ノ如キ運行回數ニ依ラズ荷物ノ關係上運行日時等ヲ全然決定セズ二日目ニ一回或ハ三日目ニ一回ト云フガ如ク一定セザル者ノミヲ指稱スルヲ適當ト認ムルモ如何

三、更ニ其ノ月ノ三、十二、十八日ノ午前一回午後一回ト云フガ如ク其ノ回數ハ少キモ其ノ日時ノ定メアルハ第一號ト同樣定期ト認メ差支ナキヤ

運轉回數ノ增加ニ關スル件

（昭和九、七、二六、監陸第六七五一號高知縣警察部長宛　監督局陸運課長回答）

一、運行車輛ニシテ平常ハ一臺運轉ヲ爲シ居ル事業者ガ多客ノ場合之ヲ二臺三臺等臨時ニ車輛ヲ增加シ一時ニ相次デ發車スルガ如キ場合ハ運轉回數ノ增加ニ非ズ從而何等許可ヲ必要トセザルモノナルコト但シ增加スベキ車輛ハ豫メ事業用ノ車輛トシテ認可ヲ受ケ居ルモノナルヲ必要トスベキコトハ勿論ノコト

二、始發終着ノ時間內ニ於テ臨時ニ運轉回數ノ增加ヲ爲スハ事業計畫ノ變更トシテ（臨時運轉回數增加）認可ヲ必要トスルモノナルコト尙一事業者ノ營業路線全部ニ對シ概括的ニ不定時增發ノ認可ヲ爲スハ結局不定期運行ヲ認ムルコトトナリ妥當ニアラザルヲ以テ其ノ都度必要ニ應ジ認可セラルベキモノナルコト

高知縣警察部長照會（昭和九、五、一四保發號外）

一、平常一臺發車シ居レルモノヲ旅客ノ多寡ニ應ジ時々二臺若ハ三臺ヲ同時ニ發車スルハ運轉回數ノ變更ナルヤ

二、始發終着ノ時間內ニ於テ臨時ニ運轉回數ヲ增加スルハ事業計畫ノ變更トシテ許可ヲ要スルヤ然リトセバ一事業者ノ營業路線全部ニ對シ不定時增發ノ概括的認可ヲ爲シ支障ナキヤ

施行規則第十條ノ解釋ノ件

（昭和九、四、一六、監雜第一八八號ノ一）
（香川縣知事宛　監督局長回答）

施行規則第十條ノ記念日ハ公衆一般ヨリ看テ記念スベキ日ナルコトヲ要シ事業者個人トシテノ記念日ハ之ヲ包含セザルモノナルコト

尙同條ニ掲グル祭典、緣日等ハ通例何々祭、何々緣日トシテ稱呼セラルルモノ其ノ他之ニ類スル多客ノ場合ヲ指稱スルモノナルモ其ノ範圍ハ成ルベク制限スベキモノナルコト從テ單ナル興行、賣出ノ如キモノハ之ヲ包含セザルモノナルコト

香川縣知事照會（昭和九、二、二七、九發保第六四號）

自動車交通事業法施行規則第十條ノ祭典、緣日、記念日等ノ場合トハ個人ノ事業開始記念日等ヲモ包含スルモノナリヤ又玆ニ所謂記念日トハ何々記念日等地方的色彩ヲ帶ブルヲ要スルモノナリヤ

又祭典、緣日、記念日等ニハ商家ノ年末賣出或ハ地方的花見遊山等或ハ名優ノ興行トカ東京相撲ノ巡業等或ハ軍人ノ入退營等一地方的ニ見テ公衆ノ多數來往スル場合ヲモ包含スルノ意ニ解シテ可ナリヤ

會社ノ組織變更手續ニ關スル件

（昭和九、三、一〇、監雜第一六九號ノ一）
（富山縣知事宛　監督局長回答）

自動車運輸事業ヲ經營スル合資會社ヲ株式會社ニ組織變更スル場合ハ讓渡手續ニ依ルベキモノナレバ自動車交通事業法施行規則第十九條ニ掲記シタル書類ヲ添附スベキモノナリ從テ協定書ヲ以テ讓渡契約書ニ代フルコトハ妥當ナラズ

富山縣知事照會（昭和九、二、二二、保第一四七一號）

自動車運輸事業ヲ經營スル合資會社ガ合資ヲ解散シテ株式ニ變更シ株式會社ニテ經營セントスル場合（代表者ハ同一人ナルモ株主ハ合資會社ノ總社員以外ニ及ブモノ）

イ、自動車交通事業法第十三條第一項、同法施行規則第十九條ニ依ル讓渡許可申請

ロ、法第十三條第二項、施行規則第二十條ニ依ル合併承繼ノ許可申請ノ何レニ依リ手續ヲ爲スベキヤ

又前記許可申請書ノ添附書類中讓渡契約書又ハ合併契約書ニ代フルニ協定書ノ如キニテモ差支ナキヤ

ハイヤー、タクシー業者ノ轉廢業ニ關スル件

（昭和一六、二、一八、監陸第二七九號各地方長官宛）
（監督局長、振興部長依命通牒）

自動車用民需ガソリンノ消費規正强化ニ關シ別途本月十四日一六燃規第七二六號商工、鐵道、內務三局長通牒ヲ以テ指示相成候處旅客自動車運送事業（ハイヤー、タクシー）ニ於テハ其ノ約四割弱ノ車輛ニ對シガソリンノ配給ヲ停止セラルルコトト相成タル爲事業者ニシテ事業ノ縮少又ハ廢止ヲ餘儀ナクセラルル者相當數ヲ生ズベク之等事業ノ縮少又ハ轉業ヲ爲ス事業者ニ對スル必要ナル資金ノ供給ニ付テハ左記要綱ニ依リ國民更生金庫ヲ利用シ得ルコトト致候間之ガ利用ニ付有効適切ナル御指導相煩度

追テ本件ニ關シテハ廳府縣警察部（東京府ニ在リテハ警視廳保安部）及經濟部ハ勿論各道府縣廳所在地ニ於ケル國民更生金庫出張所トモ充分連絡ノ上取扱相成度

記

一、更生金庫ノ利用方法

更生金庫ニ於テハ時局ノ要請ニ應ジ轉業又ハ廢業ヲ爲サントスル中小商工業者ニ對シテ其ノ營業用資産管理又ハ處分ノ引受竝ニ引受資産ノ處分代金ヲ見返リトシテ所要資金ノ貸付及債務ノ肩替リ等ヲ行フモノニシテ自動車運送事業ノ實情ニ即シテ言ヘバ車輛、車庫等ノ營業用資産ノ管理處分ノ引受及此等資産ノ處分代金ヲ見返リトシテ轉職業資金ノ貸付ヲ行フモノニシテ此ノ場合共ニ各道府縣廳内ニ設置セラルル評價地方委員會ノ議ヲ經テ地方長官其ノ評價額ヲ決定シ更ニ更生金庫ニ於テハ之ヲ基準トシテ營業用資産ノ引受價格ヲ決定スルモノトス而シテ資金ヲ必要トスル者ニハ右引受價格ヲ限度トシテ年三分四厘ノ利率ヲ以テ貸付ヲ爲シ將來適當ナル時ニ當該資産ヲ處分シテ此ノ決濟ニ當ツルモノニシテ差當リ資金ノ必要ナキ者ニハ管理處分ヲ引受ケタル資産ヲ處分シタル場合ニ其ノ引受額ニ相當スル金額ヲ交付スルモノトス從テ事業者ニ於テ營業用資産ヲ處分セントスルトキ又ハ資金ノ供給ヲ必要トスルトキハ此ノ方法ノ何レカニ依リ得ルモノトス

二、更生金庫ヲ利用シ得ル者ノ範圍

個人經營ニ依ル業者ニシテ轉業セントスル者ハ勿論客年九月政府ノ慫慂ニ依リ事業ノ合同ヲ爲シタル結果目下成立途上ニアルモノニシテ今般事業ノ縮少ヲ爲サントスル者モ特ニ更生金庫ヲ利用スルコトヲ得尙事業者（合同體タル會社ヲ含ム）ノ被使用人ガ直接更生金庫ヲ利用スルコトハ認メラレザルモ事業者ガ更生金庫ヨリ得タル資金ヲ轉業スル被使用人ニ供與スルハ支障ナシ

三、更生金庫ヨリ資金ヲ受クル方法

事業者ニ於テ資金ノ供與ヲ受ケントスルトキハ事業ノ整理計畫ヲ樹テ之ニ基キテ委託スベキ財産ノ範圍ヲ定メ監督官廳ノ承認ヲ受ケ評價額決定ノ上財産ノ委託又ハ資金ノ借入ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

事業ノ整理計畫ハ企業合同ニ於テハ合同セル會社ノ整理計畫ニ依ルモノトス

引渡シタル財産ハ將來ノ處分ノ時ニ於テ處分價格ガ引受價格ヲ下ルモ更生金庫ガ其ノ引受價格ノ支拂ヲ爲スコトヲ條件トシテ其ノ占有權及所有權ヲ移轉スルモノトス

尙更生金庫ニ引渡シタル財産ガ未ダ處分セラレザル間ハ舊所有者ハ借入金其ノ他ヲ返付シ買戻シヲ爲シ得ルモノトス

旅客自動車運送事業轉廢業者ノ資産評價ニ關スル益金算定方ノ件

（昭和一六、一〇、二、監陸第一八二二號各地方長官宛監督局長、振興部長通牒）

今般實施セラレタル旅客自動車運送事業者（ハイヤー、タクシー）ノガソリン使用停止ニ伴ヒ事業者中相當數ノ轉廢業者又ハ事業縮少者ヲ生ズル見込ニシテ之ガ更生金庫利用ノ場合ニ於テハ從來ノ營業狀況甚ダ區々ニシテ又帳簿整理方式モ一定セラレザルタメ益金ノ算定方法モ區々ナルヲ以テ國民更生金庫引受資産等ノ評價方法基準總則第三條第二項ノ規定ニ拘ハラズ別紙ノ如キ益金算定基準及算定例ヲ參照ノ上事業ノ實際ニ付評價基準トセラレ度

尙過去三ケ年以内ニ於テ企業合同ヲ爲シタル爲三ケ年間ノ平均益金ノ算定不能ノ場合ニ於テハ判明セル期間ニ依リ平均益金ヲ推定シテ算定セラレ度

旅客自動車運送事業ノ益金トハ營業收入ヨリ營業費ヲ控除シタル殘額ヲ謂フ其ノ概要左ノ如シ

通牒

營業收入	旅客收入	
營業費	運輸雜收	

保存費

輸送費

修繕費
- 給料手當
- 被服費
- 車輛費（含發生瓦）
- タイヤー、チューブ費
- 材料費
- 部分品費
- 諸建物費
- 雜費

賃貸料
- 土地建物

自動車保險料

總係費

人件費
- 運轉士給料
- 同手當
- 其ノ他職員給料
- 同手當
- 被服費
- 雜費

燃料及油脂費
- ガソリン費
- 木炭費
- 薪費
- 油脂費

其ノ他本社費
- 報酬給料

諸税	財産價額償却金
何々費	
國税	
道府縣税	
市町村税	
車發生輛爐	
手當費	
旅費	
交際費	
備消品費	
雜費	
自動車税	
其ノ他	
自動車税附加税	
其ノ他	

各事業關聯營業費分擔額	
興業營業關聯費分擔額	

備考

一、自家勞力評價ニ付テハ地方事情ニ依リ考慮スルコト

二、車輛償却年限ハ地方事情ニ依リ異ルモ大體五年、發生爐償却ハ二年トスルコト

（算定例）

損益計算表

自昭和十六年一月一日至昭和十六年六月三十日

（認可車輛50輛ノ場合）

收入			支出		
科目	金額		科目	金額	
營業收入	153,684 12		營業費	142,908 73	
旅客運輸收入	153,684 12		保存費	25,150 68	
雜收			運送費	76,923 08	
			稅金	10,236 11	
			償却金	3,618 52	
			價額分擔額	26,980 34	
			興業營業關聯費分擔額	—	
合計	153,684 12		合計	142,908 73	10,775 39

通牒

旅客自動車運送事業者ノ資産評價ニ關スル件

（昭和一六、一〇、二四、一六振興部第二六七二號各地方長官宛　振興部長、監督局長通牒）

旅客自動車運送事業者ノ資産評價ニ付テハ曩ニ昭和十六年六月六日附一六振第四一一二號商工次官通牒ニ基キ既ニ運營相成居候コトト被思料候處尙評價ニ當リ疑義ノ點アル向モ有之哉ニ被認候ニ付テハ特ニ左記諸點ニ留意ノ上處理相成度此段及通牒候也

記

一、ナンバー代ハ地方ノ實情等ニ依リ斟酌セザルコト

一、小型自動車ノナンバー代ハ普通型自動車ノナンバー代ノ七割ヲ認ムルコト

一、大阪府協定價格ハ去ル九月十日附告示ヲ以テ改訂セラレタルヲ以テ九月十日以後ノ申込ニ係ル車輛價額ハ改訂協定價格ニ依ルコト

一、益金額算定ノ場合ニ爲ス減價償却額ハ左ノ金額ニ依ルコト

$$減價償却額 = \frac{取得價額 - 殘存價額}{車輛償却年限}$$

「註」

1　殘存價額ハ取得價額ノ一〇％トスルコト但シ五〇〇圓以下ナルトキハ五〇〇圓ヲ以テ殘存價額トスルコト

2　車輛償却年限ハ新車タルト中古車タルトヲ問ハズ原則トシテ五ケ年トシ特別ノ事情アルトキハ之ヲ延長スルコトヲ得ルコト

旅客自動車運送事業轉廢業者ノ資産評價ニ關スル件

（昭和一六、一二、一、監陸第二〇六三號大阪府知事宛監督局長、振興部長回答）

標記ノ件ニ關シ本年十一月二十一日附經總第二八二三號ニ依リ照會有之候モ左記ノ如ク御取扱相成度

記

一、本年十月二十四日附一六振興部第二六七二號通牒所定ノ算式ニ依ル減價償却額ハ車輛ノ取得價額ヨリ殘存價額（取得價額ノ一〇％）ヲ減ジタル殘額ヲ五ケ年償却ヲ爲ス金額ヲ謂フコト

二、從ツテ車輛取得後五ケ年經過セルモノニ付テハ償却完了セルモノト爲シ償却後尙使用セル車輛ニ付テハ爾後ハ償却額ヲ計上スルコトヲ要セザルモ保存費ノ增加ヲ來スモノト認メラルルヲ以テ保存費不明ノモノニ付テハ車輛償却額ニ應ジ保存費ヲ推定算出スルコト

醫師ノ自家用自動車取締ニ關スル件

（昭和一八、二、一五、監陸第一四二九號宮崎縣知事宛　監理局長回答）

昭和十七年八月二十六日附保發第一九八號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ伺出相成候處自家用自動車ニ依ル醫師ノ往診ニ當リ車代ヲ請求スルハ所謂運送對價ヲ徵スルモノトシテ自家用自動車ノ範圍ヲ逸脫スルノミナラズ醫家ニ於ケル自動車ノ保有ハ醫業施設ノ一部ト思料セラルルニ付醫業費一體ノ見地ニ立脚シ右車輛ノ維持費的分子ハ寧ロ往診料ニ包含セシメ考慮スルヲ妥當ト被認候條左記ニ依リ處置相成度

成例通牒

追テ本件ニ關シテハ厚生省ト打合濟ニ付爲念申添候

記

一、醫師ノ自家用自動車ノ使用ニ關シテハ醫業ノ社會的意義ヲ考慮シ眞ニ自動車ノ使用ヲ必要トスル向ニハ之ガ入手其ノ他ニ關シ適當ナル指導斡旋ヲ爲スコト

二、往診ノ場合ニ於ケル醫師ノ自家用車ニ依ル車代ノ徴收ハ之ヲ認メザルコト

三、往診料中本件ノ如キ經費ヲ考慮シ居ラザル場合ハ往診料ニ付適當ニ考慮スルハ已ムヲ得ザルコト

宮崎縣知事照會（昭和一七、八、二六、保發第一九八號）

近年ハイヤー事業ノ壓縮ニ依リ管内醫師ニ於テ其ノ往診用トシテ自家用乘用自動車ヲ設備スル者多數アリ

然ル處之等ハ其ノ往診ニ當リテハ規定ノ診察料、治療費、往診料等ヲ收受スルノ外更ニ宮崎市内等ニ於テハ各患家毎ニ個々ニ車賃トシテ一圓五十錢乃至二圓位ヲ徴收スルノ慣行アルガ

右ハ運送對照物ノ關係上一見自動車交通事業法ヲ適用スルノ限リニ非ザルガ如キモ之ヲ放任スルニ於テハ自家用自動車ノ要求ヲ增大セシメテ企業集約ノ大目的ヲ無效ナラシムルノ外旅客自動車運送事業ヲ壓迫シ患家ノ負擔ヲ過重ナラシムル等其ノ影響スル所相當大ナルモノアルニ鑑ミ斯ル行爲ハ之ヲ阻止スルノ要アリト被存候條右取扱方ニ關シ何分ノ御指示相仰度此段及禀伺候也

特定旅客自動車運送業ノ取扱方ニ關スル件

（昭和一八、一、一五、監自一發第七〇號 各地方長官宛 監理局長依命通牒）

近時重要時局產業工場等ノ新設擴張ニ因リ之ガ工員通勤ノタメ路線ヲ定ムル特定旅客自動車運送業ノ申請不尠ルモノト認メラレ候處此

路線ニ重複又ハ接近スル旅客自動車運輸事業アル場合ニ於テハ現下逼迫セル車輛、資材、勞務ノ事情ニ鑑ミ二重施設ヲ排シ先以テ既設ノ旅客自動車運輸事業者ヲシテ此等工員輸送ニ支障ナキ運行計畫ノ樹立實施ヲ命ジ又ハ路線ノ延長ヲ爲サシムル如ク特ニ指導相成生産擴充重要工場等ノ作業ニ支障ヲ來タシメザル樣御措置相成ト共ニ爾今特定旅客自動車運送業ノ取扱方ニ關シテハ昭和十六年三月二十二日監陸第五〇九號依命通牒第二號ニ依ルノ外路線ヲ定ムル特定旅客自動車運送業ヲ許可セントスルトキハ處分前許可セントスル事由ヲ具シ禀伺相成度此段依命及通牒候

貨物自動車運送事業統合ニ關スル件

（昭和一七、一二、二八、監自一發第五七號ノ一 地方長官宛 監理局長依命通牒）

戰時陸運非常體制ノ一環トシテ貨物自動車輸送能力ノ强化ヲ圖ル爲別紙要綱ニ依リ貨物自動車運送事業ノ統合ヲ實施スルコトト相成候ニ付テハ鐵道局其ノ他關係各廳ト連絡ノ上事業組合及事業者ヲ指導督勵シ可及的速ニ完了スル樣特段ノ御配意相煩度

追而鐵道局長、遞信省郵務局長及全國貨物自動車運送事業組合聯合會會長宛別紙之通通牒致置候

貨物自動車運送事業統合要綱

第一　方針

戰時陸運非常體制ノ一環トシテ貨物自動車運送事業ノ輸送統制ノ徹底ヲ圖ルト共ニ鐵道輸送及小運送トノ連繫ヲ强化シ以テ陸運綜合能力ノ最高度發揮ヲ期スル爲事業ノ統合ヲ實施ス

第二　要領

一、統合基準

通牒

（一）區域事業

（イ）交通ノ事情ニ基キ道府縣ヲ數個ノ地區ニ分チ一地區一事業者ヲ原則トシ統合ヲ行フ

（ロ）京濱、京阪神地方等ノ特殊地帶ニシテ前號ノ原則ニ依リ難キトキハ一地區ニ二事業者以上ノ存立ヲ妨ゲザルモノトシ此ノ場合ニ於テハ左ニ依ルモノトス

(1) 事業體ハ統合後ノ運營ヲ考慮シ出來得ル限リ大規模且强力ノモノタラシムルコト

(2) 統合ニ當リテハ車庫、營業所等ノ配置、取扱貨物ノ特殊性等ヲ考慮シ統合後ノ輸送統制ヲ圓滑ナラシムル如ク措置スルコト

（二）區間事業

同一又ハ近接區間ニ於ケル事業ハ原則トシテ一事業者ニ統合シナルベク區域事業者中適當ナルモノヲシテ之ヲ兼營セシムルコト

尙關東地方、京阪神地方及中京地方ノ主要區間ニ於ケル事業ハ關係各府縣協議ノ上各地方毎ニ適當ナル事業者ニ統合スルコト

二、統合ノ方法

（一）地方ノ實情ニ即シ適當ナル統合主體ヲ選定シ之ニ對スル事業ノ讓渡、出資又ハ會社ノ合併ノ方法ニ依ルヲ原則トスルモ適當ナル統合主體ナキ場合ニ於テハ新會社設立ノ方法ニ依リ得ルモノトス

（二）統合ノ際ノ事業資產評價ハ別ニ定ムル評價基準ニ依ル

三、特定ノ用ニ供スル貨物自動車

（一）小運送用自動車

（イ）小運送遂行ニ必要ナル最低限度ノ車輛ハ小運送業者ニ於テ之ヲ保有シ得ルコトトシ原則トシテ統合ヨリ除外ス

（ロ）統合ニ參加セシムル場合ニ於テハ統合體ノ資本、組合、人的構成等ニ付テ特段ノ措置ヲ講ジ小運送ト區域事業トノ調整ニ遺憾ナキヲ期スルコト

（ハ）小運送用自動車ノ取扱ニ付テハ關係鐵道局長ト緊密ナル連絡ヲ取ルコト

（二）郵便遞送用自動車

（イ）主要地區（追而指示ス）ニ於ケル遞送用自動車ハ之ヲ日本郵便遞送會社ニ吸收セシムルコトトシ右以外ノ地區ニ於テハ原則トシテ地區別統合ニ參加セシムルコト

（ロ）統合ニ關シテハ關係遞信局長ト充分連絡スルコト

四、自家用車

一般自家用車ハ輸送能率發揮上支障ナシト認メラルル場合ニ於テハ之ヲ本統合ヨリ除外スルヲ得ルモノトス特ニ重要工場、鑛山等ニ於テ其ノ生產增强ヲ確保スル爲繼續且大量ニ原料、製品等ヲ輸送スル場合ニ於テハ所要臺數ヲ限リ輸送ノ實情ニ應ジ自家用貨物自動車ノ保有ヲ爲シ得ルモノトス

五、統合後ノ運營方針

（一）事業組合ヲシテ統合完成後ノ實情ニ即シ適切且徹底セル輸送統制ヲ行ハシムルコト

統合後ノ輸送統制方針ニ付テハ追而之ヲ指示ス

（二）新統合體ニ付テハ極力經營ノ合理化ヲ圖ラシムルト共ニ運賃料金ヲ適正ナラシムル樣指導スルコト

第三　注意事項

一、統合地區及區間ノ決定、統合主體ノ選定、其ノ他主要ナル事項ニ關シテハ豫メ省ニ稟伺スルコト

統合地區竝ニ關東地方、京阪神地方ノ區間事業統合要領ニ付テハ省ニ於テ參考案ヲ指示ス

二、統合ニ關シ必要ナル事項ヲ諮問スル爲別紙設置要領ニ依リ統合審議會ヲ設置スルコトヲ得

三、統合ニ依ル轉廢業者ノ資產買收ノタメ別ニ定ムル取扱方針ニ依リ國民更生金庫共助資金ノ融資ヲ受クルコトヲ得

四、統合主體ノ選定ニ當リテハ特ニ慣重ヲ期シ經營規模ノミナラズ事業基礎ノ强弱、經營者ノ素質、他ノ運送事業トノ連繫等ニ付充分考慮スルコト

五、統合ニ當リテハ眞摯ナル事業者ヲシテ其ノ希望ニ反シ本事業ヨリ離脱セシムルコトナキ樣注意スルコト

六、本統合ハ昭和十八年三月末完了ヲ目標トス

貨物自動車運送事業統合ニ關スル評價基準其ノ他要綱

一、事業ノ評價基準

有形財産ノ時價評價額ト營業權トノ合計額ヲ以テ事業評價額トス

（イ）有形財産ノ評價ハ左記ニ依ルコト

（A）車輛ニ付テハ當該地方協定價格ニ依ル若シ當該地方ニ協定價格ナキ場合ハ東京府ノ協定價格ニ依ルコト

（B）其ノ他ノ財産ニ付テハ公定價格又ハ協定價格アルモノハ之ニ依リ然ラルザモノハ時價ヲ參酌シテ決定スルコト

（ロ）營業權ノ價額ハ左記算式ニ依リ興業費ト利益八分還元額トノ平均額ヨリ興業費ヲ控除シタル殘額ヲ限度トスルコト

$$\left(\frac{\text{利益金}}{0.80}+\text{興業費}\right)\div 2-\text{興業費}=\text{營業權ノ限度}$$

註　一、營業規模小ナルタメ又ハ個人經營等ニシテ本文ノ方法ニ依リ營業權ノ價額ヲ算定シ難キ場合ハ普通車一輛當リ二千圓、小型車一輛當リ八百圓ヲ超エザル限度ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

（空籍車ニ付テハ普通車一輛當リ千圓以内トシ小型車ハ之ヲ認メザルコト）

註　二、興業費ハ自動車運送事業開始ニ必要ナル自動車等ノ取得又ハ建設ノタメ支出シタル實費決算額ヨリ減價償却額ヲ控除シタル金額トスルコト

註　三、利益金ノ計算ハ左記ニ依ルコト

（A）利益金ハ運輸收入ヨリ營業費（含減價償却額）ヲ控除シタル殘額トス

（B）前項ノ運輸收入及營業費ハ最近ノ事業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル實績ヲ基礎トシ常態ト認メラルル年額ニ依ルコト

（C）個人經營等ニシテ運輸收入及營業費ノ不明確ナル場合ハ諸般ノ事情ヲ綜合シ推定計算スルコト

註　四、減價償却額ノ計算ハ左記ニ依ルコト但シ註三ノ（A）ノ減價償却額ニハ（C）ノ計算ヲ算入セザルコト

（A）車輛ハ四年均等償却トシテ計算スルコト

（B）其ノ他ノ有形財産ハ大藏省所定ノ固定資産耐久年數表ニ依リ計算スルコト

（C）承繼營業權ハ十年均等ノ割合ニ依リ計算スルコト

二、會社ノ新設

（一）新設會社ノ形態ハ株式會社トスルコト

（二）資本金ハ原則トシテ全額拂込濟トシ未拂込株金ヲ存セザルコト

（三）資本金ヲ以テ支辨スル營業權ハ資本金額ノ二割額ヲ限度トスルコト但シ特別ノ事情アル場合ハ三割額迄之ヲ認ムルコトヲ得

（四）收支目論見ニ於テ營業權ハ十年均等償却トシテ計上スルコト

（五）定款ノ目的事項ハ現實ニ營ムモノニ限リ記載スルコト

註　一、資本金二十萬圓以上ノ會社ニシテ貨物自動車運送事業ノミヲ目的トスル場合ニ限リ臨時資金調整法ニ依ル關係書類ヲ附シ當省ニ稟伺スルコト

註　二、資本金二十萬圓以上ノ會社ニシテ貨物自動車運送事業ノ外ニ倉庫業、車輛修繕業等他ノ事業ヲ目的トスル場合ハ臨時資金調整

法施行規則第五條ノ規定ニ依リ會社設立認可申請書ヲ日本銀行本店又ハ支店ヲ經テ大藏大臣及商工大臣ニ提出セシメ其ノ寫ヲ貴廳經由當省ニ送付セシムルコト

此ノ場合貴廳ノ意見ヲ簡單ニ附記スルコト

註　三、資本金二十萬圓未滿ノ會社ト雖移轉スル設備ガ五萬圓以上ナル場合ハ註一、ニ依リ當省ニ禀伺スルコト

註　四、關聯事業ニ對スル投資又ハ融資ニ關スル事項ハ定款ノ目的事項トシテ掲載スルノ要ナキヲ以テ記載セシメザルコト

註　五、貨物自動車運送事業會社ノ定款目的事項ノ記載例左ノ如シ

第　條　當會社ハ左ノ事業ヲ營ムコトヲ目的トス

一　貨物自動車運送事業

二　前項ニ關聯スル一切ノ業務

三、合　併

（一）合併ヲ爲ス會社ハ原則トシテ資本金五萬圓以上ノモノニ限リ其ノ他ハ買收又ハ出資ノ方法ニ依ルコト

（二）合併會社ノ資本金額ハ合併ヲ爲ス會社ノ資本金額ノ合計額ヲ超エザルコト

（三）抱合株ハ消却シ資本ヲ增加セザルコト

（四）合併ノ形式ハ新設合併、吸收合併何レニテモ可ナルコト

（五）營業成績、資產狀態ノ異ナル會社ノ合併ニ於テ資本ノ切捨困難ナル場合ハ後配株發行ノ方法ニ依ルモ可ナルコト

（六）合併比率ハ左ノ各項ヲ參酌シテ決定スルコト

（イ）收益率（純益金ノ平均拂込資本金額ニ對スル割合）ノ比

（ロ）評價純資產額（評價ハ前掲ノ方法ニ依ル）ノ一株當リ平均額ノ比

（ハ）市場價値ヨリ見タル株價ノ比

（七）合併比率ノ關係上株式交付金ヲ附スル必要アル場合ハ其ノ限度ハ交付株式ノ時價換算額ヲ超エザルコト

（八）事業年度ノ中途ニ於テ合併スル場合配當金ニ代ハル配當交付金ハ從前ノ配當率ニ依ルコト

（九）合併契約ニハ左ニ掲グル條項ヲ必ズ記載スルコト

（A）抱合株ニ付テハ株式ノ割當ヲ爲サザルコト

（B）株式交付金ヲ附スル場合ハ其ノ割合及金額

（C）配當金ニ代ハル交付金ヲ附スル場合ハ其ノ割合及支拂ノ時期

四、役員及社員ノ退職金

（一）一般的事項

新設會社又ハ存續會社ニ引繼ヲ爲ス役員及從業員ニ對スル退職金及解散手當ハ購買力ノ膨脹ヲ防止スルタメ全額ヲ會社經理統制令施行規則第二十四條所定ノ方法ヲ以テ支給セシメ當該證券又ハ通帳ヲ存續會社又ハ新設會社ニ引繼ギ保管セシムルコト

（A）解散會社ガ會社經理統制令ノ適用ヲ受クル會社ニ在リテハ支給許可ノ際又ハ許可ヲ要セザル限度ニ於テ支給スル退職金ニ付テハ事前ニ命令ヲ發スル豫定ナルコト

（B）會社經理統制令ノ適用ナキ會社及個人營業者ノ役員及從業員ニ對スル退職金及解散手當ニ付テモ本要綱ニ準ジ支給セシメ且新設會社又ハ存續會社ニ引繼ギヲ爲ス役員及社員ニ對スル分ハ當該會社ニ引繼ギ保管セシムルコトニ極力勸奬指導スルコト

（二）役員退職金

（イ）役員退職金ハ原則トシテ會社經理統制令ノ不要許可限度ニ依ラシムルコト

（ロ）特別ノ事情ニ依リ（イ）ニ依リ難キ場合ハ常勤役員ニ在リテハ在職中受ケタル報酬總額、非常勤役員ニ在リテハ其ノ八割ノ金額

成例通牒

ヲ限度トシテ許可スル豫定ナルコト

（ハ）役員ニ付テハ退職手當ノ外解散手當ヲ支給セザルコト

（三）從業員退職金及解散手當

（イ）社員ノ退職金ニ付テハ現行準則ノ二割增ヲ限度トスル變更ハ之ヲ許可スル豫定ナルコト但シ現行準則ガ著シク一般會社ノ支給狀態ヨリ良好ナル場合ヲ除ク

（ロ）社員退職金準則ノ制定ナキ會社又ハ給與率ノ著シク劣ル會社ニ在リテハ左ノ給與率ヲ限度トシ準則ノ制定又ハ變更ヲ許可スル豫定ナルコト

勤續年數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇
給與率	〇、五	〇、八	一	二	三	五	六	七	八	一〇	一二	一四	一六	一八	二一	二四	二七	三〇	三三	三六

（ハ）各會社共一年以上ノ勤續者ニモ退職金ヲ支給シ得ルヤウ準則ノ變更ヲ許可スル豫定ナルコト

（ニ）特ニ功勞アリタル者又ハ成績拔群ノ者ニ對スル割當規定ノアルモノニ限リ二割程度ヲ標準トシ適用スベキ範圍ハ嚴選スルコト

（ホ）現行準則ニ最高最低ノ定メアリ給與率ノ幅アルモノニ付テハ此ノ際給與率ヲ確定ナラシムルコト

（ヘ）解散手當ハ引繼直前ニ支給シタル基本給料合計額ノ二月分ヲ限度トスルコト

國民更生金庫共助資金取扱方針

今次貨物自動車運送事業整備ニ際スル國民更生金庫ノ共助資金貸付ニ付テハ左記ニ依リ取扱フモノトス

記

一、事業整備ニ因リ轉廢業ヲナシ存續會社又ハ新設會社ニ出資ヲナサザル事業者ノ營業權、車輛其ノ他一切ノ設備ノ買收費トシテ存續會社又ハ新設會社ニ對シ貸付ヲ行フモノトス

二、車輛其ノ他一切ノ設備ハ存續會社又ハ新設會社ニ於テ引受クルコト

三、統合主體タルベキ事業者ガ資力信用等大ニシテ共助資金融資ノ必要ニ付疑問アルモノニ付テハ豫メ當省ト連絡スルコト

四、償還方法ハ割賦償還トシ貸付期限ハ據置期間一年ヲ含ミ八年トスルコト

五、轉廢業者ノ資產評價ハ轉廢業者資產評價中央委員會決定ノ貨物自動車運送事業者ノ資產評價基準ニ依ルコト

貨物自動車運送事業ノ資產評價基準（昭一七、一二、一〇、轉廢業者資產評價中央委員會答申）

一、國民更生金庫其ノ他同業者團體等ニ於テ引受クル貨物自動車運送事業者ノ資產ノ評價ハ「國民更生金庫引受資產等ノ評價方法基準」（以下評價方法基準ト稱ス）及「土地及建物ノ評價基準」ニ依ルノ外本基準ニ依リ之ヲ爲スモノトス

二、車輛價額ハ當該地方中古車協定價格（當該地方ニ協定價格ナキトキハ東京府協定價格）ニ貨物自動車一輛ニ付普通車二千圓以內、小型車八百圓以內ノ金額ヲ加ヘ地方ノ實情、事業ノ內容、車輛ノ現狀等ヲ斟酌シテ評價スルモノトス

三、當該事業ノ益金額ヲ年八分ノ利率ヲ以テ還元シタル金額ト當該事業ノ興業費トノ平均額（總營業價額）ガ當該事業ヲ組成スル各資產ニ付前號及評價方法基準第一ノ二號ニ依リ算出シタル評價額ノ合計額ヲ起ユル場合ニハ右超過額ヲ前號及評價方法基準第一ノ二號ニ依ル各資產ノ評價額ニ按分加算スルモノトス

前項ノ益金額ハ運輸收入ヨリ營業費（含減價償却額）ヲ控除シタル金額ニ依ルモノトシ最近ノ事業年度末ヨリ遡リ既往三年間ノ平均益金ニ依リ算出スルモノトス

第一項ノ興業費ハ貨物自動車運送事業開始ニ必要ナル貨物自動車ノ取得又ハ建設ノ爲支出シタル實費決算額ヨリ減價償却額ヲ控除シタル金額トス

重要物資輸送確保ノ爲組合統制實施ニ關スル件

（昭和一六、一〇、七、監運第二八九九號
各地方長官宛　監督局長依命通牒）

現下ノ緊迫セル諸情勢ニ鑑ミ重要物資ノ輸送力確保ノ方策ヲ樹立スルコト刻下ノ急務ト認メラレ殊ニ京濱、京阪神及名古屋附近ニ於テハ輸送上ノ重要性特ニ大ナルモノアルヲ以テ本地域ニ付テハ別紙陸上小運送對策實施要綱ヲ決定シ急速ニ本方策ヲ實施スルコトト相成候條貨物自動車運送事業ニ關シテハ貨物自動車運送事業組合ヲシテ別紙統制規程例ニ依リ統制規程ヲ制定シ速ニ運輸ノ統制ヲ實施セシメ重要物資輸送力ノ確保ニ萬遺憾ナキヲ期セラレ度尚統制規程ノ制定竝ニ之ガ實施ニ付テハ左記ノ諸點ニ特ニ御留意ノ上圓滑ナル運用ヲ圖ル樣御指導相成度此段依命及通牒候

追テ本件實施ニ關シテハ關係鐵道局長ト協力相成度

記

一、統制規程例中運輸ノ統制ニ關スル規定ハ六大都市及其ノ近郊ニ於ケル運輸統制ノ方法ヲ示シタルモノニシテ同一事業組合ノ地域内ト雖モ右ノ地區ヲ除キタル地方ニ於テハ必ズシモ之ト同一ノ方法ニ依ルコトヲ要セズ地方ノ實情ニ應ジ適切ナル方法ヲ採ルベキモ重要物資ノ運送ニ當リ組合ヨリ組合支部又ハ組合員ニ對シ運送ノ割當ヲ爲シ得ル樣規定ヲ整備シ置クベキコト

二、六大都市及其ノ近郊ニ於テハ貨物ノ運送ノ引受ハ直接組合ニ於テ之ヲ爲スベキモ左ニ掲グル如ク貨物ノ性質上共同引受ヲ爲スコト不適當ナルモノ又ハ共同引受ノ目的ニ合致ゼサルモノニ付テハ之ヲ共同引受ヨリ除外スルコト

（一）小運送業者ガ運送ノ申込ヲ受ケタル小運送貨物及小運送ニ關聯スル貨物（小運送ニ關聯スル貨物トハ例ヘバ日本通運株式會社ガ軍官衙及工場、官廳、統制會社等ヨリ數府縣又ハ全國ニ亘リ小運送ト併合シテ小運送以外ノ貨物運送ノ元請ヲ爲シタルモノ等ヲ指ス）

（二）區間自動車運送事業者ガ運送ノ申込ヲ受ケタル區間運送貨物

（三）特殊構造ノ車輛ヲ以テ運送スル貨物

但シ組合ニ於テ共同引受ヲ爲サザル右ノ貨物ニ付テモ其ノ運送ヲ爲ス組合員ヨリ所要車輛ノ割當ノ申込アリタルトキハ他ノ組合員ニ對シ之ガ割當ヲ爲スベキコト

三、組合本部ニ於テ運送ノ申込ヲ取纏メ本部ガ運送ノ割當ヲ爲スベキ貨物ハ左ニ掲グル如キモノトスルコト

イ、軍需品及軍關係資材（陸軍ニ付テハ證明書添附ノモノ）

ロ、天災事變ニ因リ緊急運送ヲ要スルモノ

ハ、米穀類、生鮮食料品其ノ他國民生活ニ缺クベカラザル物資

ニ、各種燃料及鑛石

ホ、船舶ニ依ル運送ニ隨伴スル貨物

ヘ、生産擴充用機械及材料

ト、二ノ但書ニ依リ組合員ヨリ車輛ノ割當ヲ要求セルモノ

チ、其ノ他特ニ必要ナルモノ

四、組合支部ハ行政區劃、經濟事情、車輛數等ヲ考慮シ組合ノ統制ニ便ナル樣適當ニ之ヲ設置セシムルコト

五、組合ヲシテ月間輸送力ノ均分ヲ圖ル爲燃料ノ平均使用等ニ付充分留意スルト共ニ組合員ヲモ指導セシムルコト

六、支部ニ於テ運送ノ引受ヲ決定スル貨物ニ付テモ其ノ重要度、緊急性等ヲ考慮シ公正ニ之ガ引受ヲ爲スベキ樣指導スルコト

七、組合支部ト所屬組合員トノ連絡ヲ密ニスル爲組合支部毎ニ懇談會ヲ設クル等適當ナル處置ヲ採ラシムルコト

八、組合ノ收得スベキ運賃ノ收受方法ニ付テハ組合自身ニ於テ之ヲ集金シ又ハ集金ヲ組合員ニ委託スル等種々ノ方法ヲ考ヘ得ラルベキモ組合ノ實情ニ依リ適當ニ之ヲ決定統制規程中ニ入レシムルコト

九、組合ノ爲ス運送ノ割當、收入金ノ取扱方法等ニ付テハ常ニ關係官吏ヲシテ其ノ内容ヲ監査セシメ且之ヲ指導スルコト

十、重要物資ノ輸送トガソリンノ配給トハ重大ナル關係アルヲ以テ事業者ニ對スル特配量ノ決定ニ當リテハ組合責任者ノ意見ヲ徵シ重要物資ノ輸送トリンクセシメ運送ノ實情ニ副フ樣之ガ割當配給ヲ爲スコト

十一、本統制規程ノ制定及變更ニ付テハ關係鐵道局長ト協議スルコト

十二、統制規程ノ制定ト同時ニ別紙檢査員服務懲戒規程例ニ依リ當該規程ヲモ制定セシムルコト

十三、統制規程ニ依ル運輸ノ統制ハ本年十一月一日ヲ目標トシ之ヲ實施セシムル樣一切ノ準備ヲ整ヘシムルコト

十四、既ニ組合ニ於テ議決セル昭和十六年度經費豫算ハ上記ニ依ル運輸統制ノ實施ニ伴ヒ更改ヲ要スルモノト認メラルルヲ以テ至急之ヲ改訂ノ上當省宛提出セシメラルルコト

○○府（縣）貨物自動車運送事業組合統制規程例

第一章　總則

第一條　定款第　條ニ規定スル組合員ノ事業ニ關スル統制ハ法令ノ規定又ハ監督官廳ヨリ特ニ命令アリタル事項ヲ除クノ外本規程ノ定ムル所ニ依リ之ヲ行フ

第二條　本組合ニ理事長ノ諮問ニ應ジ組合員ノ事業ニ關スル統制事項ヲ審議スル爲統制委員會ヲ置ク

統制委員會ハ定款第　條ノ規定ニ依ル事業統制委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條　組合員ノ事業ニ關スル統制事項ニシテ輕微ナルモノ又ハ統制委員會ニ諮ル遑ナキ場合ニ在リテハ理事長之ヲ專決實施スルコトヲ得

第四條　統制委員會ハ必要ニ應ジ理事長之ヲ招集ス

第五條　組合員ノ事業ニ關スル統制事項ハ實施前組合員ニ通知シ且必要ニ應ジ之ヲ本組合事務所ニ掲示スルモノトス

第二章　運輸ノ統制

一、運送ノ共同引受及運送ノ割當

第六條　本組合又ハ組合員ニ對シ運送ノ申込アリタル貨物ニ付テハ左ニ掲グルモノヲ除キ總テ本組合ニ於テ運送ノ引受（以下共同引受ト稱ス）ヲ爲シ組合員ニ對シ之ガ運送ノ割當ヲ爲スモノトス

一　小運送業者ガ運送ノ申込ヲ受ケタル小運送貨物及小運送ニ關聯スル貨物

二　區間貨物自動車運送事業者ガ運送ノ申込ヲ受ケタル區間運送貨物

三　特殊構造ノ車輛ヲ以テ運送スル貨物

四　其ノ他特ニ定メタル貨物

前各號ノ貨物ニ付當該組合員ニ於テ運送能力ナキ爲本組合ニ對シ所要車輛ノ申込ヲ爲シタルトキハ本組合ハ他ノ組合員ニ對シ其ノ割當ヲ爲スモノトス

第七條　共同引受貨物ノ運送契約ハ申込者ト組合トノ間ニ於テ之ヲ締結スルモノトス

第八條　貨物ノ運送申込ハ組合本部、組合支部又ハ組合員ノ營業所ニ於テ之ガ受付ヲ爲スモノトス

第六條第二項ノ規定ニ依ル車輛ノ申込ハ組合本部又ハ組合支部ニ於テ之ガ受付ヲ爲スモノトス

第九條　組合員運送ノ申込ヲ受付ケタルトキハ其ノ運送品ノ品名、數量、申込者名、發著地、運送期日等ヲ所屬ノ組合支部ニ通報スベシ

組合支部ハ當該支部内ノ運送申込中別ニ定ムル重要貨物ニ付テハ運送品ノ品名、數量、其ノ他必要事項ヲ、其ノ他ノ貨物ニ付テハ運送申込總量ヲ、第六條第二項ノ規定ニ依ル車輛ノ申込ニ付テハ申込者名、所要車輛數、車輛ヲ提供スベキ場所及提供期日等ヲ組合本部ニ通報スベシ

第十條　組合本部ハ前條第二項ニ規定スル重要貨物及所要車輛ニ付各支部ニ對シ貨物ノ重要度、當該支部ノ運送能力、運送組合セ等ヲ考

慮シ運送ノ割當ヲ爲スモノトス

第十一條　組合支部ハ組合本部ヨリ運送ノ割當アリタル重要貨物ニ付テハ之ヲ優先セシメ其ノ他ノ貨物ニ付テハ其ノ重要度ヲ考慮シ組合員ニ對シ各組合員ノ有スル運送能力、車輛種別、當該貨物運送ノ經驗、從來ヨリノ荷主關係等ヲ考慮シ運送ノ割當ヲ爲スモノトス

組合支部ハ運送引受不能ノ貨物アルトキハ組合本部又ハ組合支部ニ於テ運送ノ申込ヲ受ケタル貨物ニ付テハ當該荷主ニ、組合員ガ運送ノ申込ヲ受ケタル貨物ニ付テハ當該組合員ニ對シ其ノ旨通知スベシ

第十二條　組合員第十一條第一項及第十五條ノ規定ニ依リ運送ノ割當ヲ受ケタルトキハ正當ノ事由ナキ限リ之ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ

車輛故障其ノ他特別ノ事由ニ因リ組合ヨリノ割當ニ依ル運送ヲ爲シ得ザルトキハ直ニ支部長ニ對シ其ノ旨申出デ指示ヲ受クベシ

第十三條　組合員所屬支部ヨリ運送ノ割當ヲ受ケタルトキハ荷主ニ對シ運送引受ノ通知ヲ爲スモノトス

組合員ガ運送ノ申込ヲ受ケタル貨物ニシテ運送不可能ナルモノアルトキハ其ノ旨荷主ニ通知ヲ爲スモノトス

第十四條　共同引受ヲ爲サザル貨物ノ運送ヲ爲ス組合員ニ於テ其ノ運送能力ニ餘力アルトキ又ハ當該貨物ノ運送ニ當リ片路空車トナルトキハ組合本部又ハ組合支部ニ申出デ運送ノ割當ヲ受クルコトヲ得ルモノトス

第十五條　組合員ハ運送ノ完了地支部ニ於テ歸リ荷ノ割當ヲ受ケ之ガ運送ヲ爲スベシ

第十六條　組合員運送ヲ完了シタル時ハ運送ノ割當ヲ受ケタル組合支部ニ對シ遲滯ナク其ノ旨報告ヲ爲スベシ

第十七條　組合ヨリノ割當ニ基ク運送ニ關シ生ジタル損害ハ其ノ運送ノ割當ヲ受ケタル組合員ニ於テ一切之ヲ負擔スルモノトス

第十八條　組合員ハ毎旬使用シ得ベキ車輛數及燃料量ヲ速ニ組合支部ニ報告スベシ

二、共同引受貨物ノ運賃及料金

第十九條　共同引受貨物ノ運賃及料金ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケタル組合ノ協定運賃料金ニ依ルモノトス

第二十條　本組合ノ收受スベキ運賃及料金ハ組合ノ名ニ依リ之ヲ收受スルモノトス

第二十一條　本組合ハ收受シタル運賃及料金ヲ組合員ノ爲シタル運送ノ實績ニ應ジ組合員ニ交付スルモノトス

本組合ハ前項ノ運賃及料金ノ收受ニ關シ別ニ定ムル所ニ依リ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

三、運輸ノ統制機構

第二十二條　本組合ハ運輸ノ統制ヲ行フ爲組合本部ニ運輸統制部ヲ、組合支部ニ運輸統制係ヲ置ク

運輸統制部ニハ運輸統制部長ヲ、運輸統制係ニハ運輸統制係長ヲ置キ理事長之ヲ任命ス

前項ニ規定スルモノヲ除キ運輸統制部及運輸統制係ノ組織竝ニ事務ノ分掌ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

第三章　其ノ他ノ統制

第二十三條　組合員ノ發行スル縣令自動車交通事業法施行細則第　條ノ規定ニ依ル運賃及運輸ニ關スル料金ノ領收證ノ樣式ハ組合ノ定ムル所ニ依ルモノトス

第二十四條　組合員ノ營業所ニ備付クベキ貨物自動車運送事業運輸設備會計規程第六條ノ規定ニ依ル物品運送ノ受託簿ノ樣式ハ本組合ノ定ムル所ニ依ルモノトス

第二十五條　本組合ハ運輸又ハ運賃ノ統制上必要アルトキハ組合員ニ對シ物資運送ノ實績、組合員ノ事業ニ要スル經費其ノ他ニ付報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十六條　本組合ハ物資配給ノ適正ヲ期スル爲必要アルトキハ組合員ヲシテ其ノ事業上使用スル物資ノ使用狀況ヲ記錄セシメ之ヲ組合ニ報告セシムルコトヲ得

第二十七條　本組合ハ定款第　條ノ規定ニ依リ檢査員ヲシテ左ノ文書物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

一　物品運送ノ受託簿

二　運賃及運輸ニ關スル料金ノ領收證
三　前條ノ規定ニ依ル物資ニ關スル記錄
四　事業上使用スル物資
五　其ノ他必要アルモノ

第二十八條　組合員ハ運轉士又ハ助手ヲ雇入レメルトキハ十日以内ニ本組合ニ報告シ從業員臺帳ニ登錄ヲ求ムベシ

第二十九條　組合員ハ運轉士又ハ助手ヲ解雇シタルトキハ直ニ本組合ニ報告シ從業員臺帳ノ抹消ヲ受クベシ

第三十條　第二十三條乃至第二十七條ノ規定ハ小運送業者タル組合員ニ對シテハ小運送以外ノ運送ニ關スル部分ニ付テノミ之ヲ適用ス

第四章　雜則

第三十一條　本規程ノ施行ニ關シ必要ナル細目ハ理事會ニ於テ之ヲ定ム

第三十二條　本規程ノ施行ニ關シ疑義ヲ生ジタルトキハ統制委員會ニ諮リ理事長之ヲ決ス

自動車運送事業組合事業資金融通取扱ニ關スル件

（昭和一六、八、一二、監運第二二〇四號
各地方長官宛　監督局長通牒）

標記資金ノ融通取扱ニ關シ本日附預社第三三三號ニ依リ預金部長官及鐵道省監督局長名ヲ以テ通牒致候處右ハ自動車運送事業組合ニ對シテモ預金部資金ヲ融通スルノ要認メラルルニ付本年二月一日預金部普通地方資金融通規則ヲ改正シ新ニ標記資金ノ設定セラレタルニ依ルモノニ有之爾今組合ニ於テ本資金ヲ利用セントスルトキハ前記通牒ニ依ルノ外左記ニ依リ御取扱相成度此段及通牒候也

記

一　借受申込組合ガ借受申込書ヲ提出シタルトキハ地方長官ハ當該組合ヲシテ豫メ經由機關ニ對シテモ借受申込ヲ爲サシメ且組合ノ實情調査ヲモ受ケシメ置キ政府ノ資金割當アリタルトキハ直ニ借受ラルル樣指導斡旋スルコト

二　借受申込組合ガ貸付ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ其ノ都度遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ鐵道大臣宛報告スルコト

（一）組合名
（二）借入額
（三）借入年月日
（四）經由機關名
（五）資金ノ用途
（六）償還ノ方法及期限
（七）擔保又ハ保證ノ内容
（八）其ノ他參考トナルベキ事項

三　預金部普通地方資金融通規則取扱規程第十條第一項ノ規定ニ依リ地方長官ガ割當ノ通知ヲ受ケタル後二箇月ヲ經過スルモ借受申込組合ガ貸付ヲ受ケザルトキ又ハ右期間内ト雖借受申込組合ガ貸付ヲ拒絶セラレタルトキハ地方長官ハ借受申込組合ト經由機關トノ交渉ノ經過ヲ具シ遲滯ナク之ヲ鐵道大臣宛報告スルコト

四　地方長官ハ毎年三月末日現在ニ於ケル本資金借受組合ノ資金償還狀況及利子支拂狀況ヲ左記樣式ニ依リ翌月末日迄ニ鐵道大臣宛報告スルコト

昭和　年度　組合事業資金（昭和　年三月三十一日現在）

借受組合名	經由機關	借受年月日	當初借受額	第一回償還期日	最終償還期日	償還方法	元金償還期及利子支拂期到來額 支拂濟額	遲滯額	計	元金殘額
							元金利子	元金利子	元金利子	
							元金利子	元金利子	元金子利	
							元金利子	元金利子	元金利子	
							元金利子	元金利子	元金利子	
合計										

備考

一　本表ハ乘合自動車運送事業組合、旅客自動車運送事業組合又ハ貨物自動車運送事業組合別ニ區分シテ記載シ各小計ヲ附スルコト

二　記載ニ當リテハ融通年度ノ順ニ依ルコト

三　元金償還期及利子支拂期到來額欄ニハ現在迄ノ累計ヲ示スコト

四　据置期間中ノモノ及定期償還ニシテ償還期未到ノモノニ付テモ利子ノ支拂狀況ヲ記載スルコト

五　元金償還遲滯及利子滯納アルトキハ其ノ理由及之ガ善後措置トシテ採リツツアル方法ヲ附記スルコト

自動車運送事業組合事業資金借入申込書及借入申込ニ關スル調書進達方ニ關スル件

（昭和一六、八、一二、預社第三三三號地方長官宛）、
預金部長官、監督局長通牒

標記資金ノ借入申込書進達方ニ關シテハ預金部普通地方資金融通規則實施取扱規程第八條ノ規定ニ依ルノ外借入申込書各通毎ニ別冊樣式ニ依ル調書ヲ添附セシメラレ度尙貴官意見書作成ニ當リテハ左記事項御了知ノ上遲滯ナク御進達相成度此段及通牒候也

記

一、貴官意見書ハ融通順位、當該年度內ニ融通スルヲ適當ト認ムル金額及査定事由等ヲ成ル可ク詳細ニ各借入申込組合別ニ作成添附セラレタキコト

二、左記各號ニ該當スルモノニ付テハ資金ノ割當ヲ減額シ又ハ割當セザルコトアルベキニ付融通順位及金額決定ノ際充分留意アリタキコト

（一）借入申込後借入申込調書ノ提出著シク遲延セルモノ

（二）借入申込調書ノ作成方不充分ニシテ事業計畫等不明ナルモノ

（三）既融通預金部資金ニ付元利延滯アルモノ又ハ既往ノ償還成績良好ナラザルモノ

（四）既融通預金部資金ニ付其ノ使用狀況等ニ關シ不備不當事項ノ通牒ヲ受ケ未ダ其ノ整理完了ニ到ラザルモノ

（五）組合理事者間ニ於テ組合事業其ノ他ニ關シ融和ヲ缺クモノアリト認メラルヽモノ

（別冊）

昭和　年　月　日作成

借入申込調書

一、組合ニ關スル事項

(一) 設立年月日

(二) 目　　的

(三) 地　　區　　道府縣　市郡　町村　組合聯合會

(四) 主タル事務所ノ所在地

(五) 組合員數　　人（地區內有資格者數　　人）

(六) 出資金總額　　圓

(七) 拂込濟出資金總額　　圓

(八) 保證金額總額　　圓

「備　考」 右事項ハ調書作成當日現在ニ依リ記載スルコト

二、組合事業ノ概況

(一) 運賃、運輸其ノ他組合員ノ事業ニ關スル統制

(二) 組合員ノ事業ニ關スル指導、研究及調査

(三) 組合員ノ事業ニ必要ナル共同設備

(四) 組合員ノ事業ニ必要ナル物ノ共同購入

(五) 信用事業（組合員ニ對シテ爲ス其ノ事業ニ必要ナル資金ノ貸付、其ノ事業上ノ債務ノ保證又ハ組合員ノ貯金ノ受入）

(六) 其ノ他組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

「備　考」 各事業ノ最近三年間ノ狀況ヲナルベク計數的ニ說明スルコト

三、資金ノ使用計畫

(一) 資金ヲ必要トスル理由

從來ノ資金又ハ施設ノ狀況及從來ノ資金又ハ施設ニテ不充分ナル理由ヲ用途別且計數的ニ說明スルコト

(二) 事業ノ說明

事業ノ概要ヲ說明シ且本事業ノ收支見込等ニ付記述シタル上尙左記ニ依リ今回借入レントスル資金算定ノ基礎ヲ用途別ニ明カナラシムルコト

イ、統制事業資金

(1) 所要資金ノ使途

運賃ノ統制＝何　圓

運輸ノ統制＝何　圓

何々ノ統制＝何　圓

「備　考」 各項目ノ大體ノ內容ヲ說明スルコト

(2) 資金所要額　何　圓

〔分賦金　何　圓

資金調達方法
- 自己資金　何　圓
- 借入金　何　圓
- 補助金　何　圓
- 其ノ他何々　何　圓
- 本資金　何　圓

ロ、指導、研究及調査費金

(1) 所要資金ノ使途

指導＝何　圓
研究＝何　圓
調査＝何　圓

「備考」各項目ノ大體ノ内容ヲ説明スルコト

(2) 資金所要額　何　圓

資金調達方法
- 分賦金　何　圓
- 自己資金　何　圓
- 借入金　何　圓
- 補助金　何　圓
- 其ノ他何々　何　圓
- 本資金　何　圓

ハ、共同設備資金（設備ニ伴フ運轉資金ヲ含ム）

(1) 設備ノ種類及構造
(2) 建設場所
(3) 工事着手及竣工豫定年月日
(4) 設備運用ノ樣式（組合員ノ直接利用ナリヤ組合ノ使用スルモノナリヤノ別）
(5) 事業費　何　圓
- 内譯
  - 何々（數量、單價）　何　圓
  - 何々（數量、單價）　何　圓

(6) 資金所要額　何　圓
- 資金調達方法
  - 自己資金　何　圓
  - 借入金　何　圓
  - 補助金　何　圓
  - 其ノ他何々　何　圓
  - 本資金　何　圓

(7) 共同設備ニ要スル物資需要調（設備費總額三萬圓以上ノモノニ付記載スルコト）

品目	數量	單價	金額	摘要
鋼材	瓲	圓	圓	

銑鐵	
銅材	
鉛	
木	石
何々	
何々	
何々	
何々	
合計	

「備　考」

一、設備ニ伴フ運轉資金（消耗品、工賃等）ニ在リテハ共同購入資金、貸付事業資金ノ例ニ準ジ説明スルコト

二、財源ニ補助金アルモノニシテ補助指令アリタルモノニ付テハ其ノ寫ヲ添附シ未ダ補助指令ナキモノニ付テハ其ノ根據ヲ説明シ尚將來見込ミタル補助金額減額セラルルカ又ハ補助ヲ受ケラレザルニ至リタル場合ノ處置ヲ附記スルコト

三、前記重要物資ヲ必要トスル事業ニ在リテハ物資調達ノ見込確實ナル根據ヲ摘要欄ニ記載スルコト

四、機械、器具等ヲ購入スルモノニ在リテハ物資需要調ニ各製品毎ニ數量、單價、金額ヲ記載摘要欄ニ之ガ調達ノ見込確實ナル根據ヲ説明スルコト

ニ、共同購入資金（事業施行方法ガ任意ナリヤ强制ナリヤノ別ヲ明記スルコト）

(1) 本年度共同購入豫想高　何　圓

内譯 何々（數量、單價）何　圓

何々（數量、單價）何　圓

(2) 購入先竝ニ購入先トノ決濟期間

(3) 組合ニ於ケル在庫見込期間

(4) 組合員トノ決濟期間

(5) 資金ノ回轉數

(6) 資金所要額　何　圓

資金調達方法
- 自己資金　何　圓
- 借入金　何　圓
- 買掛金　何　圓
- 本資金　何　圓

「備　考」● 從來ヨリ共同購入事業ヲ行ヒ居ル場合ニハ最近一ヶ年間ニ於ケル月別取扱實績表（品目別ニ購入數量及金額ヲ記載スルコト）ヲ添附スルコト

ホ、貸付事業資金

(1) 本年度貸付豫想高　何　圓

内譯 何々　何　圓

何々　何　圓

成例通牒

「備　考」　内譯ハ貸付期間別ニ記載スルコト

(2)　貸付組合員數

(3)　一組合員ニ對スル貸付最高豫定額

(4)　貸付資金ノ用途

(5)　貸付方法

(6)　貸付利率

(7)　貸付期間

(8)　回收方法

(9)　信用評定方法

(10)　資金所要額　何　圓

資金調達方法
- 自己資金　何　圓
- 借入金　何　圓
- 其ノ他何々　何　圓
- 本資金　何　圓

四、負債償還計畫

(一)　今回借入レントスル資金ノ償還財源

具體的ニ計數ヲ擧ゲテ説明シ分賦金、手數料、使用料、財産賣却其ノ他特殊財源ニ付テハ内容ヲ説明スルコト

(二)　借入申込年度以降負債償還豫定表

年度別	償還額				償還財源				
	預金部資金			其ノ他借入金	計	分賦金	手數料	補助金	何々
	既借入分	今回借入見込分							
計	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

「備　考」　毎年度償還額ハ賦金ヲ記入シ元利區分ヲ要セズ

五、負債狀況

借入先	資金ノ種類	用途	借入金額 當初	借入金額 現在	利率	借入年月日	償還方法及期限	元利延滯 區別	元利延滯 回數	元利延滯 金額	摘要
合計			圓	圓	割分厘	昭和年月日		元金利子 元金利子 元金利子 元金利子		圓	

「備　考」

一、調書作成當日現在ニテ記載スルコト

二、預金部資金ト其ノ他ノ資金ハ區別シテ記載シ各小計ヲ附スルコト

三、舊債借換資金ノ用途ハ元用途ヲ記載シ括弧内ニ舊債借換ト附記スルコト

四、借入現在額ニハ延滯元金ヲ含メタルモノヲ記入スルコト

五、借入金中使用未濟額又ハ元利延滯額アルモノニ付テハ其ノ事由及處置方法ヲ説明スルコト

六、財務狀況

（財務狀況ハ最近三事業年度ニ付記載スルコト但シ貸借對照表、收支決算書、剩餘金處分書ノ添附ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得）

（一）資産狀況

借方					貸方				
摘要	金額				摘要	金額			
	昭和　年度	昭和　年度	昭和　年度			昭和　年度	昭和　年度	昭和　年度	
	圓	圓	圓			圓	圓	圓	
合計					合計				

（二）收支狀況

收入					支出				
摘要	金額				摘要	金額			
	昭和　年度	昭和　年度	昭和　年度			昭和　年度	昭和　年度	昭和　年度	
	圓	圓	圓			圓	圓	圓	
小計					小計				
（繰越金）					（繰越損失金）				
損失金					剩餘金				
合計					合計				

「備　考」

損失金ヲ生ジタル年度又ハ摘要ノ金額ニ著シキ增減アリタル場合等ニ付テハ之ガ事由ヲ説明スルコト

（三）剰餘金處分狀況

摘要	昭和　年度	昭和　年度	昭和　年度	備考
收入 本年度剰餘金				
前年度繰越剰餘金				
計	圓	圓	圓	
支出 法定準備金				
別途積立金				
職員退職手當基金				
何々積立金				
配當金				
次年度繰越剰餘金				
計				

「備考」

損失金ヲ生ジタル年度ニ於テハ摘要欄ニ之ガ種目ヲ掲ゲ赤數字ヲ以テ其ノ處分狀況ヲ記載スルコト

七、組合員ノ營業狀況

最近三ヶ年間ニ於ケル所屬組合員ノ營業ノ概況ヲ年度別ニ説明スルコト

八、其ノ他參考事項

九、添附書類

最近一事業年度ノ事業報告書、財産目錄及調書作成當日現在ニ於ケル殘高試算表、組合ノ借入額ノ最高限度ニ關スル總會又ハ總代會ノ決議錄ノ謄本

自動車運送事業組合ノ役員ノ身分ニ關スル件

（昭和一六、三、一二、監陸第三六六號一）
横濱市長宛　監督局長回答）

本年二月二十六日附十六電業發第三八八號ヲ以テ自動車運送事業組合ノ理事又ハ監事タリ得ベキ者ノ身分ニ關シ伺出有之候處自動車運送事業組合令第六條ニ所謂「組合員タル資格ヲ有スル法人ノ業務ヲ執行スル役員」トハ當然其ノ職務トシテ法人ノ業務ヲ執行スルノ權限ヲ有スル者ノ謂ニシテ公共團體ニ於テハ市長、市助役等ガ右ノ役員ニ該當スルハ勿論ナルモ公共團體ニ於テ右以外ノ職員ニ對シ其ノ業務執行ノ權限ノ一部ヲ委任セルガ如キ場合ニ於テハ其ノ職務ヲ委任セラレタル者モ亦委任セラレタル範圍ニ於テ右ノ役員ト解シテ可ナルモノト被存候間自動車運送事業ニ關スル貴市ノ業務執行ノ權限ガ電氣局長ニ委任セラレアルナラバ電氣局長ハ當然右資格ヲ有スルモノト解シ支障無之キモノト認メラレ候尚市制第七十八條第二項ハ有給市長等一定ノ職員ガ會社ノ役員又ハ事務員等ニ就任若ハ雇傭セラルルコトヲ禁止セルモノニシテ自動車運送事業組合等ノ場合ニハ適用無之樣認メラレ候條併セテ承知相成度

横濱市長照會（昭和一六、二、二六、一六電業發第三八八號）

左記ノ疑義ニ付午御手數折返シ何分ノ御指示相煩度候也

通牒

記

一、市電氣局長ハ自動車運送事業組合令ニ依ル組合理事又ハ監事タルコトヲ得ルヤ

理由

陸上交通事業調整法第七條ニ依レバ市制第七十七條及第七十八條ノ規定ヲ適要セザル旨ノ規定アルヲ以テ市長又ハ其ノ指名シタル吏員ハ商行爲ヲ業トスル法人ノ取締役又ハ監査役トナリ得ルガ如シト雖モ組合令ニ依ル組合ノ役員ニ付テハ組合令中該當規定ヲ發見セズ然レドモ令第六ニ依レバ「組合員タル法人ノ業務ヲ執行スル役員中ヨリ之ヲ選任ス」トアルヲ以テ市ノ事業タル乘合自動車ノ業務ヲ擔任スル電氣局長ノ如キ職ニ在ル者ヲシテ組合ノ役員タラシメ得ルモノト解シ得ラルルガ如シ

自動車運送事業組合ノ發行スル受取書ノ印紙稅ニ關スル件

（昭和一七、一〇、二四、監運第一七七五號全貨聯、全乘聯、全客聯各會長宛　監督局長通牒）

自動車運送事業組合及同聯合會ノ發行スル受取書ニ對シ印紙稅ヲ要スルヤ否ヤニ付テハ些カ疑義有之候處今般大藏省トモ打合ノ上右ハ印紙稅法第五條第十四號ニ依リ印紙稅ヲ要セザルモノト決定致シ候條會員ニ其ノ旨指示相成度此段爲念及通知候

第二節　小運送業法關係

小運送對策ニ關スル件

（昭和一六、九、一八、鐵運乙第一五〇九號各鐵道局長宛運輸局長、監督局長依命通牒）

國際情勢ノ緊迫化ニ伴フ小運送對策ニ付テハ曩ニ七月二十三日監運第一二一四號ヲ以テ依命通牒候處其ノ後ニ於ケル諸般ノ情勢ハ小運送能力ノ極度ノ逼迫ヲ豫想セラレ之ガ對策ハ刻下ノ重大問題タルベク被存候間左ノ方針ニ依リ實施相成度此段依命通牒候

記

第一　六大都市及之ニ準ズベキ都市ニ於ケル小運送業者ノ統合ニ關スル對策ニ付テハ別紙（一）陸上小運送對策ノ通リ決裁アリタルヲ以テ之ニ依ルコト

第二　前記對策ニ基ク小運送業者ノ統合ハ差當リ東京、横濱、大阪、名古屋、京都及神戸ノ各都市ニ付別紙（二）實施計畫要綱ニ基キ實施スルコト、右以外ノ之ニ準ズベキ都市ニ付キ實施セントスル場合ハ豫メ本省ノ指示ヲ受クルコト

第三　六大都市以外ノ都市ニ付テハ概ネ左ニ依ルコト

（一）一驛二店以上ノ個所又ハ下請業者ノ並存セル個所ニ於テハ努メテ經營ノ一元化ヲ圖ルコト、已ムヲ得ザル場合ニ於テモ共同作業體又ハ共同經營體ヲ結成セシムルコト

（二）小運送業者ト貨物自動車運送事業者、荷馬車業者等トノ統合ニ努メ小運搬業者ヲ極力吸收セシムルコト

（三）必要アル場合ハ一都市又ハ一經濟地域一店ニ集約セシメ得ルコト

（四）前各號ニ付キ日本通運株式會社ヲシテ必要ナル援助ヲ行ハシメ得ルコト

第四　町村程度ノ地域ニ於テハ其ノ具體的事情ニ基キ鐵道局ニ於テ適當ナル方策ヲ樹立スルコト但シ農產、林產物等ノ產地ノ小運送及鑛石等ノ生擴資源ノ小運送ニ付テハ特ニ留意ノ上必要ニ應ジテハ一線區又ハ一經濟地帶ヲ單位トスル小運送業者ノ集約ヲ爲サシメ得ルコト

第五　前各號ニ依ル經營形態ノ整備ニ付テハ行政的慫慂ニ依リ行フヲ原則トスルモ必要アル場合ハ法規ノ發動ニ依リ得ルコト

通牒

第六、經營形態ノ整備ヲ行フノ外左ノ事項ヲ實施スルコト

(一) 小運送作業ノ計畫化ト鐵道側指導ノ徹底ヲ期スルコト

(二) 貨物自動車運送事業組合、荷馬車組合等ヲシテ小運送ヘノ優先配車ヲ爲サシムル爲小運送協議會等ニ依リ常ニ緊密ナル連絡ヲトラシムルコト

(三) 貨物自動車ニ對スル依存ヲ成ル可ク少カラシムル方策ヲ樹立シ最惡ノ場合ニ於ケル各種小運搬具ノ利用方法ニ付キ研究スルコト

(四) 荷捌所、貨物置場、一時保管場所等ノ設備又ハ用地ノ確保ニ努メシムルコト

(五) 勞務員確保ニ付キ關係方面トノ連絡ヲ緊密ニシ宿舍、食糧、勞働用物資等ノ確保ニ努メシムルト共ニ奉仕勞働力ノ利用方ニ付テモ豫メ連絡シ置クコト

(六) 防空下ニ於ケル作業確保方ヲ研究スルコト

(七) 地方鐵道、軌道、バス、水運ノ利用及都市ニ於ケル集配所設置等ノ補足手段ニ付研究シ可能ナルモノヨリ逐次實施スルコト

第七 貨物及手小荷物ノ取扱及輸送ニ付キ小運送對策上有效ナルモノ(例ヘバ集配區域ノ改正ノ如キ)アルトキハ急速ニ稟申スルコト

第八 適當ナル機會ニ加盟店會又ハ指定店會ヲ開催シ小運送業者ニ對シ趣旨ノ徹底ヲ圖リ其ノ決意ヲ促スコト

六大都市小運送業者統合計畫實施要領

一、東京、大阪、名古屋、横濱、京都、神戸各市所在ノ各驛ヲ取扱驛トスル業者ヲ總テ包含スルコト

二、川崎及京阪神間ノ中間都市所在ノ業者ニ付テハ適當ニ右大都市統合計畫ノ中ニ包含セシムルコト

三、社線業者ニ付テモ右各都市所在メモノハ包含スルヲ原則トシ之ニ據リ難キ事由アルトキハ事情ヲ具シテ本省ノ指示ヲ受クルコト

四、市域外ノ隣接驛ノ業者ニ付テモ之ヲ包含セシムルコトヲ便宜トスル場合ハ包含スルコト

五、業者ハ免許業者全部トシ限定免許業者ニ付テハ作業統制ノ必要性ニヨリ考慮シ本省ノ指示ヲ受クルコト

六、海陸小運送兼業者ノ中水上ヲ主トスルモノニ付テハ陸上部門ヲ切離シ統合スルコトヲ原則トスルモ尙具體的事情ヲ調査ノ上意見ヲ附シテ本省ニ具申スルコト

七、倉庫業者ニシテ小運送業ヲ兼營スルモノハ小運送業ヲ切離シ統合スルコトヲ原則トシ之ニ據リ難キ場合ハ本省ノ指示ヲ受クルコト

八、下請業者タル勞務團體ニ付テモ成ル可ク之ヲ同時ニ統合スルコト

九、買收又ハ合併ハ資金其ノ他手續關係ノ都合モ有之ヲ以テ具體的ニハ日通ト打合ノ上決定スルコト

一〇、買收又ハ合併協定ハ東京、大阪及名古屋ノ三市ニ付テハ遲クモ十月十五日迄ニ處理スルコト

買收又ハ合併實施前ニ於テモ十一月一日ヨリ日通ヲシテ統合運營ヲ開始セシムルコト

一一、買收又ハ合併協定ノ成立セザルトキハ鐵道局長ニ於テ決定スルトコロニ依ラシムルコト

陸上小運送對策實施要綱

一 鐵道小運送部門

(1) 省ハ日本通運株式會社ヲシテ必要地域内ニ於ケル鐵道小運送業ヲ合併買收セシメ事業ノ一元的運營ヲ行ハシムルコト

(2) 省ハ日本通運株式會社ヲシテ鐵道小運送業ノ專屬借入及下請ノ車輛ヲ極力買上ゲシムルコト

(3) 省ハ相當數ノ省有貨物自動車ヲ以テ鐵道小運送能力增强ニ付援助スルコト

(4) 貨物自動車運用效率ノ增大ヲ圖ラシムルト共ニ鐵道小運送用貨物自動車ハ特別ノ事情アル場合ノ外他ノ用途ニ使用セシメザルコト

(5) (1)及(2)ノ場合ニ於ケル日本通運株式會社ノ所要資金調達ニ付省ハ援助ヲ與フルコト

(6) 其ノ他、省荷電、特定ノ鐵道、軌道、水運ノ補助的利用ヲ始メ旅客自動車ノ改造使用、代燃車ノ增加、荷牛馬車ノ可及的使用、更ニ鐵道小運送從業員ノ確保等ヲ圖リ以テ鐵道小運送能力ノ增强ヲ期スルコト

二　一般貨物運送部門

(1)　現存事業組合ノ强化ヲ爲シ省ノ指導ニ依リ新ニ統制規程ヲ制定セシメ組合ヲシテ共同引受、共同配車、共同集金、資材ノ共同配給等ノ方法ニ依リ重要物資優先輸送ノ實ヲ擧ゲシムルコト

(2)　組合ノ下部機構トシテ適當ナル地域毎ニ組合支部ヲ設ケ組合ノ指示ニ從ヒ其地域内ニ於ケル統制ノ事務ヲ行ハシムルコト

(3)　組合ノ爲ス統制事務ノ遂行ヲ圓滑ナラシメ且事業經營ノ合理化ヲ圖ル爲組合ヲ强力ニ指導シテ支部内ノ業者ノ統合ヲナサシムルコト（合併、買收、經營ノ委託等）

(4)　省ハ監督權ニ基キ組合及組合支部ヘ職員ヲ派シ配車計畫、配給計畫樹立ニ參畫シ統制規程實施ノ監督ヲ爲シ兼ネテ鐵道小運送部門トノ連絡協調ヲ圖ラシムルコト

三　自家用貨物運送部門

自家用貨物自動車ハ特ニ重要ナル物資ノ輸送ニ使用セラルルモノヲ除キ之ヲ事業者ニ讓渡セシメ以テ一般陸上小運送能力增强ニ資スルコト

尙重要物資輸送ニ使用セラルルモノト雖モ使用率ノ低キモノ亦同ジ

六大都市以外ノ小運送業ノ整備ニ關スル件

（昭和一七、一、一六、監運第五七號各鐵道局長宛）
（運輸局長、監督局長依命通牒）

戰時下諸般ノ情勢ニ鑑ミ陸上小運送能力ヲ確保增强シ運賃料金ノ公正ヲ維持シ鐵道輸送ヘノ緊密ナル協力ノ下ニ物資ノ圓滑ナル輸送ヲ圖ルノ要極メテ緊切ナルモノアルヲ以テ六大都市以外ノ地方ニ於ケル小運送業ニ付テモ之ガ整備强化ヲ圖ル爲左記各號ニ依リ統制實施相成度此段依命及通牒候

記

一、左記各都市ニ於ケル小運送業ハ日本通運株式會社ヲシテ統合一元的運營ヲ爲サシムルコト

東　鐵　横須賀市、千葉市、立川市、宇都宮市、高崎市、前橋市、水戸市、浦和市、大宮市、沼津市、三島市、濱川町

名　鐵　豐橋市、四日市市、金澤市、富山市、靜岡市、伏木町、濱松市、岐阜市、甲府市

大　鐵　姫路市、飾磨市、加古川町、東舞鶴市、和歌山市、米子市、松江市、津市、鳥取市、八日市町

廣　鐵　廣島市、吳市、德山市、下關市、宇部市、小野田市、倉敷市、玉野市、高松市、丸龜市

門　鐵　門司、折尾間各都市及若松市、福岡市、佐世保市、熊本市、八代市、三角町、鹿兒島市、長崎市、久留米市、佐賀市、大分市

仙　鐵　仙臺市、鹽釜市、青森市、郡山市、福島市、弘前市、盛岡市、會津若松市

新　鐵　新潟市、秋田市、酒田市、鶴岡市、長岡市、松本市、山形市、長野市

札　鐵　函館市、札幌市、小樽市、留萌町、旭川市、釧路市、室蘭市、帶廣市、稚内町

二、右以外ノ地方ニ於ケル小運送業ハ鐵道局長ニ於テ必要ニ應ジ線區別又ハ地區別統合ヲ爲サシムルコト

三、遞信省指定港灣ニ於ケル海陸小運送業ノ統合ハ左ノ各號ニ依ルコト

(一)　青森港、東岩瀨港及留萌港ハ日通ヲシテ海陸一貫的ニ統合セシムルコト

(二)　此際海陸一貫的統合ヲ爲シ得ザル港ニ於テハ海陸連絡作業ノ圓滑ヲ期スル爲適當ナル連絡方法ヲ講ズルコト

四、第二號ノ地區ニ於ケル日通ノ統合助成ハ主トシテ融資ノ方法ニ依ルコト

五、第一號ノ統合ハ一月二十日ヲ期シ一齊ニ各局ニ於テ適宜ノ方法ニ依リ發表スルコト

六、日通ノ運營開始豫定期日ハ概ネ三月十一日ヲ目標トスルコト

七、第一號ノ合併比率及買收價額ノ算定基準ハ六大都市ノ例ニ依ルコト

日通統合計畫實施要領

(一) 指定都市近接驛ノ業者ニシテ統合セシムルヲ適當トスルモノハ之ヲ包含セシメルモ差支ナキコト

(二) 社線業者ヲ包含セシムル必要アルトキハ本省ノ指示ヲ受ケルコト

(三) 業者ハ免許業者全部トシ限定免許業者ニ付テハ作業統制ノ必要性ニヨリ考慮シ本省ノ指示ヲ受クルコト

(四) 倉庫業者ニシテ小運送業ヲ兼營スルモノハ小運送業ヲ切離シ統合スルヲ原則トスルモ之ニ據リ難キ場合ハ本省ノ指示ヲ受クルコト

(五) 下請業者ニ付テモ成ル可ク之ヲ買收スルコト

(六) 買收又ハ合併ハ資金其ノ他ノ手續關係ノ都合モ有之ヲ以テ具體的ニハ日本通運株式會社ト打合ノ上決定スルコト

(七) 買收又ハ合併協定ノ成立セザルトキハ鐵道局長ニ於テ決定スルトコロニ依ルコト

小運送業團體改組ニ關スル件

(昭和一七、六、二七、監運第一一九三號各鐵道局長宛、監督局長、運輸局長依命通牒)

全國主要地域ニ於ケル日本通運株式會社ノ現業直營竝ニ線區統合ノ逐次完成スルニ伴ヒ小運送業界ノ體制ハ一變シ從來ノ指定店會、日本通運株式會社ノ加盟店會ノ組織及機能ハ著シク現狀ニ適セザルニ至レルヲ以テ再編成後ノ小運送業體制ニ卽應セル新小運送業團體ヲ結成スルコトニ相成候條貴管内免許小運送業者ニ對シ別紙小運送業會設立要綱ニ基キ日本通運株式會社ヲ母體トシテ局小運送業會及運事小運送業會ノ設立竝ニ鐵道局管内指定店聯合會及運輸事務所管内指定店會ノ解散方御指示相成度此段依命及通牒候

追テ指定店會及加盟店會ノ職員ハ日本通運株式會社ニ、財産ハ小運送業會ニ引繼ガシムル樣措置相成度

尙指定店規程ノ廢止ニ伴ヒ指定店規程内規モ廢止セラレ候ニ付御了知相成度

小運送業會設立要綱

一、理由

日通ノ全國主要地域ニ於ケル現業直營ハ開始セラレ其ノ他ノ地域ニ於ケル地區統合モ逐次完成ヲ見ツツアリ此處ニ小運送業界ノ體制ハ一變シ從來ノ指定店會及日通ノ加盟店會ノ組織及機能ハ現狀ニ適セザルニ至リ且貨物運送制度ノ改正ニ依リ日通元請業務ハ擴大セラレタルヲ以テ新ニ統一的ナル小運送業ノ團體ヲ結成シ國有鐵道トノ表裏一體性ノ實現ト共ニ日通ノ統制力ノ透徹ヲ圖ルヲ要ス

二、方針

(一) 鐵道輸送ト小運送トヲ通ズル作業ノ一體化ヲ圖リ之ニ對スル鐵道ノ指導性ヲ徹底セシムル爲新團體ノ組織ハ其ノ基底ヲ現業店所ニ置クト共ニ鐵道ノ業務組織ト一致セシムルコト

(二) 業者ニ對スル統制ハ之ヲ日通自身ノ職能トシ新團體ハ之ヲ現場ノ末端ニ浸透シ現場ト日通中樞部ト連絡ヲ圖ルヲ機能トスルコト

(三) 新團體ニ對スル鐵道省ノ運營上ノ監督ヲ明確ニスルコト

三、新團體ノ構成

(一) 新團體ハ小運送業會トシ運事單位ニ運事小運送業會ヲ置クコト

運事小運送業會ノ會員ハ運事所管内(社線ヲ含ム)ノ免許小運送業者ノ各驛毎ノ現業店所トシ店所ノ責任者ヲ以テ代表トスルコト

但シ免許小運送業者ノ代表者ガ現業店所ノ責任者ニ非ザル場合ハ其ノ代表者ハ會員タル資格ヲ有スルモノトスルコト

運事小運送業會ハ適宜地區ヲ定メテ分會ヲ置クコト

分會ノ構成役員竝ニ運用ニ付テハ鐵道局長ノ定ムルトコロニ依ルコト

(二) 局單位ニ局小運送業會ヲ設置スルコト

局小運送業會ノ會員ハ運事小運送業會トシ運事小運送業會ノ會長及副會長ヲ以テ代表トスルコト

(三) 東京ニ全國小運送業會ヲ設置スルコト

全國小運送業會ノ會員ハ局小運送業會トシ局小運送業會ノ會長及副會長ヲ以テ代表トスルコト

(四) 役員

イ、運事小運送業會ニハ會長一名、副會長二名、評議員若干名ノ役員ヲ置クコト、評議員ハ會員ノ代表者中ヨリ所管運輸事務所長ノ、會長及副會長ハ評議員中ヨリ鐵道局長ノ指名スル所ニヨルコト

運事小運送業會ニ顧問若干名ヲ置キ得ルコトトシ業界功勞者ヲ以テ之ニ充テ會議ニ列席セシムルコト

ロ、局小運送業會ニ會長一名、副會長二名ヲ置キ會長ハ日通支社長ヲ充テ副會長ハ會員ノ代表中ヨリ會長之ヲ指名シ鐵道局長ノ認可ヲ受クルコト

局小運送業會ニ顧問若干名ヲ置キ得ルコトトシ業界功勞者ヲ以テ之ニ充テ會議ニ列席セシムルコト

ハ、全國小運送業會ニ會長一名、副會長一名ヲ置キ會長ハ日通社長ヲ、副會長ハ日通副社長ヲ以テ之ニ充ツルコト

全國小運送業會ニ顧問若干名ヲ置キ得ルコトトシ業界功勞者ヲ以テ之ニ充テ會議ニ列席セシムルコト

(五) 各小運送業會ニ職員ヲ置クコトヲ得ルコト、職員ハ幹事又ハ書記トシ日通ノ職員ヲ以テ囑託スルコト

四、會議

會議ハ運事小運送業會ニ在リテハ評議員會及總會、局小運送業會及全國小運送業會ニ在リテハ總會トシ定時及臨時ノ二種ニ分チ會長

之ヲ招集スルコト關係鐵道當局及日通ヨリ要求アルトキハ會長ハ何時ニテモ會議ヲ招集スルコト

運事小運送業會ノ特ニ重要ナラザル案件ハ評議員會ノ議決ニ依ラシムルコト

日通役員竝ニ關係職員ハ運事小運送業會、局小運送業會及全國小運送業會ノ會議ニ列席シ意見ヲ述ブルコトヲ得ルコト

關係社線ノ代表者ハ運事小運送業會ノ會議ニ列席シ意見ヲ述ブルヲ得ルコト

五、小運送業會ノ事業

(一) 小運送作業及鐵道業務ノ代行ニ關シ鐵道當局ト小運送業者トノ連繫ニ關スル事項

(二) 日通ノ行フ小運送業務ノ統制竝ニ元請業務ニ關シ日通ト小運送業者トノ連絡ニ關スル事項

(三) 其ノ他小運送業ノ發達助成ヲ圖ルニ必要ナル事項

六、經費

(一) 運事小運送業會ハ會員ヨリ會費ヲ徵收シ得ルコト但シ免許小運送業者ノ代表者ガ現業店所ノ責任者ニ非ザル場合ニシテ會員タルモノニ在リテハ會費ハ之ヲ徵集セザルコト

(二) 局小運送業會及全國小運送業會ノ經費ハ各會員ノ負擔トスルコト、

(三) 日本通運ヨリ補助金ヲ交付スルコト

七、指定店制度トノ關係

現行指定店規程及同內規ハ之ヲ廢止スルコト

指定店規程中表彰ニ關スル事項ハ別途表彰規程ヲ制定スルコト

八、加盟店會トノ關係

加盟店規程中加盟店會ニ關スル條項ハ削除シ加盟店會ハ解消シ加盟契約ニ基ク打合其ノ他ニ付テハ小運送業會ヲ利用スルコト

九、鐵道ノ監督及指導

(一) 運事小運送業會、局小運送業會及全國小運送業會ノ會則ハ夫々運輸事務所長、鐵道局長及鐵道大臣ノ認可ヲ受ケシムルコト豫算ノ編成、會費ノ徴收ニ付亦同ジ

(二) 鐵道關係官ハ隨時會議ニ出席シ得ルモノトスルコト

(三) 運輸事務所長、鐵道局長及鐵道大臣ハ夫々運事小運送業會、局小運送業會、全國小運送業會ノ事業ヲ監督シ、役員ノ解任及會則ノ變更ヲ命ジ又ハ事業ノ開始又ハ運營ニ付必要ナル命令ヲ爲シ得ルモノトスルコト

小運送運賃料金收受方ニ關スル件

（昭和一八、二、一七、事業第六八號　長野縣知事宛　業務局長回答）

昭和十七年十一月四日一七農水第八四一號照會ニ係ル首題ノ件左記ノ通及回答候也

一、到著貨物ヲ驛ニ近接セル倉庫ニ倉入スル場合ニ爲ス運搬作業ガ入庫作業トナルヤ配達作業トナルヤノ區別ハ倉庫ノ所有者ノ如何ニ依ルベキモノニアラズ行爲ノ性質ニ依リ決定スベキモノニシ其ノ行爲ガ引渡若ハ之ニ準ズル行爲ト認ムベキモノナルトキハ配達作業トナリ然ラザルトキハ入庫作業トナル從ツテ前者ノ場合ハ配達料ヲ、後者ノ場合ハ入庫料ヲ收受スベキモノト解ス尙配達先ガ營業倉庫ナルトキハ倉庫業者トシテノ倉入、拼付等ノ作業ニ對スル報酬ヲ收受スルコトヲ得

二、小運送業法上ノ入庫料ヲ適用スベキ倉庫ハ驛ニ近接セル箇所ニ在ルモノニ限ラレ然ラザルモノハ配達料ヲ收受ベキモノト解ス

小運送業及貨物自動車運送事業統合手續ニ關スル件

（昭和一七、一、二一、監運第八一號　各地方長官宛　監督局長通牒）

小運送業ノ整備强化ヲ圖ル爲全國主要都市其ノ他ノ地域ニ付小運送業ノ統合ヲ行フコトト相成候ニ付テハ小運送業者ニシテ貨物自動車運送事業ヲ兼營スル者ノ會社ノ合併又ハ兩事業ノ讓渡ニ際シテノ臨時資金調整法ニ關スル書類ハ小運送業關係及貨物自動車運送事業關係ヲ併セテ鐵道局長經由ニテ提出セシメ大藏、商工兩省トノ協議成立シタルトキハ本職ヨリ當該小運送業者名及其ノ兼營スル貨物自動車運送事業ノ内容其ノ他必要事項ヲ貴官宛通知シ貴官ニ於テハ本通知アリタル事業者ノ會社ノ合併又ハ貨物自動車運送事業ノ讓渡ニ付テハ臨時資金調整法ニ關スル昭和十二年十月十二日附監雜第七六〇號依命通牒ニ依ル鐵道大臣ニ對スル稟伺ハ之ヲ省略スルコトニ致シ度尙斯カル事案ニ付テハ豫メ關係鐵道局長ヨリ貴官ニ對シ充分商議スルコトトシ且昭和十六年當省訓令第一號第六條ニ依ル貴官ヨリノ鐵道局長ニ對スル商議ハ之ヲ省略スルコトニ致シ度此段及通牒候

追テ本件ニ關シ別紙寫ノ通各鐵道局長宛通牒致シ置キ候間了知相成度

臨時資金調整法ニ關スル件

（昭和一七、六、三〇、監經第二五七〇號　各鐵道局長宛　監督局長通牒）

小運送業統合ニ依リ會社設立ノ場合ニ於ケル臨時資金調整法ニ關スル處理ハ左記ニ依リ御取扱相成度此段及通牒候

記

一、小運送業、貨物自動車運送事業ノミヲ目的トスル場合ニ限リ小運送業ノ讓渡認可申請書ニ資金調整ノ協議ニ要スル書類ヲ添附セシムルコト

二、小運送業、貨物自動車運送事業ノ外ニ倉庫業、勞務請負業等ヲ目的トスル場合ハ臨時資金調整法施行規則第五條ニ依リ會社設立認可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ大藏大臣及商工大臣ニ提出セシメ小運送業ノ讓渡認可申請書ニ「資金調整ニ付テハ別途申請中ナル」旨附記セシムルコト

三、定款ノ目的ニ掲ゲタル事業ニシテ企業許可令第三條ノ規定ニ依ル認可事業（例ヘバ倉庫業）タル場合ト雖臨時資金調整法施行規則第五條ノ規定ニ依リ會社設立認可申請書ヲ提出シタル場合ハ企業許可令ニ基ク認可申請ヲ要セザルコト（企業許可令施行規則第六條）

四、關聯事業ニ對スル投資及融資ノ規定ハ定款ノ目的事項トシテ掲載スルノ要ナキヲ以テ記載セシメザルコト

五、會社設立認可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ提出シタル場合ハ速ニ其ノ寫ヲ貴局小運送課經由當局總務課（會計）ニ送附セシムルコト

六、營業權ハ曩ニ通牒シタル基準要綱ニ依ルコトハ勿論ナルモ資本金ヨリ支辨スル金額ハ資本金額ノ三分ノ一額ヲ超エザルコトニ指示スルコト

第三節　自動車取締令關係

自動車取締令中改正ニ關スル件（拔萃）

（昭和一三、一〇、五、內務省發警第七六號各地方長官宛警保局長通牒）

今般自動車取締令中一部改正相成候處右ハ自動車取締令ノ運用ノ實績ニ鑑ミ且警察事務刷新ノ見地ヨリ相當重要ナル部分ニ付テ實情ニ即スル改正ヲ行ヒタルモノニシテ之ニ伴ヒ將來交通警察上相當考究實施ヲ必要トスル事項モ尠ナカラザル樣被存之ガ運用ノ適否ハ產業交通上ニモ至大ノ影響ヲ及ボスベキモノアリト認メラルルヲ以テ概ネ左記ニ準據シ其ノ運用ノ適正ヲ期セラルル樣致度尙從來ノ取扱方法中幾多改善ヲ要スベキモノ尠ナカラザルモノアリト認メラルルヲ以テ本改正ノ機會ニ左記ノ如キ改善ヲ行ヒ取扱ノ圓滑ヲ期セラルル樣致度

追テ昭和八年九月警保局警發甲第七八號及昭和十二年十月警保局警發甲第一二八號通牒中本通牒ト抵觸スル分ハ自然消滅ト御了知相成度

記

一、第三十八條　特殊免許ニ付テハ特殊自動車ノ種類每ニ免許證ヲ發行スルコトヲヤメ、一枚ノ特殊免許證ニ其ノ免許シタル自動車ノ種類ヲ併記スルコト、此ノ場合免許證交付手數料ハ最初免許證ヲ交付シタル場合ニ限リ徵收スコルト

三、第四十一條　運轉ノ安全性ヲ保持シ交通警察上支障ナキ限度ニ於テ運轉免許試驗ヲ簡易化スル爲從來ノ試驗科目中ヨリ自動車ノ「構造」ニ關スル學科目ヲ除キタルヲ以テ免許試驗ニ際シテハ左記ニ依リ取扱フコト

1　自動車ノ取扱方法ノ要旨ニ關スル試驗ハ自動車ノ制動裝置、斷續裝置及變速裝置ノ取扱竝ニ機關ノ調整方法等自動車ノ運轉操作上直接必要ナル事項ノ概要ニ付之ヲ行フコトトシ、專門的學識ヲ必要トスルガ如キ問題ハ之ヲ避クルコト

2　自動車及交通ニ關スル取締法令ノ試驗ハ主トシテ自動車取締令、道路取締令竝ニ之等ノ施行細則ニ付交通警察上必要ナル範圍ニ於テ之ヲ行フコト

3　自動車ノ取扱方法ノ要旨竝ニ自動車及交通ニ關スル取締法令ノ試驗ハ筆記ヲ原則トスベキモ場合ニ依リテハ受驗者ノ筆答能力等ヲ考慮シ、便宜口述ノ方法ヲトルモ妨ゲナキコト

四、第四十二條　本條ノ改正ハ從來ノ規定ヲ更ニ緩和シ實情ニ即セシメントシタルモノナルヲ以テ本條ノ適用ニ關シテハ左記ニ依リ取扱フコト

1　第一號ニ該當スル者

通牒

法規ニ付テノミ試驗ス

2　第二號ニ該當スル者

イ、「ロードローラー」、「グレーダー」、耕作用自動車ノ類ニシテ其ノ用途竝ニ速度等ヨリ一般自動車ニ比シ交通上危險ノ虞尠キモノニ付テハ試驗ノ全部ヲ省略ス

ロ、自動自轉車、側車附自動自轉車、自動三輪車、後車附自動自轉車ニ付テハ其ノ運轉技能ニ付試驗スルノ外法規ニ付簡單ナル試驗ヲ行ヒ取扱方法ノ要旨ニ關スル試驗ヲ省略ス

ハ、電氣自動車、「ハノマーク」型自動車、其ノ他ノ特殊自動車ニ付テハ運轉技能及法規ニ關スル簡單ナル試驗ヲ行ヒ取扱方法ノ要旨ニ關スル試驗ヲ省略ス

ニ、特殊免許ヲ有スル者ニシテ異種ノ特殊免許ヲ受ケントスル者ニ付テハ法規試驗ヲ省略スルノ外前記「イ」乃至「ハ」ノ取扱ニ準ジ試驗ス但シ「イ」ノ取扱ニヨリ免許ヲ有スル者ニ付テハ法規試驗ハ之ヲ省略セズ

ホ、普通免許ヲ有スル者ニシテ特殊免許ヲ受ケントスル者ニ付テハ法規試驗ヲ省略スルノ外前記「イ」乃至「ハ」ノ取扱ヲ準用ス

3　第三號ニ該當スル者

現在所有スル特殊免許ニ依リ運轉シ得ル自動車ニ類似セザル取扱方法ノ要旨竝ニ運轉技能ニ付試驗シ前號「イ」ノ取扱ニ依リ免許ヲ有スル者ノ外法規ノ試驗ヲ省略ス

4　第四號ニ該當スル者

現在所有スル運轉免許ノ性質ニ從ヒ前各號ニ準ジ取扱ヲ爲ス但シ法規試驗ハ之ヲ省略セズ

5　第五號ニ該當スル者

法規及運轉技能ノミニ付試驗ス

6　第六號ノ取扱ニ付テハ左記ニ依ルコト

自動車ノ運轉取扱等ニ付多年經驗ヲ有スル者又ハ法規ニ通曉セル者等ニ對シテハ試驗ノ全部又ハ一部ヲ省略スルヲ得ルコト

五、四十五條ノ二　本條ハ運轉者ノ素質向上、監督取締ノ徹底乃至事務整理ノ必要ニ出ヅルモノナルヲ以テ其ノ運用ニ當リテハ概ネ左記ニ留意スルコト

1　檢査ノ申請手續ハ一定ノ書式等ヲ定ムルコトナク口頭受理ノ方法ニ依ルコトトシ且成ルベク即日檢査ヲ終了スル如ク措置スルコト

2　檢査ノ目的ハ運轉免許證ノ査閲ニ在ルモ此ノ機會ヲ利用シテ運轉者トシテ身體的缺陷アリヤ否ヤニ付身體ノ外部觀察ヲ行フコトハ素ヨリ支障ナキコト但シ法令、運轉技能及地理ノ考査等ハ之ヲ行ハザルコト

3　檢査ハ運轉者ノ出頭ヲ待チ其ノ都度之ヲ行フコト素ヨリ支障ナキモ、成ル可クハ一定期間中ノ該當者ヲ同一日時ニ召集シテ前記ノ檢査ヲ行ヒ且此ノ機會ヲ利用シ同時ニ運轉者ノ素質向上ニ資スル爲必要ナル訓授講習等ヲ行ヒ或ハ印刷物ヲ交付スルガ如キ方法ヲ講ズルコト

4　檢査ヲ行ヒタルトキハ概ネ左ニ依リ措置スルコト

イ、支障ナキトキハ運轉免許證ノ檢査欄ニ年月日ヲ記入捺印ノ上其ノ場ニ於テ交付スルコト

ロ、自動車取締令第四十一條第一項第二號及昭和八年九月警保局警發甲第七八號通牒第二十號所定ノ身體的缺陷アル者ヲ發見シタルトキハ令第四十六條ニ依リ措置スルコト

ハ、運轉免許證毀損シテ使用ニ堪ヘザルモノヲ發見シタルトキハ再交付ヲ申請セシムルコト

ニ、運轉免許證添付寫眞ハ免許證檢査ノ際貼代フルコトナク其ノ儘引續キ添付セシムルコト

5　本條所定ノ期間内ニ檢査ヲ受ケザル者ハ令第八十二條ノ規定ニ依リ處罰ヲ受クベキモノナルコト勿論ナルモ、之ガ爲當然運轉免許ノ失效ヲ來スモノニ非ザルヲ以テ事情ニ依リ或ハ期間經過後檢査ヲ行ヒ或ハ令第四十六條ニ依リ行政處分ヲ行フ等適當ナル措置ヲ講

ズルコト

6　運轉免許證ノ樣式中注意事項欄ニハ各種ノ所要事項ヲ記載スルコトノ外尙第四十五條ノ二ノ規定ヲ記載シ且右規定ヲ履行セザルトキハ處罰ヲ受クベキ旨及場合ニ依リテハ行政處分ヲ受クベキ旨ヲ記載スルコト

九、自動車運轉者ノ素質向上竝ニ交通事故防止ハ交通警察上最モ重要ナル事項トシテ、從來ニ於テモ相當之ガ對策ヲ考究實施セラレタル所ナルモ、動モスレバ實效之ニ伴ハザルモノアリ、運轉免許ノ有效期間及就業免許ノ徹底ニ依リ自動車取締ニ關スル事務ハ相當輕減簡易化セラルベキモノト認メラルルヲ以テ今後ハ能フ限リ交通警察上重要ナル方面ニ其ノ機能ヲ活用スルコトトシ、概ネ左記ノ如キ積極的方策ヲ講ズル樣努ムルコト

1　運轉者ノ素質向上

イ、廳府縣ノ指導及自動車運輸事業者等ノ協力ニ依リ成ル可ク地域別又ハ業態別等適當ナル方法ヲ以テ運轉者ノ組織ノ結成ヲ圖リ教養訓練ヲ實施スル等運轉者ノ品性陶冶ニ努ムルコト

ロ、運轉者ノ素質低下ヲ防止スル爲性狀、技能等運轉者トシテ不適當ト認メラルル者ニ對シテハ免許ノ取消、停止等ノ處分ヲ爲シ一般運轉者ノ自重ヲ促スコト

ハ、運轉者ノ雇傭條件、就業時間等ニシテ著シク不合理ト認メラルルモノニ付テハ適當ノ方法ニ依リ之ヲ調整シ生活ノ安定化ヲ圖ラシムルコト

ニ、運轉者ノ就職斡旋ハ成ルベク營利ヲ目的トセザル機關例ヘバ自動車協會等ノ事業トシテ之ヲ行ハシムルコト

2　交通事故ノ防止

イ、交通災害ノ最モ頻發スル都市ヲ中心トシ交通災害防止ニ關スル權威アル組織ヲ結成シ或ハ既存ノ組織ヲ活用シ、交通道德ノ普及向上、交通事故防止等ニ關スル活動ノ中樞機關タラシムルコト

ロ、交通道德ヲ普及向上セシムル爲隨時適當ナル機會ニ於テ全般的又ハ步行者、自動車、自轉車、小學兒童等ノ區分的交通訓練又ハ交通安全週間等ヲ行フコトトシ且其ノ實施ニ當リテハ徒ラニ形式ニ流レズ最モ實效ヲアゲル樣工夫ヲ重ヌルコト

ハ、交通災害ニ因ル運轉者ノ負擔履行ヲ容易ナラシムル爲成ル可ク豫メ車輛主ノ經費補助等ノ方法ニ依リ共濟的組織ヲ結成セシムルコト

ニ、乘合自動車等ニ付テハ成ルベク相當年齡ノ技倆經驗練達セル者ヲシテ運轉ニ從ハシメ、其ノ安全性ヲ確保スル樣事業者等ニ指示シ、豫メ採用方法等ニ付適當ナル措置ヲ講ゼシムルコト

十、自動車ノ泥除裝置ハ概ネ形式ニ墮スルト共ニ道路ノ構造上ヨリ其ノ裝置ノ必要ヲ認メ難キモノモ尠ナカラザル實情ニ鑑ミ、市街地等ニシテ道路概ネ鋪裝ヲ了セル所ニ於テハ其ノ市街地全般ニ渉リ、又鋪裝セル道路ヲ一定ノ路線トシテ運行スル自動車ニ付テハ其ノ區間ヲ限リ自動車ノ泥除裝置ハ之ヲ免除スルコト尙右ノ場合ニアリテハ雨雪ノ際、水溜ノ場所又ハ未鋪裝道路等ヲ運轉スルトキハ、運轉速度ヲ低下セシムルコトトシ、步行者ニ泥水ヲ放射スルガ如キコトナキ樣運轉者ニ注意ヲ與フルコト

十一、自動車運轉免許申請者ノ身元調査ハ事務處理上尠ナカラザル手續ヲ要スルノミナラズ、之ガ調査ヲ必要トスル理由ニ乏シキヲ以テ身元調査ハ之ヲ全廢スルコト

註　前文中昭和十二年十月警保局警發甲第一二八號通牒ハ昭和十二年內務省令第四十五號（自動車ノ運轉免許及就業免許ノ特例ニ關スル件）施行ニ關スルモノナリ

改正自動車取締令施行ニ關スル件（拔萃）

（昭和八、九、一六、警發甲第七八號各地方長官宛警保局長通牒）

今般自動車取締令改正相成候處其ノ施行ニ必要ナル廳府縣令ハ地方ノ特殊情勢上眞ニ已ムヲ得ザルモノノ外ハナルベク府縣間異ヲ立ツルコトヲ避クルト共ニ施行令中ニ他ノ事項ヲ混在セシムルコトナク其ノ内容モ努メテ單簡明確ヲ旨トセラレ度又改正取締令ノ如ク地方長官ノ定ムベキ事項ヲ一々指示セル場合ニ於テハ其ノ委任事項及之ガ施行ニ必要ナル命令ノ外ハ自動車取締ニ關シ任意ニ獨立命令ヲ制定セシメザルノ法意ナルヲ以テ特ニ御留意相成度尙新法令ノ實施ニ關シテハ大要左記ニ準據シ御處理相定度

追テ舊取締令ノ施行ニ關スル通牒中大正九年二月七日陸警第七號、大正十三年十一月四日警保局警發甲第一二一號、大正十五年二月十三日警發甲第二十二號、大正十五年四月九日警第四八九號廣島縣知事宛回答、大正十五年七月八日警第九八四號愛媛縣知事宛回答、昭和二年十一月二十九日警發乙第一、二二〇號大阪府知事宛回答以外ハ自然消滅ノ儀ト御了知相成度申添候

左記

二、第三條　燃料油槽ニハ木炭自動車ニ於ケル燃料槽ヲ包含スル趣旨トス

自動車ノ修理用工具及豫備タイヤーノ如キ附屬品ノ重量ハ之ヲ車輛重量若ハ最大積載量ニ包含セシメザル趣旨トス

五、第十一條　單ニ排管ノ末端ヲ壓潰シタルニ過ギザルモノハ適當ナル消音裝置トハ認メズ

八、第十九條　方向指示器ハ第二項第一號及第二號ノ信號ニ代リ得ル作用ヲ爲スヲ以テ足ルニ付濫ニ其ノ構造制限ヲ限局シ或ハ不明確ナル信號作用ヲ爲スニ過ギザルモノノ備付ヲ認ムル等ノコトナキヲ要ス

方向指示器ヲ作用セシメタル際ノ突出部及取付取外シノ自由ナル泥除ハ自動車ノ全幅中ニ算入セザルモノトス

宮廷用自動車ニ設置セラレアル屋上燈ニ類似スル燈火ハ他ノ自動車ニハ其ノ備付ヲ禁止シ自動車ノ塗色ニ付テモ宮廷用自動車ニ類似スル溜色ヲ使用セシメズ又消防自動車、郵便自動車及自動自轉車ノ外赤色ヲ禁ズルコト

本條第一項、第三項、第二十一條、第二十二條及第七十二條ノ規定ニ基キ地方長官ノ設クベキ自動車ノ構造裝置ニ關スル規定ハ當該道府縣ヲ主タル使用地トスル自動車ニ付之ヲ適用スルコト

九、第二十一條　本條ニ依リ設クベキ特別ノ規定ハ大要左ノ事項ニ限ルモノトス

イ、第一項

車輛ノ安定（第六條）ハ牽引自動車（安定ヲ得難キ特殊構造ヲ有スル牽引自動車ニ限ル）ニ付制限ノ緩和ヲ認ム

制動裝置（第十三條）ハ後車附自動自轉車、ロードローラーニ付一系統ヲ認ム

前照燈（第十四條）ハロードローラー、グレーダー、耕作用自動車ニ付備付ヲ免除シ後車附自動自轉車、ハノマルク型自動車ニ付一箇ヲ認ム

尾燈（第十五條）ハロードローラー、グレーダー、耕作用自動車ニ付備付ヲ免除ス

速度計（第十六條）ハ牽引自動車（バス、トラクターヲ除ク）、ロードローラー、グレーダーニ付備付ヲ免除ス

警音器（第十七條）ハ蒸氣自動車、ロードローラーニ付軟調ノ條件ヲ免除シロードローラー、グレーダー耕作用自動車ニ付テハ狀況ニ依リ之ガ備付ヲ免ズ

輪帶（第十八條）ハロードローラー、牽引自動車（特ニ山間等ニ於テ使用スルモノニ限ル）、グレーダー、耕作用自動車ニ付護謨製以外ノモノヲ認ム

車輛番號（第三十一條第一項）ハロードローラー、グレーダー後車附自動自轉車ニ付標示箇所ノ一部ヲ免除ス

ロ、第二項

制動裝置（第十三條）ハ一系統ヲ認ム

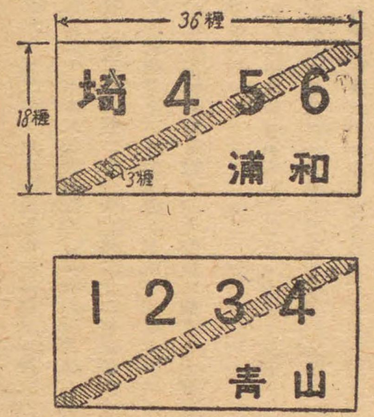
前照燈（第十四條）ハ一箇ヲ認ム

速度計（第十六條）ハ第二十條第二項ニ倣ヒ其ノ省略ヲ認ム

本條第一項記載ノ特殊自動車中普通自動車ニ比シ特殊ノ構造裝置ヲ要スル特殊自動車ニ付テノミ第一項掲記ノ條文ニ依ル制限ヲ超過スル制限若ハ本令ニ規定セザル制限ヲ設ケ其ノ他ノ特殊自動車ニ付テハ本項掲記ノ條文ニ依ル制限ヲ緩和スル特別規定ノミヲ設クルコト、第二項ノ小型自動車ニ付テモ亦同ジ

一一、第二十四條　一時運轉ヲ許可スルニ際シテハ其ノ運轉ノ範圍ハ必ラズシモ同一府縣内ニ限定スルノ要ナシト雖モ其ノ期間及經路ハ申請人ノ實際必要トスル限度ヲ超エザル樣愼重ニ取扱フコトヲ要ス

一時運轉許可標板ノ樣式ハ左記ノ通トシ第二十七條ノ車輛番號ニ準ジ廳府縣ノ通番號ヲ用フ



樣式中ノ寸法ハ大體標準トス以下各項ニ於テ寸法ヲ示シタルモノニ付亦同ジ

備考

一、材料ハ金屬板

二、白地ニ黑文字

三、斜線ハ赤色

四、番號數字ハ長十糎

五、警察署名文字ハ長五糎

六、赤斜線右下ノ文字ハ警察署ノ略名稱トス

一二、第二十四條　許可ヲ與ヘタルトキハ一時運轉許可證竝ニ一時運轉許可標板ヲ交付シ前者ハ運轉中之ヲ携帶セシメ後者ハ車輛番號ニ準ジ車輛ニ標示セシムルコト

一三、第二十六條　乘車定員中ニハ運轉者及助手ノ員數ヲ含ムモノナルヲ以テ貨物自動車ニ於テモ必ラズ之ヲ申告シ若ハ指定スルコトヲ要ス

一四、第二十七條　車輛番號ハ漢字ヲ以テ府縣名ノ頭字ヲ冠セシメ番號數字ハ亞剌比亞文字ヲ用ヒ地方中頭字ヲ同フスルモノニ在リテハ例ヘバ福井又ハ福島ト冠セシムベシ但シ東京ニ在リテハ番號數字ノミニテ頭字ヲ冠セズ大阪ニ在リテハ大、愛知ニ在リテハ愛、宮城ニ在リテハ宮、福岡ニ在リテハ福ノ字ヲ冠セシムルモノトス

車輛番號標板ハ金屬製ニシテ普通自動車ニ在リテハ黑地ニ白文字、特殊自動車ニ在リハ青地ニ白文字、小型自動車ニ在リテハ橙黃色ニ黑文字トシ其ノ文字ノ大サハ漢字ヲ除クノ外普通自動車ニ在リテハ長十二糎、幅六糎、太一・八糎、間隔一・五糎特殊自動車ニ在リテハ長九糎、幅五糎、太一・二糎、間隔一糎小型自動車ニ在リテハ長八糎、幅四・五糎、太一糎、間隔一糎ノモノヲ標準トシ何レモ千位ニハ其ノ直徑ガ文字ノ太ニ等シキ「コンマ」ヲ附シ漢字ハ之ニ準ズルモノトス但シ自動車ノ番號數字萬以上ニ達シタルトキハ府縣名ノ漢字ヲ數字ノ上部ニ置クコトヲ得

現ニ使用中ノ車輛番號標板ガ前記ノモノト異ルトキハ漸次ニ改ムルコト

一五、第二十九條　本條ノ規定ニ依リ車輛檢査ノ有效期間滿了前ニ施行シタル車輛檢査ノ有效期間ハ現在ノ車輛檢査證有效期間滿了ノ翌日ヨリ開始スル取扱トスルコト

一七、第三十一條　車室内車輛番號板ハ大體左記樣式ニ依ルモノトス

二〇、第四十一條　本條第一項但書ノ規定ニ依リ小型免許ハ試驗ヲ行ハズシテ與フルモノナルヲ以テ其ノ免許證交付ニ際シ法規ヲ服膺セシムル爲訓授ヲ行ヒ或ハ印刷物ヲ交付スル等適當ナル措置ヲ講ズルコト

本條ニ依リ地方長官ノ不適當ト認ムベキ標準ハ大體ニ於テ左ノ通トス

（一）色盲ノ程度甚シキ者ノ内信號色（赤、橙黄、青綠）ノ識別不能若ハ困難ナル者

（二）視力異狀者ノ内眼鏡ノ補矯ニ依ルモ五米ノ距離ニ於テ萬國試視力表第七段以下ノ識別不能若ハ困難ナル者

（三）身體ニ著シキ缺陷アリテ運轉者トシテ不適當ト認ムル者

（四）性質、素行甚シク不良ナル者又ハ性能ニ著シキ缺陷アリテ運轉者トシテ不適當ト認ムル者

（五）屢々交通法規ニ違反セル者

本條第二項ニ依ル運轉技能ノ試驗ハ普通免許ニ在リテハ普通自動車中ノ一（車輛ノ種類ハ概ネフオード、シボレー級ノ乘用車トスルコト）ニ付之ヲ行ヒ特殊免許ニ在リテハ特定種類中ノ一種ノ特殊自動車ニ付之ヲ行ヒ小型免許ニ付就業免許ヲ與フル場合ニ在リテハ小型自動車ノ一種ニ付試驗スルモノトス

府縣等ノ所有ニ係ル自動車ヲ試驗用車輛トシテ强制的ニ使用セシムルガ如キコトナキコト

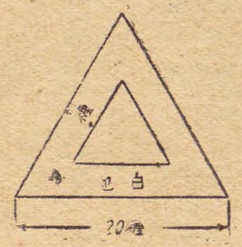
二四、第四十六條　運轉免許若ハ就業免許ノ取消ヲ爲シ又ハ第八十二條第五號該當ノ故ヲ以テ處罰シタルトキハ遲滯ナク各廳府縣長官ニ

通報スルコト

廳府縣ニ於テハ其ノ地ヲ主タル運轉地又ハ就業地トスル者ニ付運轉者臺帳若ハ運轉者カード及就業者臺帳若ハ就業者カードヲ作成シ交通規則違反事項其ノ他必要事項ヲ記載シ置クコト尙自動車臺帳若ハ自動車カード及運轉免許若ハ就業免許ヲ取消サレタル者ノ名簿ヲ作成シ常ニ之ヲ整備シ置クコト

二五、第五十條　市街地ニ於テハ六米、其ノ他ニ於テハ五米ノ總幅員ヲ有スル道路ニ付テハ特別ノ事情ナキ限リ本令第五條本文ノ大サノ自動車ハ其ノ通行ヲ制限セザルコト

二六、第五十一條　本條第一項第二號ノ自動車ニ付テハ後車輪ヲ覆フフエンダーノ後部表面（フエンダーナキ自動車ニ在リテハ後部左側見易キ箇所）ニ左記樣式ノ塗色ヲ標示セシムルモノトス



本條第三項ニ於テ消防自動車及救急自動車ノ最高速度ニ特別ノ制限ヲ設ケシメタルハ此ノ種自動車ノ特殊ナル使命ニ鑑ミタルモノナルヲ以テ出火ノ際手挽ガソリンポンプヲ貨物自動車ニ積載シテ火災現場ニ運搬スル自動車若ハ消防組頭又ハ消防組員ガ火災現場ニ急行スル爲一定ノ標識（消防旗等）ヲ掲ゲ特別ニ仕立テタル乘用自動車ノ如キモノハ本條ノ適用ニ關スル限リ之ヲ消防自動車トシテ取扱フコトヲ妨ゲズ本條第三項ニ於テ消防自動車、救急自動車ニ類スル地方長官ノ定ムル自動車ノ最高速度ニ付特別ノ規定ヲ設ケタルハ人命救

助其ノ他救難ノ爲現地ニ赴ク自動車ニ付火急ノ需要ニ應ゼシメントスル趣旨ナルヲ以テ之ニ基キ特別ノ規定ヲ設クル場合ニ於テハ自動車ノ用途及標識等ヲ定ムルコト

二八、第六十三條　本條第一項ノ但書ノ規定ニ依リ警察官署ニ於テ積載制限超過ノ許可ヲ爲シタルキトハ一定ノ許可票ヲ交付シ運轉中之ヲ見易キ箇所ニ標示セシムルコト

貨物自動車ノ取締ニ關スル件

（昭和一一、一二、二七、警保局發甲第二四一號各地方長官宛　警保局長通牒）

貨物自動車用荷臺ノ構造統一方ニ關シ昭和十五年十二月二十日昭一五機局第六四八七號ヲ以テ通牒相成候「トヨタ」號（軸間距離三・六メートル型）及「ニツサン」號（軸間距離一二八吋及四メートル型）各自動車ノ最大積載量ハ四瓲、乘車定員ハ三名ヲ相當ト認メラレ候條本自動車ニ對スル自動車取締令第二十六條ノ規定ノ最大積載量及乘車定員ノ指定ニ付テハ右ニ依リ御取扱相成度

追而前記昭十五機局第六四八七號通牒ニ係ル荷臺ノ構造又ハ本件最大積載量及乘車定員ノ指定等ニ付廳府縣令等ノ規定ヲ改ムルヲ要スルモノアルトキハ至急何分ノ御措置相煩度

自動車ノ警音器及消音裝置ノ取締ニ關スル件

（昭和一〇、一二、一八、警保局警發甲第一七四號各地方長官宛　警保局長通牒）

自動車ノ運轉ニ因リテ生ズル騷音ノ防止ニ關シテハ自動車取締令第十條、第十一條及第十七條等ノ規定有之候（共未ダ消音裝置及警音器ノ性能ニ關シ具體的標準ノ定リタルモノ無之其ノ取締區々ニ亘ルノ嫌アルヲ以テ爾今小型自動車タル自動三輪車ノ消音裝置及一般自動車用警音器ノ檢査標準ヲ左記ノ通リトシ之ニ適合セザルモノニ對シテハ其ノ供給業者又ハ使用者ノ團體ヲ督勵スル等ノ方法ニ依リ新ニ使用セントスル車輛ニ對シテハ車輛檢査ノ時ヨリ之ヲ實施シ既ニ使用中ノ車輛ニ對シテモ供給ノ狀態ヲ考慮シテナルベク速ニ本標準ニ據ラシムル樣御配慮相煩度

追テ現在使用サレツツアル一般自動三輪車ノ消音裝置及一般自動車ノ警音器中數種ノモノニ付今回當局ニ於テ檢査シタル結果左記標準ノ條件ヲ具備スルモノト認メラルルモノ別表及添附圖面ノ通リニ付取締上參稽セラレ度申添候

記

一、消音裝置

小型自動車タル自動三輪車（前輪驅動ノモノヲ除ク）ノ消音裝置ニ付テハ東京市電氣研究所備付ノ騷音測定裝置ヲ用ヒ原動機ノ全負荷ノ狀態ニテ其ノ回轉數每分二、五〇〇ノトキ消音裝置ノ吐出口ヨリ一米ノ距離ニ於テ測定裝置ノ「マイクロフオン」ヲ吐出口ノ末端ニ對シ四十五度ニ斜面セシメテ測定シタル場合（別圖參照）音ノ大サ六五「デシベル」ニ滿タザル消音效力ヲ有スルモノヲ自動車取締令第十一條ノ「適當ナル消音裝置」ト認ムルコト

二、警音器

東京市電氣研究所防音室ニ於テ同所備付騷音試驗測定裝置ニテ所定ノ測定方法ニ依リ測定ノ結果基本周波數每秒一〇〇「サイクル」乃至二〇〇「サイクル」、音ノ大サ六五「デシベル」乃至八〇「デシベル」ノモニシテ且其ノ音色ノ惡質ナラザルモノヲ自動車取締令第十七條ニ規定シタル「軟調ノ警音器」ト認ムルコト

（添附圖面略）

壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯ヲ燃料トスル自動車ノ取締ニ關スル件

（昭和一三、一一、一、警保局警發甲第一二四號各地方長官宛　警保局長、監督局長通牒）

近時自動車燃料トシテ壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯ヲ使用セントスル向有之候處之ガ構造裝置等ニ付テハ其ノ用法ノ特殊性ニ鑑ミ自動車取締令及旅客自動車設備規程ニ依ル外特ニ別記要綱ニ依リ御措置相成樣致度

追テ石油消費規正ノ目的ヲ達成スル爲此ノ種自動車ノ指導奬勵ニ關シ特ニ御考慮相煩度

壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯ヲ燃料トスル自動車取締要綱

一、自動車ニ取付クル瓦斯容器

（イ）壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法施行令第二十三條ノ規定ニ適合シタルモノナルコト

（ロ）製作ノ日ヨリ起算シテ五年ヲ超エタルモノハ使用セシメザルコト

（ハ）一年毎ニ耐壓試驗ヲ行ヒ之ニ合格シタルモノナルコト

（ニ）外面ヲ鼠色ニ塗色シ且見易キ箇所ニ充塡スベキ瓦斯ノ名稱ヲ白色文字ニテ記載シタルモノナルコト

（ホ）容器ノ安全裝置及瓦斯開閉裝置等瓦斯ト接觸スル部分ニハ銅ヲ使用セシメザルコト

（ヘ）別ニ示ス方法ニ從ヒ衝擊試驗ヲ行ヒ之ニ合格シタルモノナルコト

二、瓦斯容器ノ取付方法

（イ）瓦斯自動車ノ構造設備ハ概ネ別紙第一圖ニ依ラシムルコト

（ロ）運輸竝ニ運送事業ノ用ニ供スル乘合自動車（以下單ニ乘合自動車ト謂フ）ニ在リテハ別紙第二圖、貨物自動車ニ在リテハ別紙第三圖ニ示ス位置ニ取付ケシムルコト

（ハ）容器ヲ自動車ノ長サノ方向ニ對シ直角ニ取付クル場合ハ容器ノ頸部ハ自動車ノ左側ニ取付シムルコト

（ニ）振動ニ依リ移動又ハ損傷ヲ生ゼザル樣「フエルト」、木片等ノ介在物ヲ置キ車枠（フレーム）ノ上ニ完全ニ取付シメ且容器ノ兩端ニ適當ナル脫出防止裝置ヲ施サシムルコト

（ホ）消音裝置、排氣管其ノ他ニ基ク熱ノ影響ヲ受ケザル樣容器ヲ木板等ニテ包裝スル外、包裝ノ底ニ「アスベスト」板ヲ張リ付クルカ又ハ容器直下ノ排氣管ヲ「アスベスト」ヲ以テ被覆セシムルコト但シ包裝ハ氣密ニ密閉スルコトナク包裝木板ニハ底部ヲ除キ適當數ノ孔ヲ穿チ通風ノ方法ヲ講ゼシムルコト

三、瓦斯容器ニ取付クル高壓導管

（イ）燒鈍セラレタル鋼管ヲ使用セシムルコト

（ロ）裝置及容器ノ瓦斯充塡口ノ「ネヂ」ハ左廻轉タルコト

（ハ）連絡部ハ銀鑞ニ依リ鑞付スルカ又ハ「ネヂ」締メ後銀鑞付セシムルコト

（ニ）瓦斯ノ漏洩及導管ノ耐壓力檢査ノ爲瓦斯容器ニ取付ケタル儘ニテ充塡壓力ノ一倍半以上ノ壓力ニ依ル耐壓試驗ヲ行ハシメ且爾後毎年一回以上同一方法ヲ以テ試驗ヲ行ハシムルコト

（ホ）支持金具ニ依リ支持セラレザル導管ヲ長サハ一米ヲ超過セシメザルコト

（ヘ）乘合自動車ニ在リテハ導管ハ乘客ガ接觸セザル樣取付シムルコト

（ト）消音裝置及排氣管ヨリ熱ヲ多量ニ受クル位置ニハ配管セシメザルコト

（チ）自動車ノ振動ニ因ル屈曲ヲ防止シ且熱ニ因ル膨脹ヲ緩和スル爲導管ノ中間ニU字形、S字形、又ハ環狀○形等ノ彎曲部ヲ設ケシ

ムルコト

四、其ノ他附屬重要裝置

（イ）安全辨

各容器毎ニ安全辨ヲ取付クル外瓦斯充塡口ト最初ノ容器トノ間及最終ノ容器ト減壓辨トノ間ニモ安全辨ヲ取付ケシムルコト

（ロ）減壓辨

最終減壓辨ノ高壓側ノ導管トノ接手ハ（一）可燃性「パツキング」ヲ使用スルコトナク金屬ノミノ連結方法ニ依ルモノナルコト（二）內燃機關ノ運轉中又ハ停止中瓦斯ノ漏洩セザル構造タルコト

（ハ）瓦斯止辨

瓦斯止辨ハ（一）瓦斯充塡口ニ接近シテ設ケシムルコト（二）內燃機關ヘ供給スル瓦斯ノ開閉ヲ司ル主止辨ハ運轉者ガ運轉臺ニテ容易ニ操作シ得ル箇所ニ設ケシムルコト

（ニ）壓力計

壓力計ハ（一）度量衡法第八條ノ規定ニ低觸セザルモノナルコト（二）常用壓力ノ一倍半乃至二倍ノ最高目盛アルモノナルコト（三）運轉者ガ運轉臺ニテ容易ニ見得ル箇所ニ施設セシムルコト

（ホ）逆火防止裝置

最終減壓辨ト吸入多岐管（マニホールド）トノ間ニハ內燃機關ヨリノ逆火ヲ防止スルニ足ル安全裝置ヲ施サシムルコト（一例ヲ示セバ第四圖ノ一及二ノ如シ）

五、燃料瓦斯ノ製造所、充塡所

燃料瓦斯ノ製造所、充塡所等ノ施設ニ關シテハ壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法及同法施行令ノ規定ニ依リ所定ノ手續ヲ履行セシムルコト

「別記」

壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯ノ容器ニ關スル衝擊試驗

一、衝擊試驗片ハ容器ノ從及橫方向ヨリ各三個宛採取スルコト

二、衝擊試驗ハ採取後燒鈍其ノ他ノ熱處理ヲ施サザル第五圖ニ示ス如キ試驗片ヲ以テ「アイゾット」試驗機ニ依リ之ヲ行ヒ其ノ衝擊値縱方向ヨリ採リタル試驗片ニ在リテハ四・五呎封度（〇・六二二瓩米）以上、橫方向ヨリ採リタル試驗片ニ在リテハ一〇呎封度（一・三八二瓩米）以上ナルコト

「附圖略」

第四節　道路法關係

自動車運輸事業路線ノ道路及通路ノ規格ニ關スル件

（昭和一一、一一、一四、內務省發土第二號各地方長官宛
土木局長、警保局長依命通牒）

自動車運輸事業路線ノ道路及通路ノ規格別紙ノ通被定候條御了知相成度此段及通牒候也

記

一、道路（通路ヲ含ム以下同ジ）ノ幅員

道路ノ總幅員ハ使用車輛幅ノ二倍半以上ナルコト但シ第三項ニ規定スル待避所ヲ有スル道路ニ在リテハ其ノ幅員ヲ次ノ標準迄ニ縮少スルコトヲ得

通牒

（イ）車輛幅一・八米未滿ノ自動車ヲ使用スル場合ノ道路ノ總幅員ハ三・六米以上ナルコト但シ橋梁ノ有效幅員ハ二・七米以上ナルコト

（ロ）車輛幅一・八米以上ノ自動車ヲ使用スル場合ノ道路ノ總幅員ハ四・五米以上ナルコト但シ橋梁ノ有效幅員ハ三・六米以上ナルコト

（ハ）隧道內路面總幅員ハ車輛幅一・八米未滿ノ自動車ヲ使用スル場合ニハ三・六米以上トシ一・八米以上ノモノヲ使用スル場合ニハ四・五米以上トス但シ路面兩側ニハ堅固ナル側壁ヲ有スルモノトス

二、停留所

（イ）乘合自動車ノ停留所ニ於テハ左ノ車輛外道路總幅員ヲ保有スルコト

道路ノ種別			
主要ナル街路、主要ナル國道	車道、歩道ノ區別アル道路ノ車道ニ於ケル車輛外道路總幅員	兩側人家連檐又ハ連檐スベキ場所	車道、歩道ノ區別ナキ道路ノ車輛外道路總幅員
	三・七五米以上	五・五〇米以上	四・七五米以上
其ノ他ノ道路	三・七五米以上	三・七五米以上	三・七五米以上

但シ車道、歩道ノ區別ナキ道路ニシテ路面外ニ幅員一米以上ノ昇降場ヲ設ケタル場合ハ停留所ニ於ケル道路ノ車輛外道路總幅員ヲ前項ノ規定ヨリ一米以內縮少スルコトヲ得

車道、歩道ノ區別ナキ道路ノ車輛外道路總幅員トハ道路ノ總幅員ヨリ車輛ノ幅員ヲ減ジタルモノヲ謂フ

車道、歩道ノ區別アル道路ノ車道ニ於ケル車輛外道路總幅員トハ車道ノ幅員ヨリ車輛ノ幅員ヲ減ジタルモノヲ謂フ

（ロ）乘合自動車ノ停留所ハ併用軌道ノ停留所ト竝置セザルコト

（ハ）停留所ノ有效長ハ二〇米以上ナルコト但シ特殊ノ事由アル場合ニ於テハ之ヲ使用車輛ノ長ノ二倍迄短縮スルコトヲ得

三、待避所

有效幅員四・五米未滿ノ道路ニハ三〇〇米以內每ニ見透開敞ノ箇所ヲ選ビ待避所ヲ有スルコト

待避所ノ有效長ハ二〇米以上トシ其ノ區間ニ於ケル道路ノ有效幅員ハ四・五米以上ナルコト

四、最小半徑

屈曲部ニ於ケル道路中心線ノ半徑ハ一一米以上ナルコト

但シ道路ガ交會又ハ屈曲スル箇所ノ突出部ノ內側路端線ハ半徑七・五米以上ノ圓弧ナルコト

五、最小視距

人家連檐ノ箇所ヲ除クノ外視距ハ道路ノ中心線上一・四米ノ高ニ於テ五〇米以上ナルコト但シ特殊ノ箇所ニ在リテハ之ヲ二五米迄短縮スルコトヲ得

視距五〇米未滿ノ箇所ニ於テハ時速十五粁以下ニ制限スルコト

六、最急勾配

坂路ノ勾配ハ六パーセントヨリ急ナラザルコト但シ半徑（米）ヲ勾配（パーセント）ニテ除シタル數ガ一・五以上ノ箇所ニ於テハ一〇パーセント迄急ナルコトヲ得

六パーセントヨリ急ナル坂路ニ於テハ時速十五粁以下ニ制限スルコト

七、橋梁其ノ他ノ工作物

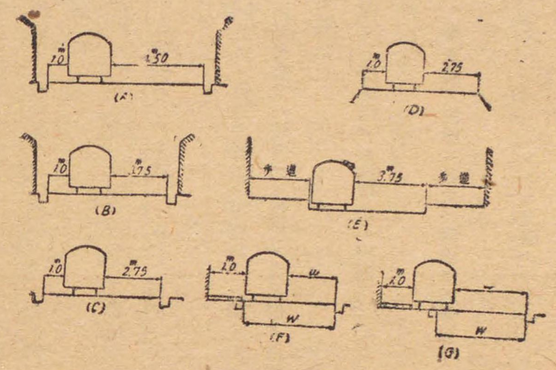
橋梁、潛橋等ハ道路取締令第十三條ニ規定スル荷重ニ對シ安全ナルコト

八、保安設備

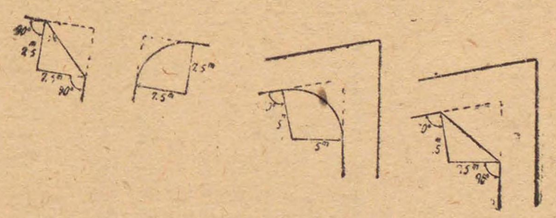
交通上危險ノ虞アル坂路、屈曲部、斷崖等ニハ速度制限標、道路標識、防護柵其ノ他必要ナル設備ヲ有スルコト

九、特別ノ事由アルモノニ限リ前各項ノ定メニ據ラザルコトヲ得

停留所ニ於ケル車體外幅員



道路ガ交會又ハ屈曲スル箇所ノ隅切



（Ⅰ）歩車道ノ區別ナキ道路

（1）兩側人家連檐ノ場所

（A）主要ナル街路又ハ國道

（B）其ノ他ノ道路

（2）其ノ他ノ場所

（C）（D）

（Ⅱ）歩車道ノ區別アル道路

（E）

（Ⅲ）路面外ニ幅員一米以上ノ昇降場ヲ設ケタル場合

（F）（G）

（1）車體外幅員（w）

（イ）兩側人家連檐又ハ連檐スベキ場所

主要ナル街路又ハ主ナル國道

$w \geqq 4.50$m

其ノ他ノ道路　$w \geqq 3.75$m

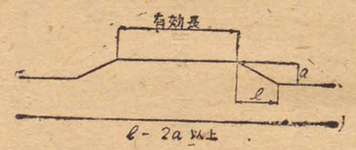
（ロ）其ノ他ノ場所　$w \geqq 2.75$m 以上

（2）道路ノ幅員（W）

車體幅　1.8m未滿　$W \geqq 3.6$m

車體幅　2.2m以下　$W \leqq 4.5$m

停留所及待避所ノ有效長



旅客自動車運輸事業使用車輛ニ關スル件

（昭和一五、九、二五、乙第二〇一號長崎縣知事宛
土木局長、警保局長回答）

本年七月二十三日附十五保第八九七七號ヲ以テ禀伺ニ係ル既免許路線於ニケル標記ノ件左記ノ通リ御了知相成度
追テ本件ハ時局下ニ於ケル暫行特例トシテ認メラレタル義ニ付道路ノ規格ニ合セザル箇所ニ付テハ事情ノ許ス限リ道路管理者又ハ運輸事業者ニ於テ改修方特ニ御配意相成度尚重量、幅員ヲ増大セル車輛ノ使用ヲ認可シタルトキハ道路、橋梁ノ現況調書及車輛圖（方法、重量記入ノモノ）ヲ添ヘ報告相成度

記

一、第一項ニ付テハ御意見ノ通リ措置可然
二、第二項ニ付テハ規格ニ抵觸スル區間（延長ノ三分ノ一以下）ニ於ケル道路ノ總幅員ガ使用車輛幅員ノ二倍程度ヲ有スル場合ニ限リ支障無之

長崎縣知事照會

近時旅客自動車運輸事業ニ於テハ乘客ノ激増ニ反シ之ガ輸送能力ハガソリンノ消費規正、タイヤー、チユウブノ不足其ノ他ノ事情ニ因リ却而減退ノ傾向ニ在リテ交通警察上ヨリ觀ルモ憂慮スベキモノアルニ鑑ミ企業統制或ハ代燃車ノ普及奬勵等ニ努メ來リタル結果事業者等ニ於テモ運營ノ圓滑ヲ期スベク經營ノ合理化ヲ圖ルト同時ニガソリン車ヲ木炭車ニ裝備轉換シ更ニ使用車輛ノ充實整備等計畫中ナルガ旅客定員ノ増加ハ自然其ノ車輛幅等ノ増大ト爲リ爲ニ昭和十一年一月十四日内務省發土第二號通牒道路規格ニ適合セザルコトト相成ルモノ勘カラザル狀況ナリ

而テ前記木炭車ヘ裝備轉換ノ結果ハ大型バス又ハトラツク等ハ内務省令道路取締令第十三條ノ制限積載量ヲ超過スルコトト爲ルモ國策的見地ヨリ其ノ使用ヲ慫慂シタル等ノ手前之ガ取締ニ付テハ相當考慮ノ餘地アルベク右道路規格ノ問題モ時局柄必ズシモ適當ナラザル樣思料セラレ殊ニ車輛幅等ハ製作者ニ於テ既ニ二、〇〇〇粍以下ノモノハ將來之ヲ製作セザルノ方針等ニ徵シ一層痛感セラルル次第ナルヲ以テ左記事項ニ付主務省ノ御意見御方針等何分ノ御明示相仰度此段及禀伺候也

記

一、木炭瓦斯發生爐ヲ裝備セル爲制限重量ヲ幾分超過スル場合ニ於テ車體ノ構造乃至交通上支障ナキ程度ノモノニ對シテハ之ガ使用ヲ認容可然哉
一、昭和十一年一月十四日附内務省發土第二號通牒ニ依リ從來車輛幅一、八〇〇粍ヲ許サレタル道路ニ於テ車輛幅二、〇〇〇粍ノモノヲ使用セントスル場合ニ於テ其ノ粁程中三分ノ二以上適合シ三分ノ一以下位ノ路線ガ若干該規格ニ抵觸スル程度ノモノニ對シテハ其ノ他ノ條件ヲ具備シ道路ノ現況亦交通上支障ナキ限リ之ガ使用ヲ認容可然哉

道路取締令第十三條ニ規定スル自動車總重量制限緩和ニ關スル件

（昭和一五、一〇、一、警發第六四七號熊本縣知事宛 警保局長、土木局長回答）

九月七日附熊保交第四四五二號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ禀伺有之候處之ヲ改正シ一般的ニ之ガ制限緩和ヲ行フガ如キハ道路保全上如何ノ儀ト思料セラレ候ニ付必要止ムヲ得ザル場合ハ道路取締令第十五條ノ規定ノ次第モ有之其ノ地方主要ノ道路ノ構造等ノ實情ニ稽ヘ旁々隣接府縣等ノ意嚮ヲ參酌シ道路交通保全上差支ヘナキ限度ニ於テ之ガ制限緩和ノ方法ヲ講ズルコトニ致度候條右ニ依リ御措置相成可然
追而一般道路ニ付本件制限緩和ヲ行フ場合ハ比較的構造脆弱ナル特定ノ道路又ハ橋梁等ノ貨物自動車ノ通行制限ニ付テハ相當御配慮相

成樣致度爲念申添候

熊本縣知事照會

自動車ノ性能逐年强化セラレ且又揮發油消費規正ニ依リ近時自動車ノ積載量次第ニ增加セル關係上道路取締令第十三條ノ規定ニ依ル千四百貫（五、二五〇瓩）ヲ超過スルモノ極メテ多キ實情ニ在ルモ揮發油消費規正ニ伴フ自動車ノ輸送力減少セル今日之ヲ該規定ニ依リ取締ヲ爲スコトハ實情ニ即セザル憾アルヲ以テ保安上支障ナキ程度ニ變更スルノ要アリト思料セラル

現在使用中ノ自動車ノ車輛重量ハ大略別表ノ通ナルヲ以テ之ニ最大積載量四千五百瓩ヲ加算シ總重量ヲ八千瓩程度ニ變更方可然御取計相成樣致度

尙各月二十二日附鐵道省監督局陸運第二課長ノ監運雜第一九號通牒ニ依レバ警視廳內貨物自動車ニ於テハ最大積載量ヲ四千三百瓩迄定メレラ居ルガ地方ニ於テモ警視廳認容ノ程度ニ最大積載量ヲ認メ（總重量變更）可然哉何分ノ御指示相仰度此段及禀伺候也

追テ本件ハ適正運賃決定上差迫リタル事案ニ付至急御指示相成樣致度申添候也

第五節　其ノ他

自動車修理加工業ノ整備ニ關スル件

（昭和一六、四、二三、一六機局第一六二九號各地方長官宛　機械局長、振興部長通牒）

現下ノ情勢ニ鑑ミ自動車輸送力ノ增强確保ハ喫緊ノ要素ニシテ之ガ爲自動車修理加工業亦益其重要性ヲ加ヘツツアル處業界ノ現況ハ未ダ之ガ緊急ノ必要ニ即應シ得ザルモノ有之此ノ際左記要領ニ依リ業界ノ整備ヲ圖リ度ニ付テハ各道府縣ニ於ケル之ガ實施ニ付格別ノ御配慮相煩度此段及通牒候也

一、方　針

機械、鐵鋼、製品工業整備要綱（昭和十五年十二月二十一日）（一五機第四、八四五號商工次官通牒）ニ據リ全國ニ於ケル自動車修理加工業者ヲ其ノ有スル設備、技術及地理的狀況等ノ關係ヲ考慮シ之ガ組織化ヲ圖リ斯業ヲ以テ現下ノ要求ニ即應スルノ體制ヲ整具セシメシトス

二、實施方法

1　全國的統制團體トシテ全國自動車修理加工工業組合聯合會ヲ設ケ必要ナル統制ヲ行ハシムルコト

イ　本聯合會ノ地區ハ內地一圓トスルコト

ロ　本聯合會ハ各道府縣每ニ組織セラルベキ道府縣別自動車修理加工工業組合ヲ以テ構成スルコト

2　地方長官ハ右趣旨ニ據リ道府縣內自動車修理加工業者ニシテ適當ト認ムル者ヲ指定シ道府縣別修理加工工業組合ヲ組織セシムルコト

イ　道府縣別修理加工工業組合員タルベキ者ノ資格ハ自動車（小型自動車ヲ含ム）用車體及シヤシー（機關、放熱器、電氣部分品等ヲ含ム）ノ修理加工業者タルコトヲ要シ之レガ指定ニ當リテハ業者ノ設備、技術、地理的狀況等ヲ考慮スルコト

ロ　組合結成ニ際シテハ必要ニ應ジ既存關係組合ノ改組合併等ノ法ニ依リ可然整備統合ヲ爲スコト

右ハ概ネ五月末日迄ニ完了ノ上六月十日限リ情況ヲ報告スルコト

自動車及同部分品配給機構整備ニ關スル件

（昭和一七、六、五、一七、機局第二六二六號地方長官宛機械局長通牒）

自動車及同部分品ノ配給ニ關シテハ從來主トシテ既存ノ販賣機構ヲ基礎トシ各車種ニ付別個ノ機構ヲ通ジ實施シ來リタル處今般自動車及同部分品ノ全般ニ亘リ販賣機構ヲ一元化シ配給ノ圓滑、適正ヲ期シ併セテ經費ノ節減、餘剩勞力ノ供出ニ資セシムル爲メ別紙要項ニ據リ現機構ヲ整備スルコトト相成候ニ付テハ委細右ニ依リ御承知ノ上之ガ實施ニ付格段ノ御配慮相成度此段及通牒候也

自動車及同部分品配給機構整備要項

一、方　針

我國自動車及同部分品（同附屬品及工具ヲ含ム以下同ジ）ノ販賣ノ現況ニ鑑ミ概ネ左記事項ヲ目途トシ之ガ一元的配給機構ヲ整備セントス

（一）生産及配給部門ヲ經營上分離シ製造業者ヲシテ生産ニ專念セシメ以テ技術竝ニ品質ノ向上ヲ圖ルコト

（二）一元的計畫配給ノ實施ニ依リ配給ノ圓滑、適正ヲ期シ以テ輸送力ノ確保ヲ圖ルコト

（三）現存販賣機關ヲ整備シ經營ノ合理化ニ依リ經費ノ節減ヲ圖リ併セテ餘剩勞力ノ供出ヲ圖ルコト

二、要　領

一、日本自動車配給株式會社（假稱）ノ設立

自動車及同部分品ノ配給ヲ一元的ニ統制スル爲中央ニ之ガ一手買取竝ニ販賣ヲ行フ會社ヲ設立スルコト

△構　成

1　組織ハ株式會社トスルコト

2　資本金ハ自動車統制會長ニ於テ指示スルコト

3　出　資　者

(1)　日産自動車株式會社及日産自動車販賣株式會社

(2)　トヨタ自動車工業株式會社（販賣部門ヲ含ム）

(3)　ヂーゼル自動車工業株式會社（〃　〃　〃）

(4)　日本自動車部分品工業組合

(5)　自動車部分品ノ卸賣業者（全國自動車部分品工業組合聯合會協力者）

(6)　地方自動車配給株式會社

(7)　日本自動車修理加工工業組合聯合會

(8)　全國貨物自動車運送事業組合聯合會

(9)　全國乘合自動車運送事業組合聯合會

(10)　日本通運株式會社

右ノ内(6)乃至(10)ノ業者ハ其ノ希望ニヨリ出資セシムルコト

△機　能　自動車及同部分品ノ一手買取竝ニ販賣ヲ爲スヲ主タル業務トスルコト

△取扱品目

(1)　自動車製造事業法ニ依ル許可會社ノ製造ニ係ル自動車及同部分品（ヂーゼル自動車工業株式會社ノ製造ニ係ル軍納品ヲ除ク）

(2)　日本自動車部分品工業組合所屬組合員ノ製造ニ係ル自動車部分品

通牒

(3) 前「一」ノ3ノ(5)ノ業者ノ現ニ在庫スル自動車部分品

(4) 其ノ他必要ト認メラルルモノ

△ 設備施設　本社ハ東京市ニ置キ必要ノ地ニ支店又ハ出張所ヲ設ケ買取、檢査、在庫、配給ニ必要ナル店舗、倉庫其ノ他ノ設備施設ヲ保有スルコト

右ハ前「一」ノ3ノ(1)乃至(5)ノ出資業者ノ現存設備施設ヲ賃借又ハ買收シテ之ニ充ツルヲ本旨トスルコト

△ 設立準備

(1) 自動車統制會理事長ヲ設立準備委員長トシ商工省ノ承認ヲ受ケタル自動車統制會關係理事竝ニ前「一」ノ3ノ(1)乃至(5)ノ出資業者ノ代表者ヲ設立準備委員トシ會社設立ニ必要ナル一切ノ準備ニ當ラシムルコト

(2) 設立準備委員長ハ前(1)ニヨリ會社設立ノ大綱ヲ樹立シ六月二十日迄ニ商工省ニ協議スルコト

二、地方自動車配給會社ノ設立

日本自動車配給株式會社ノ下部機構トシテ道府縣ニ地方自動車配給株式會社ヲ設立スルコト

△ 區　域　一又ハ二以上ノ道府縣ノ區域ニ亘リ一會社ヲ設立スルコト

△ 構　成

1 組織ハ株式會社ヲ原則トスルコト

2 資本金ハ地方長官ニ於テ指示スルコト

3 出資者ハ左ノ者ニシテ地方長官ノ指定ヲ受ケタルモノトスルコト

(1) 日產自動車販賣株式會社營業所及特約販賣店

(2) トヨタ自動車工業株式會社特約販賣店

(3) ヂーゼル自動車工業株式會社販賣代理店

(4) 全國自動車部分品工業組合聯合會ノ地方買受機關

△ 機　能　日本自動車配給株式會社ヨリ割當ヲ受ケタル自動車及同部分品ヲ道府縣內ニ販賣ヲ爲スヲ主タル業務トスルコト

△ 取扱品目　前「一」ニ準ズルコト

△ 設備施設　買取、在庫、販賣ニ必要ナル設備施設ヲ保有スルノ外自動車ノ修理ニ必要ナル限度ニ於テ修理設備ヲモ保有スルコト

右ハ前「二」ノ「3」ノ出資業者ノ現在ノ設備施設ヲ賃借又ハ買收シテ之ニ充ツルヲ本旨トスルコト

△ 下部機構ノ整備

(1) 道府縣內必要ノ地ニ販賣店ヲ指定シ販賣ニ必要ナル限度ニ於テ店舗其ノ他ノ設備施設ヲ保有セシムルコト

(2) 指定販賣店ハ地方長官現存ノ小賣業者中ヨリ之ヲ選定スルコト

(3) 地方長官指定販賣店ヲ選定スル場合ニ於テハ其ノ經營者、設備及配給數量等ヲ考慮シ圓滑適正ナル配給ヲ期シ得ルヤウ措置スルコト

△ 現存販賣機關ニ對スル措置

現存販賣業者ノ整備ニ付テハ左ノ諸點ニ留意スルノ他小賣業ニ付テハ「小賣業整備要綱」(昭和十七年五月二十日附一七振第二九六九號)ニ準據シ之ガ徹底ヲ期スルコト

(1) 全國自動車部分品工業組合聯合會ノ地方買受機關ノ構成員ニ對シテハ其ノ卸賣實績其ノ他ヲ考慮ノ上前「二」ノ「3」ニ依ル右地方買受機關ノ引受ケタル持株ヲ讓渡セシムルコト

(2) 現存ノ自動車部分品小賣業者ニ關シテハ前(3)ニ依リ其ノ設備施設ノ有效利用ヲ圖ルト共ニ從來ノ實績其ノ他ヲ慮考ノ上前「二」

ノ「3」ノ出資業者ノ持株ヲ讓受クルコトヲ得ルモノトス

(3) 自動車ノ修理加工ヲ兼業スル者ニシテ適當ナル設備施設ヲ有スル者ハ修理加工專業者トシテ育成スルコト

(4) 會社ニ於テ買收若ハ賃借セザル設備施設ヲ所有スル販賣業者又ハ指定販賣店若ハ修理加工專業者トナリ得ザル販賣業者ニ對シテハ會社ニ於テ適當ナル共助方策ヲ講ゼシムルト共ニ國民厚生金庫ニ於テ之ニ對スル措置ヲ爲サシムルコト

△ 設立準備

(1) 地方長官ハ商工省ニ協議ノ上出資者中ヨリ設立準備委員ヲ選出セシメ會社設立ニ關スル準備ニ當ラシムルコト

(2) 地方長官ハ前(1)ニ依リ會社設立ノ大綱ヲ樹立シ七月十日迄ニ商工省ニ協議スルコト

三、措置

(一) 配給機構ノ一元化ニ依リ配給部門ヲシテ生産部門ニ對シ支配的ナラシメザルコト

(二) 生産及配給部門ノ分離ニヨリ製造技術ノ進歩ヲ阻害スルコトナキ樣機構ノ構成ニ當リ考慮スルコト

(三) 極力販賣經費ノ節減ヲ圖リ自動車及同部分品ノ販賣最終價格ヲ低廉ナラシムルコト

創立趣意書

本邦ニ於ケル自動車及自動車部分品（附屬品及工具ヲ含ム、以下同ジ）ノ販賣ノ現狀ニ鑑ミ概ネ左記事項ヲ目的トシ一元的配給機構ヲ整備シ以テ之ガ配給ノ圓滑適正ヲ期センガ爲本會社ヲ創立セントスルモノナリ

即チ

(一) 自動車及同部分品ノ生産及配給部門ヲ經營上分離シ製造業者ヲシテ生産ニ專念セシメ製造技術ノ向上、製品ノ優良化ヲ圖ラシムルコト

(二) 一元的計畫配給ノ實施ニ依リ配給ノ圓滑、適正ヲ期シ以テ輸送力ヲ確保スルコト

(三) 現有販賣機關ヲ整備シ經營ノ合理化ニ依リ經費ノ節減ヲ圖リ併セテ餘剩勞力ノ供出ヲ計ルコト

事業目論見書

一、資本金　壹千萬圓也

二、株式ノ拂込　全額拂込

三、目的　自動車及自動車部分品ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲左ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的トス

一、自動車及自動車部分品ノ買取、販賣竝ニ輸移出入

二、前號ニ關聯スル事業ニ對スル投資、融資及債務ノ保證

三、前各號ニ掲グルモノノ外本會社ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事業

四、事業資金　貳千五百萬圓也（資本金超過額ハ借入金ニ依リテ充當ス）

五、事業計畫　本邦ニ於ケル自動車及自動車部分品ノ一手買取竝ニ一手配給ヲ行ヒ以テ前記目的ヲ達成セントス

新會社成立後ノ配給ノ措置概要

(一) 自動車ニ關スル業務

イ、乘用自動車、乘合自動車、貨物自動車又ハ其ノ車臺ヲ自動車製造業者ヨリ製造業者販賣價格ニテ買取ルコト

ロ、陸海軍竝ニ資材支給ノ需要ニ對シテハ完成車ニ附屬品、工具等特定ノモノヲ整備ノ上直接納入スルコト

ハ、一般需要ニ對シテハ地方自動車配給株式會社ニ賣渡スコト

ニ、海外需要ニ對シテハ直接又ハ輸出調整機關ヲ通ジテ輸出スルコト

ホ、製造業者ニ代ツテ故障ニ對スル保證業務ヲ行フコト

ヘ、製造業者ニ代ツテ地方自動車配給株式會社ニ對シ自動車使用上ニ關スル諸般ノ指導ヲ行ヒ汎ク技術的資料ヲ蒐集シ製造技術ノ向

上ニ資スルコト

ト、自動車統制會ノ生産配給計畫ノ樹立ニ關スル資材ヲ蒐集スルコト

チ、再生中古車ノ販賣統制ヲ行フコト

(二) 部分品ニ關スル業務

イ、自動車修理用部分品製造業者ヨリ檢査ノ上製造業者ノ公定、協定、停止價格ニテ買取ルコト

ロ、日本自動車製造工業組合竝ニ日本自動車部分品工業組合ニ所屬スル組合員及出資卸業者ノ在庫品ハ六月三十日現在ヲ以テ既約定品ト未約定品別ニ登錄セシメ必要ニ應ジ順次檢査ノ上公定、協定、停止價格以内ニテ買取ルコト

ハ、日本自動車製造工業組合竝ニ全國自動車部分品工業組合聯合會ニ對シテハ六月三十日現在ノ在庫表竝ニ製造業者別註文殘高表ヲ作成セシメ本會社ニ移管スルコト

ニ、製品ノ規格品質ヲ檢査シ合格品ニマークヲ附シ本合格品ノ市場濫出ヲ防止スルコト

ホ、納入竝ニ配給ニ關シテハ(一)ニ準ズルコト

(三) 其ノ他前各號ニ關聯セル業務

地方自動車配給株式會社經營方針

一、地方需給協議會ノ設置

道府縣ニ於ケル自動車及同部分品ノ需給調整其ノ他販賣統制ニ關スル重要ナル事項ヲ協議シ地方自動車配給株式會社(以下地方會社ト稱ス)ノ經營ヲ圓滑ナラシムル爲地方會社ニ道府縣地方需給協議會ヲ設置スルコト

(一) 本協議會ノ協議員ハ左ノ者ヲ以テ之ニ充ツルコト

(1) 地方會社役員

(2) 指定販賣店代表者

(3) 道府縣自動車修理加工工業組合代表者

(4) 運輸事業團體代表者

右ノ外道府縣係官ヲ依囑シ參與トスルコト

(二) 本協議會ハ左ノ事項ニ付協議スルモノトスルコト

1、日本自動車配給株式會社ヨリ割當ヲ受ケタル自動車及同部分品ノ種類別販賣先別配給計畫

2、日本自動車配給株式會社ニ提出スベキ自動車及同部分品ノ種類別販賣先別需要豫想數量

3、其ノ他販賣統制ノ目的達成ニ必要ナル事項

二、資本金額ノ決定

地方會社ノ資本金ハ別表(一)ヲ參考基準トシ地方長官ノ指示ニ基キ適宜決定スルコト

三、出資比率ノ決定

地方會社ノ出資比率ハ從來ノ販賣實績、設備、資力等ヲ參酌ノ上地方長官ノ承認ヲ受ケ決定スルコト

右ノ販賣實績ニ關シ自動車ニ付テハ最近二ケ年間ニ於ケル販賣臺數、同部分品ニ付テハ其ノ取扱車種ノ當該道府縣保有臺數ヲ基準トシテ算出スルコト

四、株式ノ讓渡

株式ハ會社ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ之ヲ他人ニ讓渡又ハ質入スルコトヲ得ザラシムルコト

五、業務ノ範圍

地方會社ハ自動車ヲ需要者ニ販賣スルノ外自動車部分品ニ付テハ卸賣ノミヲ爲シ直接販賣ヲ爲サザルモノトスルコト

六、販賣價格

(一) 地方會社ハ地方需給協議會ノ議ヲ經中央會社ヨリノ仕入價格ニ基キ公定、協定又ハ停止價格ノ範圍内ニ於テ指定販賣店ニ配給スベキ販賣價格竝ニ需要者ヘノ販賣價格ヲ決定スルコト

(二) 地方會社ハ道府縣修理加工工業組合員ノ自動車部分品ノ定期需要ニ付テハ販賣價格ノ割引ヲ爲スコト

1 右ノ定期需要ハ日本自動車配給株式會社ヨリ指示ノ範圍内ニ於テ種類別販賣先別配給數量ヲ地方需給協議會ノ議ヲ經テ決定ノ上道府縣内配給計畫ノ中ニ明示スルコト

2 右ニ依リ自動車部分品ヲ買受ケタル道府縣修理加工工業組合員ハ其ノ買受ケタル部分品ヲ其ノ修理工場ニ於テ自動車修理用ニ使用スルノ外他ノ第三者ニ販賣スルコトヲ得ザルモノトスルコト

七、在庫基準

地方會社ハ常時年間所要部分品ノ見積金額ノ最低十分ノ一ノ額ニ相當スル自動車部分品ヲ在庫スルコト

八、既設買受機關トノ引繼

地方會社ハ自動車修理用部分品配給統制規則ノ改正セラレタル日現在ヲ以テ既設地方買受機關ヨリ既契約ニ基ク其ノ在庫品及未入荷品ニ付移管ヲ受ケ其ノ一切ノ事務ヲ繼承スルコト

自動車修理加工業ノ整備ニ關スル件

(昭和一七、一二、二四、一七機局第五一六三號)
(各地方長官宛　機械局長、企業局長通牒)

自動車修理加工業ニ關シテハ曩ニ昭和十六年四月二十三附一六機局第一六二九號通牒ニ依リ道府縣自動車修理加工工業組合及日本自動車修理加工工業組合聯合會ノ結成ヲ見之ガ組織化ヲ了シタル處今般時局ノ要請ニ即應シ左記ニ依リ同工業ノ整備ヲ行ヒ自動車修理能力ノ增强ヲ圖ルコトト相成タルニ付テハ御了知ノ上之ガ實施徹底ニ付格段ノ御配意相煩度此段及通牒候也

記

一、方針

時局ノ要請ニ即應シ曩ニ道府縣自動車修理加工工業組合及日本自動車修理加工工業組合聯合會ノ結成ニ依リ其ノ組織化ヲ了シタル自動車修理加工業ヲ整備シ自動車修理加工業者中適當ナル者ヲ中心トシテ自動車修理加工能力ノ增强ヲ圖リ以テ輸送力ノ確保ヲ期セントス

二、實施方法

1、道府縣自動車修理加工工業組合組合員ノ修理加工工場ヲ對象トスルコト

2、修理加工能力ノ增强ヲ目標トシ地方ノ交通運輸ノ實情、自動車ノ保有竝ニ運行狀況、地理的分布、現存ノ設備、技術其ノ他ヲ考慮ノ上左ノ諸點ニ留意スルコト

イ、道府縣内必要ノ地ニ當該地域ニ於ケル修理加工業ノ中核トナルベキ一貫作業工場（以下主要工場ト稱ス）ヲ設置スルコト

(1) 主要工場設置ノ場所、數竝ニ設備ハ地方長官ニ於テ計畫ヲ樹立スルコト

主要工場ノ設置ニ當リテハ現存ノ工場ヲ活用シ企業合同其ノ他ノ方法ニ依リ整備統合ヲ爲サシムルコトヲ原則トスルコト

(2) 現存一貫作業工場ニシテ適當ナルモノハ其ノ儘主要工場指定計畫ニ含マシメ差支ヘナキコト

(3) 主要工場ハ別表最低基準以上ノモノニシテ機關、放熱器、電裝品（特別ノ事情ノ存スル場合ハ除外スルコトヲ得）、板金、塗裝、代用燃料裝置ヲ含ム

シヤシーノ全般的修理加工ヲ營ミ得ベキ工場タルコト但シ已ムコトヲ得ザル事情ノ存スル場合ニ於テハ放熱器、電裝品、板金、塗裝、代用燃料裝置ニ關スル單一作業ノ專業者ヲ其ノ指定工場トシテ利用シ得ルコト

(4) 道府縣自動車配給株式會社ノ修理工場ハ可及的ニ主要工場タラシムル如ク措置スルコト

(5) 主要工場中道府縣自動車配給株式會社ニ屬セザルモノノ業務ノ運營ニ關シテハ道府縣自動車配給株式會社ト緊密ナル連繫ヲ保持セシムルコト之ガ爲道府縣自動車配給株式會社ヲシテ主要工場ト指定契約ヲ締結セシメ且必要ニ應ジ資本參加其ノ他適宜ノ方法ヲ講ゼシムル如ク指導スルコト

ロ、前「イ」ニ依リ主要工場タルベキモノ以外ノ工場ノ取扱ニ關シテハ昭和十六年四月二十三日附一六機局第一六二九號通牒ノ趣旨ニ依ルモノトスルコト

3、車體製造業者ノ營ム車體ノ修理加工ハ近ク設立セラルベキ自動車車體統制組合ニ於テ取扱ハシムベキヲ以テ之等業者ニシテ現ニ道府縣自動車修理加工工業組合組合員タルモノハ車體ノ修理加工ニ付テハ同組合ヨリ脱退セシムベキコト

4、地方長官ハ前1乃至3ニ依リ來ル三月末日迄ニ地方ノ事情ニ即應シ具體的計畫ヲ樹立シ其ノ大綱ヲ別紙樣式(一)ニ依リ商工省ニ協議スルコト

5、自家修理工場ノ取扱ハ左ニ依ルコト

イ、現ニ道府縣自動車修理加工工業組合組合員タルモノハ其儘存續セシムベキモ然ラザルモノト雖モ昭和十六年四月二十三日附一六機局第一六二九號通牒ノ趣旨ニ則リ適當ナルモノハ必要ニ應ジ修理工場トシテ道府縣自動車修理加工工業組合ニ加入セシメ得ベキコト

ロ、設備ノ擴充ハ原則トシテ之ヲ行ハザルコトトスルモ其ノ事業用自動車ノ日常ノ運行ニ支障ナカラシムル爲ノ小修理ニ必要ナル限度ニ於テハ既存設備ノ借入、讓受等ノ方法ニ依リ之ヲ認メ得ベキコト

ハ、前「イ」及「ロ」各後段ニ依ル措置ニ關シテハ其ノ都度詳細ナル事情ヲ具シ別紙樣式(二)ニ依リ豫メ商工省ニ協議スルコト

6、本要綱ノ實施ニ當リテハ小型自動車修理加工業ノ整備ハ考慮セザルコト

樣式(一)

一、設置スベキ主要工場ノ概要

イ、主要工場名及代表者名

ロ、設置區分(別表A、B、Cノ別ニ依ル)

ハ、設置場所

ニ、資本金

1、自己資本

2、借入金

ホ、資本系統(主ナル出資者名)

ヘ、設置概要

1、工場敷地坪數

2、工場建坪數

3、修理加工用機械設備臺數(機械別)

4、修理加工工具數

5、修理加工作業名(例ヘバ機關、放熱器、代燃裝置)

ト、指定工場概要

1、指定工場名

2、所在地

通牒

3、工場敷地坪數
4、工場建坪數
5、修理加工用機械設備臺數（機械別）
6、修理加工工員數
7、修理加工作業名（例ヘバ放熱器、塗裝、代燃裝置）
チ、主要工場設置ノ具體的方法ノ概要
二、管下自動車修理加工業ノ概要
（イ）車種別保有臺數
（ロ）車種別實動臺數
（ハ）修理加工需要ニ對スル特殊事情ノ有無
（ニ）主要工場以外ノ修理加工業者トシテ殘存セシムベキ業者數
（指定工場竝ニ自家修理加工場ヲ除ク）
（ホ）殘存スベキ自家修理工場數

様式（二）

一、事業者名
二、事業ノ概要
三、車種別自動車保有臺數
四、修理加工ニ關スル投資金額

五、修理加工工場敷地坪數
六、修理加工工場坪數
七、修理加工工員數
八、修理加工用機械設備臺數（機械別）
九、修理加工作業ノ內容（例ヘバ機關、放熱器、代燃裝置）
十、保有車輛ノ修理全體中自家工場ニ於テ爲ス比率（實績金額ニ於テ）

別表

主要工場設備區分	工場建坪數	工員數	設備機械臺數 旋盤	ボール盤	シリンダ中グリ盤	弁研磨盤	工具研磨盤	空氣壓縮機	熔接機	工具及檢査用機器
A	五〇〇以上	一〇〇以上	二以上	一以上	二以上	二以上	二以上	二以上	一以上	一式
B	二〇〇〃	五〇〃	一〃	一〃	一〃	一〃	一〃	一〃	一〃	一式
C	五〇〃	一五〃	一〃	一〃	一〃	一〃	一〃	一〃	一〃	一式

第四編　官規

消防用自動車ノ增車及代替ニ關スル件

（昭和一六、四、五、警保局警發甲第六四號各地方長官宛　警保局長通牒）

標記ノ件ニ關シテハ昭和十六年二月七日監運第三二二號ヲ以テ鐵道省監督局長ヨリ通牒有之候處消防用自動車ニ付テハ今回當省ニ於テ取扱フコトト相成候ニ付テハ左記事項御留意ノ上昭和十六年度第一四半期（四月乃至六月）分消防自動車ノ增車及代替御調査ノ上別紙樣式ニ依リ四月二十日迄ニ御回報相煩度候

追テ本件ハ鐵道省監督局長ト協議濟ニ有之尙自動車ハ注文ヲ受ケタル喞筒業者ニ配給可致爲念

記

一、昭和十六年第一四半期消防自動車割當ハ少數ニ付當省ニ於テハ防空竝ニ消防上ノ重要性ヲ考慮シ決定スル豫定ニ有之嚴選セラレタキコト

二、割當ハ回報期日迄ニ豫算計上ヲ完了シタルモノ等確實ナルモノニ限ルコト

別紙樣式

喞筒自動車ノ購入者名（市町村工場名等）	希望スル自動車種別「ニッサン」「トヨタ」等	希望スル概略	喞筒自動車購入契約濟ノモノハ其ノ販賣業者名	增車代替ノ別	備考
		配給期日			

運輸通信省官制（拔萃）

昭和十八年十一月一日
勅令第八百二十九號

第一條　運輸通信大臣ハ陸運（自動車製造事業ヲ除ク）、水運、港灣、倉庫營業、航空（航空機製造事業ヲ除ク）及氣象ニ關スル事務ヲ管理ス

運輸通信大臣ハ通信院ヲ管理ス

第二條　大臣官房ニ於テハ通則ニ掲グルモノノ外所管行政ノ考査一般、所管防衞業務ノ總括及氣象（海運總局ノ主管ニ屬スルモノヲ除ク）ニ關スル事務ヲ掌ル

第三條　運輸通信省ニ左ノ二總局及四局ヲ置ク

企畫局
鐵道總局
海運總局
自動車局
港灣局
航空局

鐵道總局ニ長官官房竝ニ總務局、業務局、施設局及資材局ヲ置ク
海運總局ニ長官官房竝ニ總務局、海運局、船舶局及船員局ヲ置ク

自動車局ニ運輸通信大臣ノ定ムル所ニ依リ部又ハ部及課ヲ置クコトヲ得

航空局ニ監理部及乘員部ヲ置ク其ノ分掌事務ハ運輸通信大臣之ヲ定ム

第四條　企畫局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　運輸ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要政策ノ綜合調整ニ關スル事項

二　內地ニ於ケル運輸ト內地以外ノ地域ニ於ケル運輸トノ連絡ニ關スル事項

第五條　鐵道總局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　國有鐵道及其ノ附帶事業ニ關スル事項

二　國有鐵道ニ關聯スル國營船舶ノ業務ニ關スル事項

三　地方鐵道、專用鐵道及軌道ニ關スル事項

四　國有鐵道其ノ他ノ陸運及國有鐵道ニ關聯スル國營船舶ノ要員ニ關スル事項

五　帝國鐵道會計ノ經費及諸收入ノ豫算、決算竝ニ會計及其ノ監査ニ關スル　項

六　帝國鐵道會計ノ國有財產及物品竝ニ所要電力ニ關スル事項

七　鐵道及軌道ノ用ニ供スル車輛其ノ他ノ機械器具ニ關スル事項

八　倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ニ關スル事項

第六條　海運總局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　船舶、造船、船員、航路標識其ノ他ノ水運ニ關スル事項

二　港灣ノ運營ニ關スル事項

三　航路標識附屬ノ設備ニ依ル氣象觀測ニ關スル事項

四　臨港倉庫ニ係ル倉庫營業ニ關スル事項

第七條　自動車局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　國有鐵道ニ關聯スル國有自動車及其ノ附帶事業ニ關スル事項

二　自動車交通事業、小運送業其ノ他ノ陸運（鐵道及軌道ヲ除ク）ノ事業ニ關スル事項

三　自動車其ノ他ノ陸運（鐵道及軌道ヲ除ク）ノ用ニ供スル機械器具ニ關スル事項

第八條　港灣局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　港灣ノ建設、保存及管理ニ關スル事項

二　港灣內ノ公有水面ニ關スル事項

第九條　航空局ニ於テハ航空ニ關スル事項ヲ掌ル

第十五條　地方ニ左ノ九鐵道局ヲ置ク

東京鐵道局
名古屋鐵道局
大阪鐵道局
廣島鐵道局
門司鐵道局
新潟鐵道局
仙臺鐵道局
札幌鐵道局

官規

樺太鐵道局

鐵道局ノ位置及管轄區域ハ運輸通信大臣之ヲ定ム

第十六條　鐵道局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　國有鐵道ノ現業事務、國有鐵道ニ關聯スル國營自動車及國營船舶ノ現業事務竝ニ其ノ附帶事業ノ現業事務ニ關スル事項

二　運輸通信大臣ノ指定スル施設ノ建設又ハ改良ニ關スル事項

三　地方鐵道、軌道、自動車交通事業、小運送業其ノ他ノ陸運ノ業務ノ監督ニ關スル事項

四　倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ノ監督ニ關スル事項

運輸通信省事務分掌規程（拔萃）

昭和十八年十一月一日
運輸通信省達第一號

一　大臣官房

室及課名	分掌事項
考査室	一　所管行政ノ考査一般ニ關スル事項 二　行政査察ニ關スル事項 三　所管事務ノ連絡調整ニ關スル事項 四　圖書館ニ關スル事項 五　修史ニ關スル事項
文書課	一　大臣及次官ノ官印竝ニ省印其ノ他官印（他ノ主管ニ屬スルモノヲ除ク）ノ管守ニ關スル事項 二　文書ノ接受及發送ニ關スル事項 三　成案文書ノ審査及進達ニ關スル事項 四　統計報告ノ調製ニ關スル事項 五　文書ノ編纂及保存竝ニ法規類ノ編纂及配付ニ關スル事項 六　法令ニ依ル文書其ノ他ノ秘密保持ニ關スル事項 七　弘報事務ニ關スル事項 八　官報公告及運輸通信公報ノ編纂、印刷及配布ニ關スル事項 九　議會關係事務ノ連絡及記錄ニ關スル事項 十　運輸通信省委員ニ關スル事項 十一　總局、局又ハ他課ニ屬セザル事項
秘書課	一　官吏及官吏待遇者ノ進退、身分及賞罰ニ關スル事項 二　任用令及俸給令ニ關スル事項 三　試驗規則及服務紀律一般ニ關スル事項 四　恩給、叙位及叙勳ニ關スル事項 五　官制定員ニ關スル事項 六　外國ヘノ旅行ニ關スル事項

	七	儀式禮典ニ關スル事項
會計課	一	本省所管ノ經理ノ綜合ニ關スル事項
	二	本省所管ノ歲入歲出ノ豫算決算ニ關スル事項（他ノ主管ニ屬スルモノヲ除ク以下同ジ）
	三	本省所管會計ニ關スル事項
	四	本省所管ノ國有財産及物品ニ關スル事項
	五	本省ノ豫算ノ經理ニ關スル事項
	六	本省ノ收入、支出及現金ノ出納ニ關スル事項
	七	本省所管會計ノ法規ニ關スル事項
	八	本省所管會計ノ監査及計算證明ノ調査ニ關スル事項
	九	共濟組合ニ關スル事項
防衞氣象課	一	防衞及總動員警備ノ綜合ニ關スル事項
	二	氣象官署ニ關スル事項
	三	外地ニ於ケル氣象ニ關スル事務ノ監督ニ關スル事項
	四	其ノ他氣象ニ關スル事項
	五	廳中取締ニ關スル事項

課名	分掌事項
第一課	一 交通動員計畫其ノ他運輸通信ニ關スル綜合計畫ノ設定ニ關スル事項
	二 運輸通信ニ關スル重要政策ノ綜合調整及企畫ニ關スル事項
	三 國家總動員計畫竝ニ國土計畫ニ關スル事務ノ連絡調整ニ關スル事項
	四 局所管事務ノ綜合調整ニ關スル事項
	五 局內他課ニ屬セザル事項
第二課	一 運輸業務ノ實施計畫ノ調整ニ關スル事項
	二 運輸施設ノ實施計畫ノ調整ニ關スル事項
	三 綜合輸送ニ關スル協議會等ニ關スル事項
第三課	一 內地以外ノ地域トノ運輸業務ノ連絡調整ニ關スル事項
	二 內外地連絡運輸ニ必要ナル施設計畫ノ調整ニ關スル事項
	三 外地ニ於ケル海陸空綜合運輸ノ監督ニ關スル事項
	四 調査一般ニ關スル事項

局課名	分掌事項
長官官房	
總務課	一 庶務及文書ニ關スル事項
	二 乘車證ニ關スル事項
	三 鐵道及軌道ノ秘密保持ニ關スル事項
	四 弘報連絡事務ニ關スル事項
	五 鐵道法規類ノ編纂及配布ニ關スル事項
	六 總局所管ノ文書ノ編纂及保存ニ關スル事項
	七 鐵道博物館ニ關スル事項
	八 總局內他局課ニ屬セザル事項
人事課	一 職員ノ勤務指定ニ關スル事項
	二 判任官以上ノ定員ニ關スル事項
	三 職員ノ服務及服制ニ關スル事項
	四 外地ヘノ旅行ニ關スル事項
	五 其ノ他人事ニ關スル事項
	一 陸運ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要政策ノ綜合調整ニ關スル事項
	二 帝國鐵道會計ノ經費及諸收入ノ豫算、決算竝ニ會計及其ノ監査ニ關スル事項
	三 帝國鐵道會計ノ國有財產ニ關スル事項
	四 國有鐵道其ノ他ノ陸運及國有鐵道ニ關聯スル國營船舶ノ要員ニ關スル事項
	五 外地ニ於ケル鐵道ニ關スル事務ノ監督ニ關スル事項
	六 鐵道防衛ニ關スル事項
總務課	一 陸運ニ關スル綜合計畫ノ設定其ノ他重要陸運政策ノ綜合調整ニ關スル事項
	二 豫算ノ編成計畫ニ關スル事項
	三 鐵道會議ニ關スル事項
	四 外地ニ於ケル鐵道ニ關スル事務ノ監督ニ關スル事項
	五 鐵道防衛事務局ニ關スル事項
	六 局所管事務ノ綜合調整ニ關スル事項
	七 局內他課ニ屬セザル事項
主計課	一 豫算及決算ニ關スル事項
	二 會計諸勘定ニ關スル事項
	三 歲出ノ支出及現金ノ運用ニ關スル事項
	四 財產事務ノ總括竝ニ財產臺帳及同總括簿ノ整理ニ關スル事項
	五 特種財產ノ管理及財產ノ處分ニ關スル事項

總務局

會計課

一 會計事務ノ監督ニ關スル事項
二 現金ノ出納及保管ニ關スル事項
三 歳入ノ徴收及繰替拂ニ關スル事項
四 帝國鐵道會計ニ對スル會計檢査院ノ委託事務ニ關スル事項
五 現金又ハ物品ノ亡失毀損ノ處分ニ關スル事項
六 國有鐵道及之ニ關聯スル國營自動車竝ニ國營船舶其ノ他附帶事業ニ關スル損害賠償、慰藉金及訟訴ニ關スル事項
七 本省ノ會計ニ關スル事項

調査課

一 運輸收入ノ審査及連絡運輸ノ清算ニ關スル事項
二 統計ニ關スル事項
三 實費調査其ノ他運輸ノ基本調査ニ關スル事項

動員課

一 陸運動員ニ伴フ諸計畫ニ關スル事項
二 外地派遣竝ニ資材供出ノ計畫ニ關スル事項
三 外地及外國ヘノ派遣陸運職員トノ連絡ニ關スル事項

整員課

一 陸運要員需給ノ基本計畫及國民動員計畫ニ關スル事項
二 判任官以下ノ要員ノ配置ニ關スル事項

三 職員ノ登錄及徵用ニ關スル事項
四 職員ノ軍籍ニ關スル事項

勤勞課

一 職員ノ給與及勤務時間ニ關スル事項
二 職員ノ待遇及待遇施設計畫ニ關スル事項
三 職員ノ官舍、合宿所、集會所、修養施設等ニ關スル事項

錬成課

一 陸運要員ノ教育、養成及指導ニ關スル事項
二 鐵道教習所ニ關スル事項
三 鐵道青年錬成所ニ關スル事項
四 青少年訓練ニ關スル事項
五 國有鐵道奉公會ニ關スル事項

厚生課

一 共濟組合ニ關スル事項
二 鐵道弘濟會ニ關スル事項
三 鐵道育英會ニ關スル事項
四 陸運要員ノ勤勞用物資ノ需給ニ關スル事項
五 其ノ他職員ノ厚生ニ關スル事項

體力課

一 職員ノ體力向上ニ關スル事項
二 職員ノ適性及能率ニ關スル事項
三 職員ノ療養ニ關スル事項
四 鐵道衞生ニ關スル事項
五 鐵道病院療養所、診療所及囑託醫ニ關スル事項

總務課

一 國有鐵道及其ノ附帶事業ノ業務ニ關スル事項
二 國有鐵道ニ關聯スル國營船舶ノ業務竝ニ其ノ船舶ノ調達、改良、保存及管理ニ關スル事項
三 地方鐵道、專用鐵道、軌道及索道ノ監理ニ關スル事項
四 他ノ運輸機關トノ連絡運輸及交通指導ニ關スル事項
五 倉庫營業（臨港倉庫ニ係ルモノヲ除ク）ニ關スル事項
一 停車場ノ設置及廢止ニ關スル事項
二 輸送上、運行上及通信上ノ施設計畫ニ關スル事項
三 電氣通信事務ニ關スル事項
四 局所管事務ノ綜合調整ニ關スル事項
五 局內他課ニ屬セザル事項

監理課

一 地方鐵道、專用鐵道、軌道及索道ノ免許又ハ特許ニ關スル事項
二 地方鐵道、專用鐵道、軌道及索道ノ監督ニ關スル事項
三 陸上交通事業ノ調整ニ關スル事項
四 鐵道軌道統制會ニ關スル事項

財務課

一 地方鐵道、專用鐵道、軌道及索道ノ會計ニ關スル事項
二 地方鐵道ノ補助ニ關スル事項
三 地方鐵道及軌道ノ買收及補償ニ關スル事項
四 地方鐵道及軌道ノ抵當及登錄ニ關スル事項
五 經理統制ニ關スル事項

倉庫課

一 倉庫營業ノ免許及監督ニ關スル事項
二 倉庫ノ運營及管理ニ關スル事項

國際課

一 外地及外國トノ連絡運輸ノ運賃、料金及取扱竝ニ乘車船券及運輸帳表類ノ樣式ニ關スル事項
二 通關及亞歐連絡運輸ノ清算ニ關スル事項
三 國際交通宣傳ニ關スル事項
四 外地及外國交通事情ノ調査ニ關スル事項

業務局

制度課

五　觀光事業ノ指導及補助ニ關スル事項
六　旅館及旅行斡旋業ニ關スル事項
七　停車場、棧橋及列車內ノ營業及廣告ニ關スル事項
一　旅客、手荷物及貨物ノ運賃、料金及取扱ニ關スル事項
二　內地連絡運輸ノ運賃、料金及取扱ニ關スル事項
三　乘車船券及運輸帳表類ノ樣式ニ關スル事項
四　停車場及棧橋ノ共同使用ニ關スル事項
五　車輛ノ省社直通ニ關スル事項
六　專用鐵道及專用側線ニ於ケル作業契約ニ關スル事項
七　鐵道司法警察ニ關スル事項
八　營業事故ノ防止及處理ニ關スル事項
九　鐵道運賃審議會ニ關スル事項

輸送課

一　旅客、手荷物及貨物ノ輸送ニ關スル事項
二　客車及貨車竝ニ其ノ附屬品ノ運用、借入及使用許可ニ關スル事項
三　運輸成績ノ調査ニ關スル事項
四　鐵道輸送協議會ニ關スル事項

船舶課

五　鐵道ト小運送トノ連絡ニ關スル事項
一　船舶ノ運航ニ關スル事項
二　船舶及海上工作物ノ設計、保存及管理ニ關スル事項
三　船舶及海上工作物ノ購入、借入、使用許可及傭船ニ關スル事項
四　船舶事故ノ防止及處理ニ關スル事項

運行課

一　列車ノ運行計畫ニ關スル事項

車務課

一　機關車、電車及氣動車ノ配置、運用、借入及使用許可ニ關スル事項
二　車輛運用上ノ檢査ニ關スル事項
三　運轉成績調査ニ關スル事項
四　運轉上ノ技術ニ關スル事項

保安課

一　運轉及信號規程ニ關スル事項
二　運轉事故ノ防止及處理ニ關スル事項
一　帝國鐵道會計所屬ノ施設（車輛、船舶及自動車ヲ除ク）ノ新設、改良、保存及管理ニ關スル事項
二　帝國鐵道會計ノ所屬電力ノ調達及配給ニ關スル事項
三　鐵道事業用電氣通信ノ施設ニ關スル事項